

# 富士吉田市第6次総合計画策定のための

富士吉田の未来を考える

## 「まちづくり 中学生・高校生アンケート」

### 結果報告書

平成 28 年 10 月

株式会社フジヤマ

## 【目 次】

---

---

<b>1. 調査概要</b>	<b>1</b>
（1）調査の趣旨	1
（2）調査の方法等	1
（3）調査項目	1
（4）回収状況	1
<b>2. 回答者の属性</b>	<b>2</b>
（1）性別・居住地区	2
（2）家族状況	3
<b>3. 現在の市の評価</b>	<b>4</b>
（1）富士吉田市の良い点・悪い点など	4
（2）富士吉田市の住みよさ	1 5
<b>4. 将来の市との関わり</b>	<b>1 6</b>
（1）富士吉田市への将来の居留意向とその理由	1 6
<b>5. 社会経済環境について</b>	<b>1 9</b>
（1）関心があること	1 9
（2）富士山世界文化遺産登録の周知度と活用方向	2 1
<b>6. 地域との関わり姿勢</b>	<b>2 3</b>
（1）まちづくりへの関わり方	2 3
<b>7. 自由な意見</b>	<b>2 5</b>

---

---

## 1. 調査概要

### (1) 調査の趣旨

第6次富士吉田市総合計画の策定にあたり、市民意向を反映するため、市民アンケート調査を実施しているが、これを補完し、次の時代を担う世代として市内の中学・高校の生徒に、現在の市の状況への評価や将来への展望等をたずね、計画に反映させることを目的として実施したものである。

### (2) 調査の方法等

調査主体	富士吉田市
調査対象	市内中学3年生：465人【明見中、下吉田中、吉田中、富士見台中】 市内高校2年生：880人【富士北稜高、富士河口湖高、吉田高、富士学苑高】
調査期間	中学校：6月20・21日に学校に直接配布、7月13日に回収 高校：6月22・23日に学校に直接配布、7月13日に回収
調査方法	各学校で授業の一環としての実施を依頼

### (3) 調査項目

回答者の属性	性別／居住地区（市外を含む）／家族人数（兄弟姉妹数を含む）
現在の市の評価	富士吉田市の良い（好きな）点、悪い（きらいな）点／その内容／良くしていきたいこと及びその内容／富士吉田市の住みよさ
将来の市との関わり	富士吉田市への将来の居住意向／その理由
社会経済環境について	関心があること／富士山世界文化遺産登録の周知度と活用方向／
地域との関わり姿勢	まちづくりへの関わり方

### (4) 回収状況

中学生 465人（100%）	／	高校生 880人（100%）	計 1,345人（うち白票1票）
----------------	---	----------------	------------------

## 2. 回答者の属性

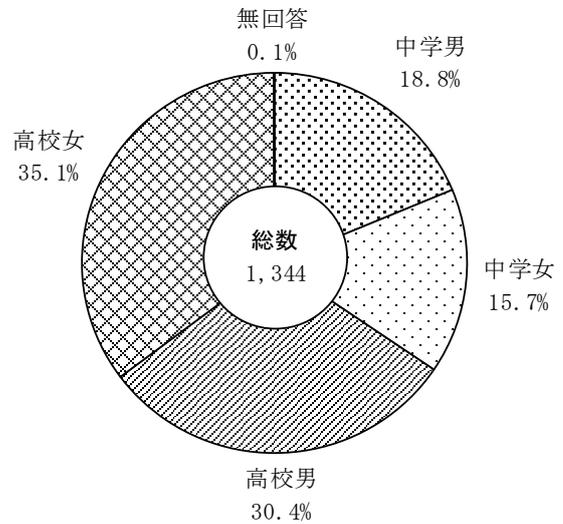
### (1) 性別・居住地区

#### 問1. 性別

中・高校別×性別 (下段は構成比(%))

	全体	男	女	無回答
全体	1,344	660	683	1
	100.0	49.1	50.8	0.1
中学	464	252	211	1
	100.0	54.3	45.5	0.2
高校	880	408	472	-
	100.0	46.4	53.6	-

全体では、男女ほぼ同数の結果である。中学生では男性の方がやや多く、高校生では女性の方が若干上回っている。



#### 問2. 居住地区

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	1,344	100.0
1 上暮地	52	3.9
2 小明見	83	6.2
3 大明見	71	5.3
4 下吉田	156	11.6
5 新倉	53	3.9
6 松山	37	2.8
7 上吉田	136	10.1
8 新屋	30	2.2
9 竜ヶ丘	55	4.1
10 緑ヶ丘	14	1.0
11 ときわ台	10	0.7
12 新西原	58	4.3
13 旭	25	1.9
14 下吉田東	25	1.9
15 中曽根	18	1.3
16 富士見	37	2.8
17 富士吉田市外	482	35.9
18 無回答	2	0.1

居住地区は、市内16地区を以下の4地区に集約して扱うこととする。

この結果、高校生では市外が半数以上を占め、市内の分布では、下吉田、上吉田、明見、上暮地の順の分布状況となっている。市外では、富士河口湖町が47%を占め、次いで忍野村が多い。

集約地区区分	1 下吉田	2 明見	3 上吉田	4 上暮地
含まれる地区名	4. 下吉田 5. 新倉 9. 竜ヶ丘 10. 緑ヶ丘 11. ときわ台 13. 旭 14. 下吉田東 16. 富士見	2. 小明見 3. 大明見	6. 松山 7. 上吉田 8. 新屋 12. 新西原 15. 中曽根	1. 上暮地

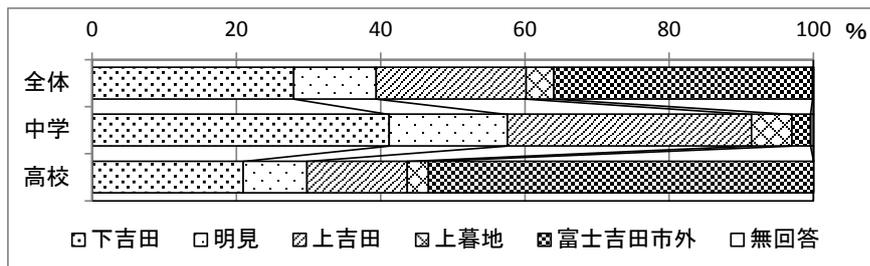
中・高校別×居住地区(集約) (下段は構成比(%))

	全体	下吉田	明見	上吉田	上暮地	富士吉田市外	無回答
全体	1,344	375	154	279	52	482	2
	100.0	27.9	11.5	20.8	3.9	35.9	0.1
中学	464	191	76	157	26	12	2
	100.0	41.2	16.4	33.8	5.6	2.6	0.4
高校	880	184	78	122	26	470	-
	100.0	20.9	8.9	13.9	3.0	53.4	-

#### 「市外」の市町村別数

都留市	54
大月市	5
道志村	3
西桂町	25
忍野村	92
山中湖村	34
鳴沢村	30
富士河口湖町	227
その他	12

注)その他には不明も含む



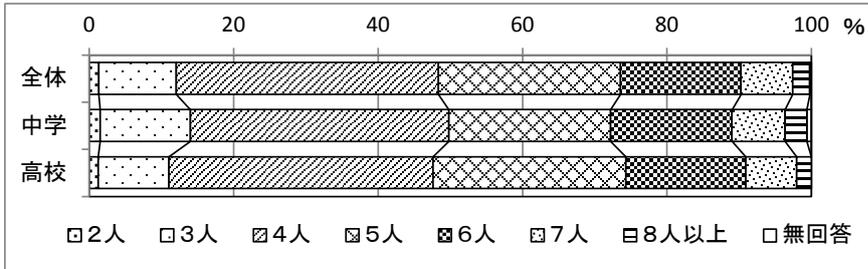
## (2) 家族状況

### 問3. 自分を含めた家族人数

中・高校別×自分を含めた家族人数

(下段は構成比(%))

	全体	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答
全体	1,344 100.0	18 1.3	144 10.7	488 36.3	339 25.2	224 16.7	96 7.1	32 2.4	3 0.2
中学	464 100.0	7 1.5	58 12.5	166 35.8	104 22.4	78 16.8	34 7.3	14 3.0	3 0.6
高校	880 100.0	11 1.3	86 9.8	322 36.6	235 26.7	146 16.6	62 7.0	18 2.0	-



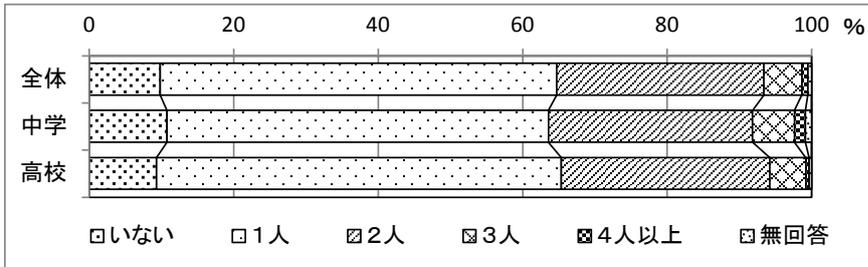
4人家族以下が全体の約半数であるが、5人以上の家族も残り半数を占める。この傾向は、中学、高校共通である。

### ○自分以外の兄弟姉妹数

中・高校別×自分以外の兄弟姉妹数

(下段は構成比(%))

	全体	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	1,344 100.0	132 9.8	738 54.9	385 28.6	71 5.3	11 0.8	7 0.5
中学	464 100.0	50 10.8	245 52.8	131 28.2	27 5.8	7 1.5	4 0.9
高校	880 100.0	82 9.3	493 56.0	254 28.9	44 5.0	4 0.5	3 0.3



自分以外の兄弟姉妹数が1人、すなわち2人兄弟が半分強を占める。3人兄弟も3割弱を占め、いわゆる「ひとりっ子」は中学、高校ともに1割程度である。

### 3. 現在の市の評価

#### (1) 富士吉田市の良い点・悪い点など

問4. 富士吉田市の良いところ（好きな点）、悪いところ（きれいな点）は何ですか。（選択肢からそれぞれ3つずつ（1番目～3番目）記入）

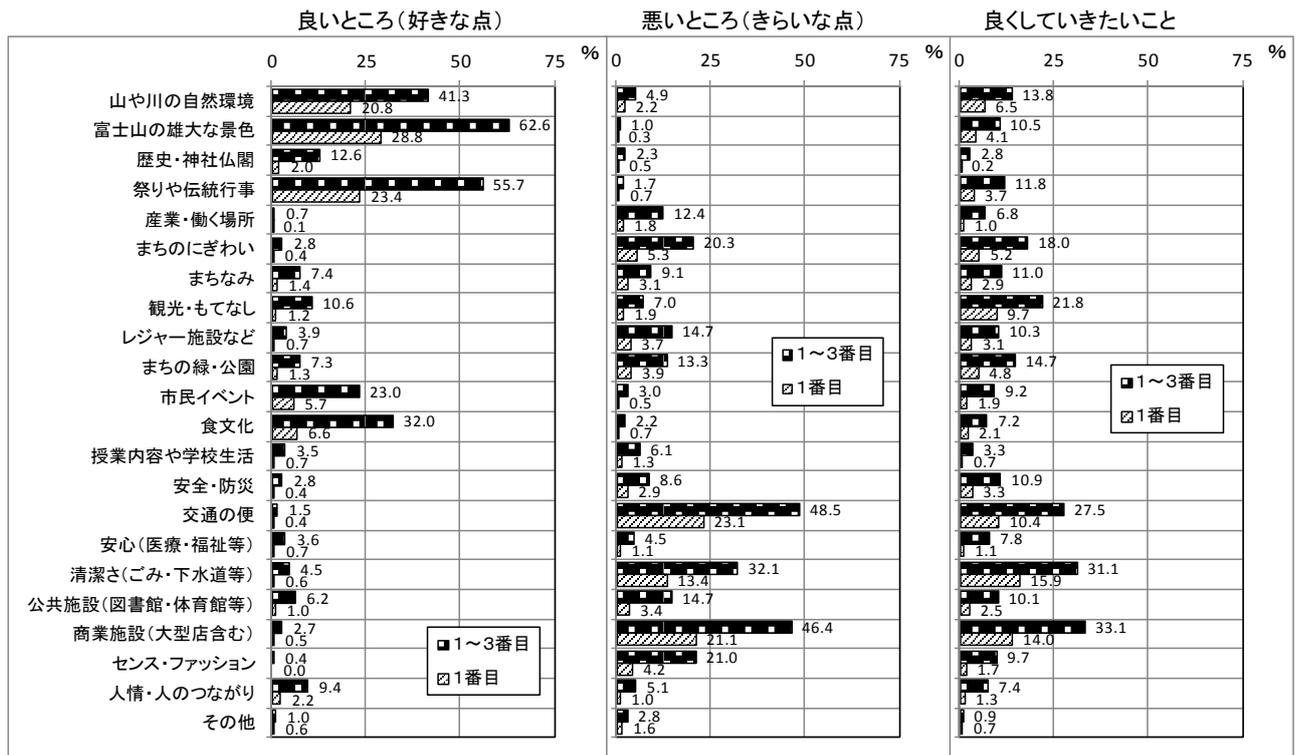
問5. それでは、今後の富士吉田市のまちづくりの中で、（好ききれいに関係なく）もっと良くしていきたいことは何ですか。（同様に3つまで（1番目～3番目）記入）

（数字は構成比（%））

項目名	良いところ(好きな点)		悪いところ(きれいな点)		良くしていきたいこと	
	1～3番目	1番目	1～3番目	1番目	1～3番目	1番目
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
山や川の自然環境	41.3	20.8	4.9	2.2	13.8	6.5
富士山の雄大な景色	62.6	28.8	1.0	0.3	10.5	4.1
歴史・神社仏閣	12.6	2.0	2.3	0.5	2.8	0.2
祭りや伝統行事	55.7	23.4	1.7	0.7	11.8	3.7
産業・働く場所	0.7	0.1	12.4	1.8	6.8	1.0
まちのにぎわい	2.8	0.4	20.3	5.3	18.0	5.2
まちなみ	7.4	1.4	9.1	3.1	11.0	2.9
観光・もてなし	10.6	1.2	7.0	1.9	21.8	9.7
レジャー施設など	3.9	0.7	14.7	3.7	10.3	3.1
まちの緑・公園	7.3	1.3	13.3	3.9	14.7	4.8
市民イベント	23.0	5.7	3.0	0.5	9.2	1.9
食文化	32.0	6.6	2.2	0.7	7.2	2.1
授業内容や学校生活	3.5	0.7	6.1	1.3	3.3	0.7
安全・防災	2.8	0.4	8.6	2.9	10.9	3.3
交通の便	1.5	0.4	48.5	23.1	27.5	10.4
安心（医療・福祉等）	3.6	0.7	4.5	1.1	7.8	1.1
清潔さ（ごみ・下水道等）	4.5	0.6	32.1	13.4	31.1	15.9
公共施設（図書館・体育館等）	6.2	1.0	14.7	3.4	10.1	2.5
商業施設（大型店含む）	2.7	0.5	46.4	21.1	33.1	14.0
センス・ファッション	0.4	0.0	21.0	4.2	9.7	1.7
人情・人のつながり	9.4	2.2	5.1	1.0	7.4	1.3
その他	1.0	0.6	2.8	1.6	0.9	0.7
無回答	0.4	0.4	2.5	2.5	2.8	2.8

富士吉田市の良いところ（好きな点）は、「富士山の雄大な景色」、「祭りや伝統行事」、「山や川の自然環境」をはじめとする自然・文化系要素の割合が高く、一方、悪いところ（きれいな点）としては、「交通の便」、「商業施設」のほか「清潔さ（ごみ・下水道等）」が多くあげられている。

良くしていきたいところは、悪いところ（きれいな点）として多くあげられた交通、商業、衛生面のほか、「観光・もてなし」、「まちのにぎわい」、さらに、良いところとして高く評価された「山や川の自然環境」も比較的高い割合を示し、悪い点の改善とともに、良い点もさらに良くしていきたいという意識も見られる。



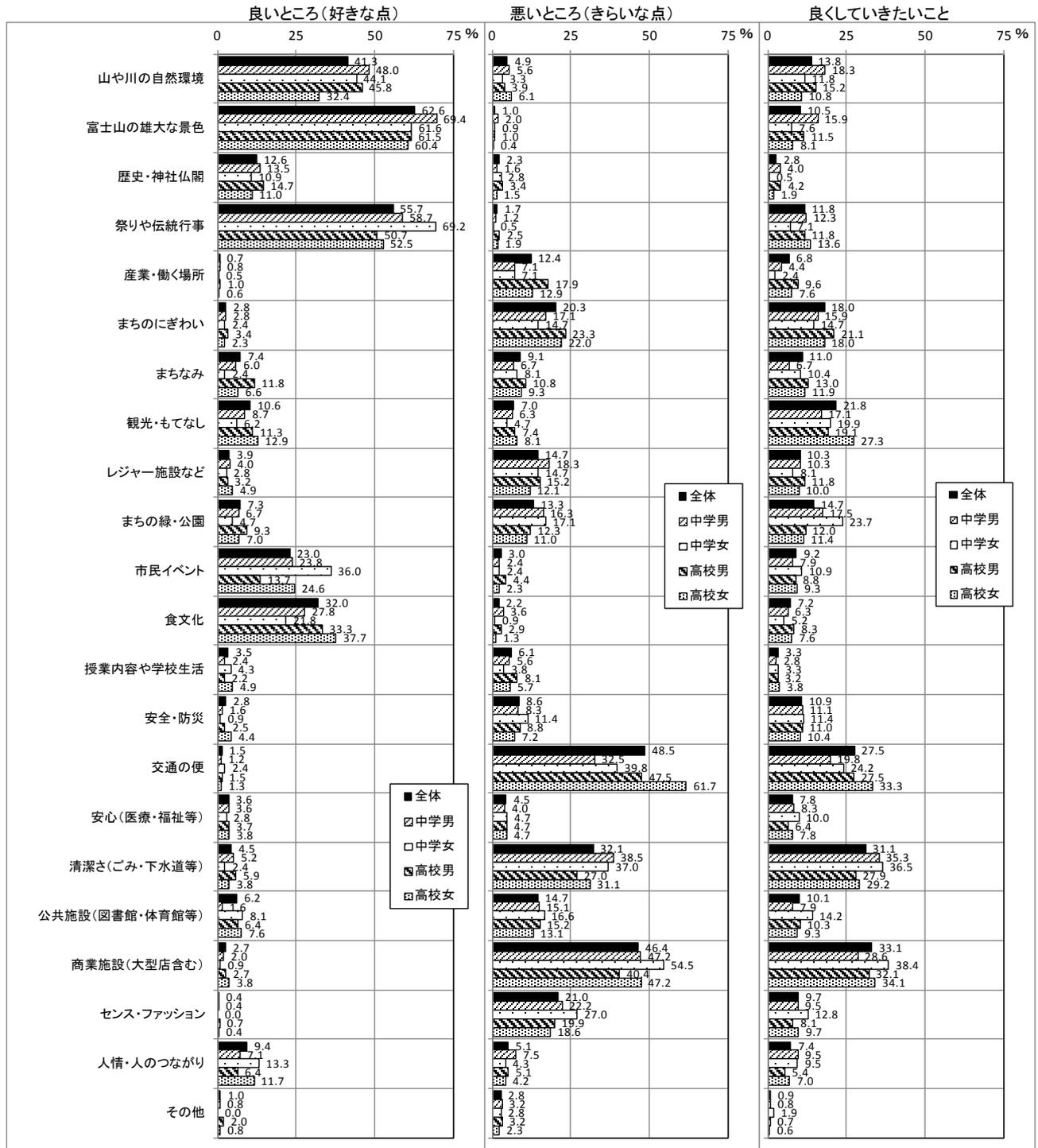
良いところ（好きな点）の指摘の中では、「祭りや伝統行事」、「市民イベント」に対し、特に中学女子で高い割合を示しているのが興味深い。また、悪いところ（きらいな点）として多く指摘された「交通の便」は、特に高校生で高い割合を示しており、市外からも含めた通学という日常生活行動での不満感が現れたものと見られる。「商業施設」や「センス・ファッション」は特に中学女子で悪い点としての指摘率が高く、「清潔さ」では悪い点としての指摘割合が中学生の方が高校生よりもやや高い。

これらの悪い点における傾向は、良くしていきたいことの結果にほぼそのまま反映されているが、そのほか、「観光・もてなし」については高校女子で、「まちの緑・公園」では中学女子で比較的高い割合となっている。

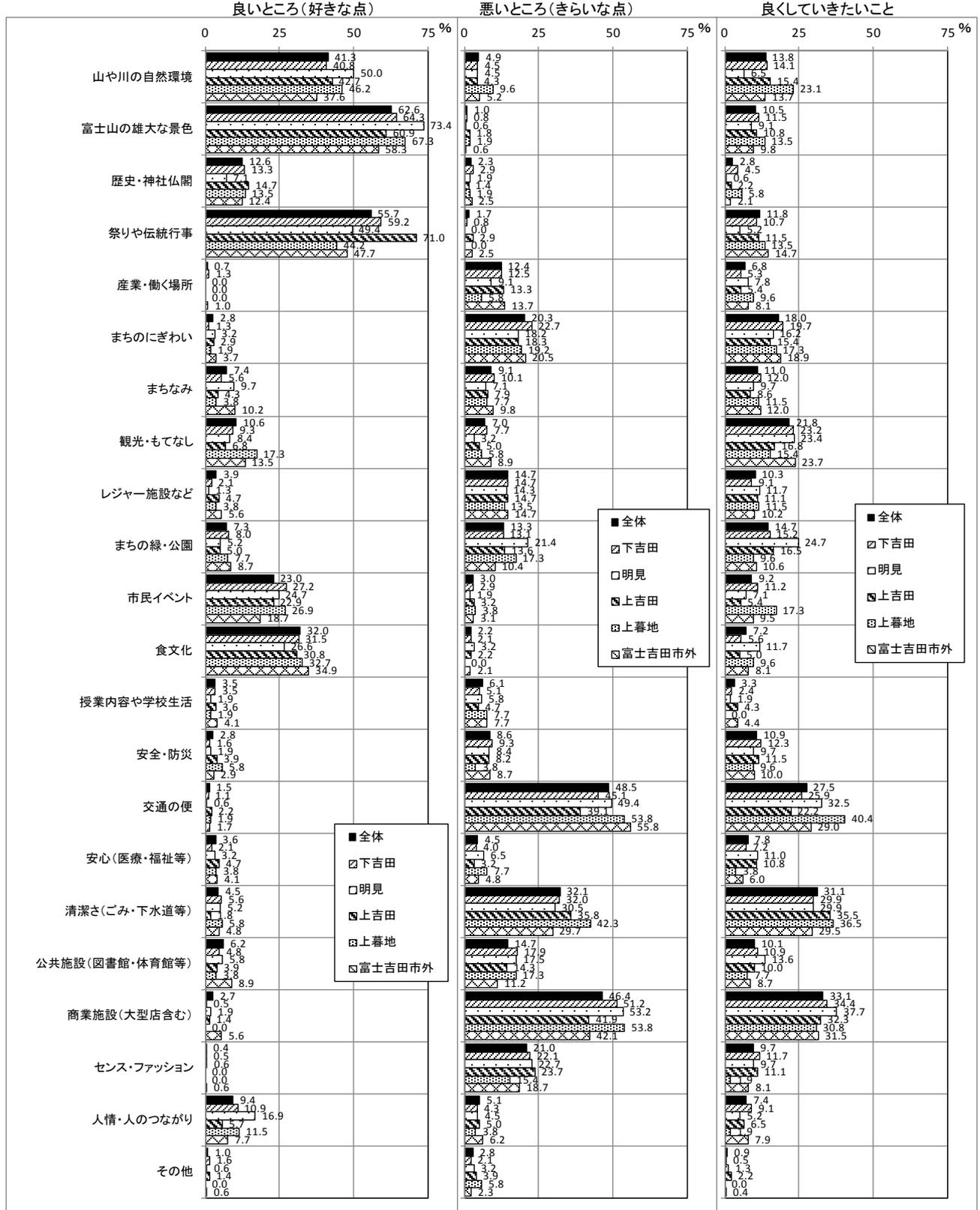
居住地区別にみると、良い点としての「祭りや伝統行事」は特に上吉田で高い割合を示し、吉田の火まつり等が意識されているものと見られる。また、「富士山の雄大な景色」や「人情・人のつながり」では明見での割合が他地区よりも高い。

悪い点として、市外居住者の「交通の便」の割合が、上暮地とともにやや高いほか、「まちの緑・公園」について明見地区の割合の相対的高さが目立ち、これは、良くしていきたいことにも反映されている。

良いところ・悪いところ・良くしていきたいこと（中・高校別、男女別）



良いところ・悪いところ・良くしていきたいこと（居住地区別）



アンケートでは、「一番良い（好き）または悪い（きらい）」な回答結果、及び「一番良くしていきたいこと」について、その内容の記載を求めている。

それぞれについて、回答件数が多い選択肢の内容記述から代表的と思われるものを抽出して示すと以下のとおりである。

◆富士吉田市の一番良いところ（好きな点）の内容

(記述回答件数)

	選択肢	件数
1	山や川などの自然環境	263
2	富士山の雄大な景色	378
3	歴史・神社仏閣	24
4	祭りや伝統行事	308
5	産業・働く場所	1
6	まちのにぎわい	5
7	まちなみ	19
8	観光・もてなし	15
9	レジャー施設など	10
10	まちの緑・公園	18
11	市民イベント(夏まつりなど)	74
12	食文化(吉田のうどんなど)	86
13	授業内容や学校生活	9
14	安全・防災	6
15	交通の便	6
16	安心(医療・福祉など)	10
17	清潔さ(ごみや下水道など)	8
18	公共施設(図書館・体育館など)	13
19	商業施設(大型店を含む)	7
20	センス・ファッション	0
21	人情・ひとのつながり	30
22	その他	7
	合計	1,297

主要項目の代表的な「内容」記述

1 山や川などの自然環境

登校道の自然がとても豊かで四季の変化を毎日、感じることができるから好き。	中学・女	明見
大きな建物がなく水もおいしくて、とても過ごしやすい。落ち着いている。	中学・男	上吉田
山や川などの自然環境があることで、自然に触れやすくなるので良いと思います。	中学・女	上吉田
都会にはない豊かな自然があるから。	高校・男	下吉田
自然が豊で身近に感じられるし、環境を考えようと思えるから、自然が好きになれる。	高校・女	市外
ヒグラシとかが鳴いていたり、夏の夜の蛙の声、川の音、冬の星とかきれいだから。	高校・女	明見
自然に囲まれて小さい頃から育った事は、とても良い事だと思うし、とても自慢になる。	高校・女	下吉田
東京に行くときすごく感じるのですが、この辺の地域の空気はとても澄んでいてきれいです。たくさんの動物や昆虫を身近に見ることができるからです。	高校・女	市外
自然の中を走り回れたり、日本一高い山を毎日見ながら、生活できるのは周りの人に自慢できる。	高校・男	市外
理由は富士山には、そこにしかない動物または生き物がいて、そのまま歴史としての存在を残している。	高校・女	明見

## 2 富士山の雄大な景色

世界遺産にも登録されている自分達の誇りでもあるし、色々な場所や春夏秋冬で見られる絶景がすごく美しいから。	中学・男	市外
富士山が一番近いところで日々の生活を送れるから。	中学・男	下吉田
富士吉田でしか見られないきれいな富士山だから。	中学・女	上吉田
世界文化遺産になった富士山を端から端まで望むことができるのは富士吉田だけだと思う。また富士山に関わりのある建物などもあって、そこが好き。	中学・男	下吉田
日本一の富士山を毎日、見ることができる。	中学・女	下吉田
山梨県、富士吉田市の富士が一番良いと思いました。だいたいの人は家からでも見れるのではないだろうか。	中学・女	明見
晴れると良く富士山が見え朝見ると一日頑張ろうと思えるところ。	中学・女	上暮地
富士山は世界に誇れる山だから。美しい山。	高校・女	明見
ずっと富士山を見て育ってきたから。	高校・女	市外
この地域は富士山によって昔から、富士山に関する文化が数多く存在している。その文化が自分は好きだ。	高校・男	下吉田
富士山は、甲府から帰ってきて富士吉田に来ると、とっても大きくて感動するし、電車に乗っているときも、観光客が感動しているのも、私は嬉しいです。	高校・女	上吉田
忠霊塔からの富士山はすごくきれい！春夏秋冬によって変わるのがいい。	高校・女	下吉田

## 4 祭りや伝統行事

富士山にまつわる沢山の伝統があり、それを受け継いでいけるようなところ。	中学・男	下吉田
伝統行事を引き継いでいくことは大切だし、市の活性化にもつながると思ったから。	中学・女	明見
火祭りでは県内外から、たくさんの人が来て賑やかになるし、地域の人と一丸となった気持ちになれるから。	中学・男	上吉田
お祭りや伝統行事は地域だけでなく日本の文化として誇れるものなので、富士山も含めて良いと思う。	高校・女	下吉田
昔をしっかりと守っていて、いいと思う。	高校・女	明見
特に火祭りは古くからの歴史のある祭りで、日本三大奇祭にも数えられていて、観光客から地元民までたくさんの方が来るから。	高校・女	上吉田
祭りや富士山にはたくさん力をもらっている。	高校・男	上吉田
祭りや伝統行事が多いことで人々が集まり、町を活気づけることができ、また知ってもらいきっかけともなるから。	高校・女	市外
昔から伝統的に行われたことなどが、今になっても出来ていることはすごいと思った。富士吉田市では、うどんなど食文化が有名などこはいいなと思った。	高校・女	下吉田
地域の文化を知る機会になる。	高校・女	市外

## 11 市民イベント(夏まつりなど)

たくさんの交流ができる良い機会だと思うから。	中学・女	下吉田
市民イベントは色々な人に会えて関わることができるので、交流が深まると思うから。	中学・女	上暮地
市制祭や火祭りは市民以外でも楽しめるし、学校や駅から近い所でやってくれるので帰り、とてもありがたいし、部活後に寄れるのも嬉しい。	高校・女	市外

## 12 食文化(吉田のうどんなど)

色々な地域の方が共通して楽しめるものだし、外国の方も美味しいと言ってくれたから。	高校・女	市外
単純に美味しいと思うし、吉田に住んでいる人で吉田のうどんが嫌いという人をあまり見なくて、そういう所がすごいと思うから。	高校・女	下吉田
吉田のうどんに関しては歴史と共にできているものだから良いと思う。美味しさ以外にも食文化についての歴史も伝えていけたら良いと思う。	高校・男	下吉田
うどんも他の料理も美味しいものがいっぱいある。水も美味しい。	高校・女	下吉田
吉田のうどんなど名物のものを全国に発信できて、有名になるから。	高校・女	下吉田

◆富士吉田市の一番悪いところ（きれいな点）の内容

(記述回答件数)

	選択肢	件数
1	山や川などの自然環境	26
2	富士山の雄大な景色	4
3	歴史・神社仏閣	5
4	祭りや伝統行事	9
5	産業・働く場所	24
6	まちなぎわい	71
7	まちなみ	40
8	観光・もてなし	25
9	レジャー施設など	49
10	まちなぎ・公園	52
11	市民イベント(夏まつりなど)	7
12	食文化(吉田のうどんなど)	9
13	授業内容や学校生活	17
14	安全・防災	36
15	交通の便	305
16	安心(医療・福祉など)	15
17	清潔さ(ごみや下水道など)	179
18	公共施設(図書館・体育館など)	45
19	商業施設(大型店を含む)	280
20	センス・ファッション	47
21	人情・ひとのつながり	13
22	その他	21
	合計	1,279

主要項目の代表的な「内容」記述

6 まちなぎわい

人が来てほしいというよりも、吉田の中でも人が来るところと来ないところでの差があり過ぎると思う。	中学・女	明見
富士山が世界遺産になったのに土産を売っているような店などが少ない。	高校・男	上暮地
シャッターの閉まっている店が並んでいたり、少し物寂しい感じがするから。	高校・女	下吉田
人が減ってきて、シャッター通りも増え、年々さみしくなっているから。	高校・男	上吉田

9 レジャー施設など

あまり遊べる所が少ないかと。自然を活かして楽しめる所がっても良いと思う。	中学・男	上吉田
ハイランドがあるけど、映画館とかがなくて、甲府に行かないといけないのが不便。	中学・女	上吉田
公園や活気のある商業施設が少ない。	高校・女	市外
富士山が世界遺産となり観光客が増えたが、楽しめる施設が少ないから。	高校・女	下吉田
全年代が遊べるところが、見つからないから。	高校・女	市外

10 まちなぎ・公園

まちなぎはたくさんあっていいと思うけれど、公園が少なく、あるにはあるんだけど遊具がないし、水飲むところもないし、座るところもない。	中学・男	明見
公園が汚い。みんながもっと集まるきれいな場所にした方が良い。	中学・女	上吉田
まちなぎは自然豊というより手入れのない雑草みたい。ならいっそ山に行った方が良い。遠くから見て汚く見えるところもあるし中途半端。	高校・女	下吉田
今、私の住む地域には危険だからという理由でどんどん公園がなくなってしまっていて、小さな子ども達が遊ぶ所がなくなってしまっていると思う。	高校・女	明見

## 15 交通の便

移動する時にほとんど車か歩きでないと移動ができない所が不便だから。	中学・女	下吉田
タウンズニーカーの便の数が少ないから。	中学・女	明見
道路が全体的に狭いし危ないから。	中学・男	上吉田
自転車が走りにくい。	高校・男	市外
交通の便が良くない。電車やバスの本数が少なかったり、ルートが少ない。	高校・女	市外
電車の本数が少ない。細い道でバスが通ったり、沢山の車の交通があつて歩行者が危ない。	高校・女	下吉田
これはしょうがないが鉄道から離れている場所へ行く時の交通手段が殆どない。	高校・男	市外
交通費が高い(バス・電車)。交通の便が悪く、車でないと、どこにも行けない。	高校・女	市外
車を持っていない人にとっては物凄く不便だから。	高校・男	市外
電車を利用するが一時間に約一本と言うのは少ない。また登山電車だからしょうがないが値段が高い。	高校・男	下吉田
電車料金が高く、電車が来る回数も少ないため、利用しづらく、不便だ。	高校・女	市外

## 17 清潔さ(ごみや下水道など)

観光地なのにゴミが道とかに落ちていてるから。	中学・男	下吉田
ゴミとか結構、捨ててあるし道路の並木も手入れがしっかりされていないから。	中学・男	明見
道によくゴミが落ちてることがある。これから観光客も増えてくると思うので、きれいにした方が良くと思う。	中学・女	上吉田
僕の地域のゴミステーションは捨てちゃいけない、分別してない人が多く、ルールが守れないところ。	中学・男	上吉田
原因は自分達かもしれないけど、汚い所は汚い。	中学・女	上吉田
あちらこちらにゴミが落ちていて、観光客が来るところだけきれいにしてる気がする。	中学・女	上暮地
富士山をキレイにしようという活動が行われている中でも、まだまだゴミが捨てられている事。	高校・女	上吉田

## 19 商業施設(大型店を含む)

最近では歩いている時に閉店してしまっている店や、連なっているシャッター通りがある町が少し寂しそうな印象を受けるし、そういう周りでは危険も多くあるからです。	中学・女	下吉田
買い物するのに遠くまでしか行かなければならないし、映画館がないから。	中学・女	上吉田
公園や映画館など遊びに行ける場所が少ない。歩いて行ける所に楽しい場所がない。中高生にとって楽しい場所がない。	中学・女	下吉田
遠くまで服を買いに行ったり、映画館に行ったりしないといけない。もう少し娯楽施設がほしい。(市民会館はやる映画が限られていてつまらない)。	中学・女	上吉田
目立った商業施設がない。近くにもないので、遠くへ行きたいけど交通の便が悪いので行けない。	中学・男	上吉田
商業施設自体が少ないし、あつても欲しいものが売っていない。	高校・女	上吉田
大きいショッピングモールなどがないから、映画を見るためとかに甲府に行かなければならないから。	高校・女	下吉田
大型店を導入しないで、商店街で買い物できるようにした方が良くと思う。	高校・女	市外

◆富士吉田市の一番良くしていきたいことの内容

(記述回答件数)

	選択肢	件数
1	山や川などの自然環境	86
2	富士山の雄大な景色	52
3	歴史・神社仏閣	2
4	祭りや伝統行事	47
5	産業・働く場所	14
6	まちなぎ	67
7	まちなみ	36
8	観光・もてなし	128
9	レジャー施設など	40
10	まちなぎ・公園	65
11	市民イベント(夏まつりなど)	25
12	食文化(吉田のうどんなど)	25
13	授業内容や学校生活	9
14	安全・防災	43
15	交通の便	136
16	安心(医療・福祉など)	15
17	清潔さ(ごみや下水道など)	210
18	公共施設(図書館・体育館など)	33
19	商業施設(大型店を含む)	184
20	センス・ファッション	21
21	人情・ひとのつながり	18
22	その他	9
	合計	1,265

主要項目の代表的な「内容」記述

1 山や川などの自然環境

山とか川とかはキレイに見えるけど、富士山は近くで見るとゴミだらけだから、そこを直し良くしていきたい。	中学・女	下吉田
川の水をそのまま飲めるくらいきれいになりたい。	中学・男	下吉田
せっかく世界遺産のふもとに住んでいるのに、環境に問題があったりするのは良くないから、もっと川などを整備したりする。	中学・女	下吉田
今の自然環境を保つようにゴミはポイ捨てしない。ゴミは拾えるなら拾う。	中学・男	上吉田
交通の便を良くしていくのは良い事だと思うが、それに対して自然やまちなぎの緑が消えていっていると思うので、植樹活動などをして欲しい。	高校・女	下吉田
私達が一番協力できるし、ゴミ問題などは私達が気を付けていかないと変わらないので、環境保全の意識をもって過ごしたい。	高校・女	市外

2 富士山の雄大な景色

世界遺産に登録された今でも、ゴミが多いということを聞いたことがあるので、そういうところをなくしていければと思った。	中学・女	明見
富士山が魅力的だから、それを生かした産業が増えればいいと思う。	高校・女	市外
富士山が一番美しく、シンボルでもあるので景色を綺麗にした方が良く思う。	高校・女	市外
キレイな富士山の景色を活かしたイベントを増やし、世界遺産であることをもっとアピールする。	高校・女	市外
高い建物や電線を埋めて、より見やすくする。	高校・女	下吉田

4 祭りや伝統行事

もっと神楽の楽しさを伝えたい！！	中学・女	明見
もっと多くの人に来てもらうために市民からの盛り上げを更に高める。	高校・男	市外

もっと活気のある祭りの風景をみたい。せっかく三大祭にもなっている火祭りがあるのだから、もっとみんなが来て良かったと思えるような取り組みがほしい。伝統的な踊りや工芸など。	高校・女	市外
もっと伝統行事の歴史について、多くの人に知ってもらえるようにしていきたい。	高校・女	市外

## 6 まちのにぎわい

たくさんの店が復活して〇〇通りとかが、毎日にぎわっている町になって欲しい。	中学・女	下吉田
駅前を歩いていても活気がない。外国人の観光客が多くいるのだから、もっと富士吉田市でお金を使ってもらおうべきだ。	高校・男	市外
空き店などを利用して、大人～子どもまでが、毎日行きたくなるような店を作ったりする。	高校・男	市外

## 8 観光・もてなし

観光やもてなしなどに力を注げば、またここに来ようっていう気持ちになってくれると思うから。	中学・男	下吉田
最近では富士山が世界遺産になって外国人とかがいっぱい来るので、英語などの外国語の表示を増やしたらいいと思う。	中学・男	下吉田
富士山が世界遺産になったのをきっかけに外国人が増えたため、富士山の歴史などを教えてあげた方が良くと思うから。	中学・男	下吉田
塾帰りに帰っていたら外国人が困っていた。町中にわかりやすくマップや英語を置けば良いと思う。	中学・女	上吉田
どこの国、言語の人でも快適に過ごせるような市にしていきたい。	高校・男	市外

## 10 まちの緑・公園

公園はあるけど、遊具がだんだん古くなってきて、ちいさい子とかが遊ぶのに危ないと思うことがある。	中学・女	下吉田
公園は小さい子の遊ぶ場でもあるし、公園があることで、地域の交流がまた増えると思う。	中学・女	明見
植物などをもっと増やして誰もが安心して気軽に行けるような公園にしたい。今の公園は汚いし、安心して行けるような所ではない。	高校・女	下吉田

## 15 交通の便

出掛けるのに移動の手段が少ない。もっと細かく電車やバスに動いてほしい。	中学・男	明見
いつ噴火するのか分からないので逃げやすいように、しっかりと道を整備した方が良くと思う。	中学・女	上吉田
もっと多くの交通の便ができて、出かけるのに車以外でも行けるようになってほしい。	中学・女	下吉田
車がない人でも自由に往き来できるように。	高校・女	市外
外国人だけでなく人の多く来る地域だから、交通の便を全体的に良くした方が良くと思う。	高校・女	市外
電車賃が高い。→安く。道が狭かったり、悪くて自転車などで通ると危険。整備してほしい。	高校・男	下吉田

## 17 清潔さ(ごみや下水道など)

観光客が増えてにぎわっている中、ゴミなどを捨てる人がいると思うので、注意したりして迷惑のかからないようにしたい。	中学・男	下吉田
地域でゴミ拾いなどをして、ゴミが落ちていない環境を作っていきたい。	中学・女	下吉田
ゴミが落ちてるのは見るのが嫌だから見つけたら拾う。	中学・女	上吉田
もっと積極的にリサイクル活動に参加すべきだと思った。	中学・男	上吉田
ゴミ出しのルールは絶対守り落ちてくるゴミは積極的に拾う。	高校・女	市外
富士山の周りだけでなく市内も、市民でキレイにしていけたら良くと思う。	高校・女	下吉田
ゴミを捨てないように工夫をする。ゴミを片づける活動をする。	高校・男	市外
町にゴミがなく、きれいにしたい。ゴミ箱を多く設置するなどをして、ポイ捨てをなくしていきたい。	高校・男	上吉田

19 商業施設(大型店を含む)

ショッピングセンターなどが欲しい。公共施設などでプールがあれば良いと思う。	中学・女	下吉田
閉店で寂しい道や店がいっぱいなので、盛り上がる感じの店にして欲しい。	中学・女	下吉田
大型店とかではなくても、遠くに行かずに行ける店がほしい。	中学・女	明見
少しずつであるが店の数も増えてきたと思うが、まだ足りていないと思う。生活に必要な店だけではなく、多くの種類の店が増えると良い。	高校・男	上吉田
欲しいものを県外に行ったりネットを使わなくても手に入るようにしたい。	高校・男	上吉田

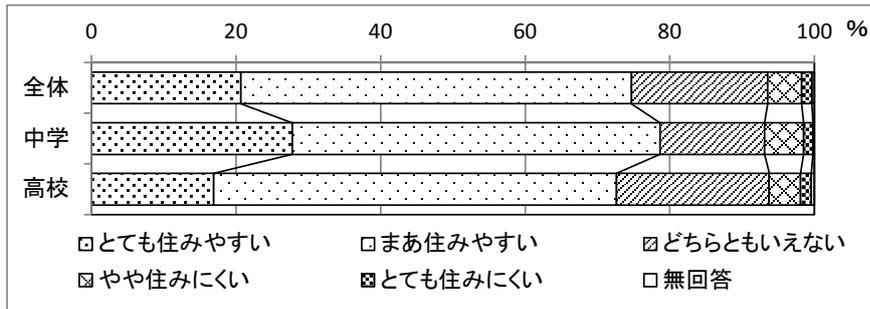
## (2) 富士吉田市の住みよさ

問6. 富士吉田市全体を考えた場合、あなたは住みよいまちだと思いますか。(回答は1つ)

中・高校別×富士吉田市の住みよさ

(下段は構成比(%))

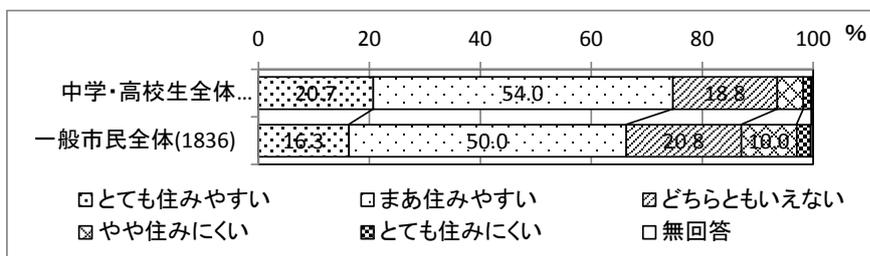
	全体	とても住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	とても住みにくい	無回答
全体	1,344	278	726	253	63	19	5
	100.0	20.7	54.0	18.8	4.7	1.4	0.4
中学	464	129	236	67	25	6	1
	100.0	27.8	50.9	14.4	5.4	1.3	0.2
高校	880	149	490	186	38	13	4
	100.0	16.9	55.7	21.1	4.3	1.5	0.5



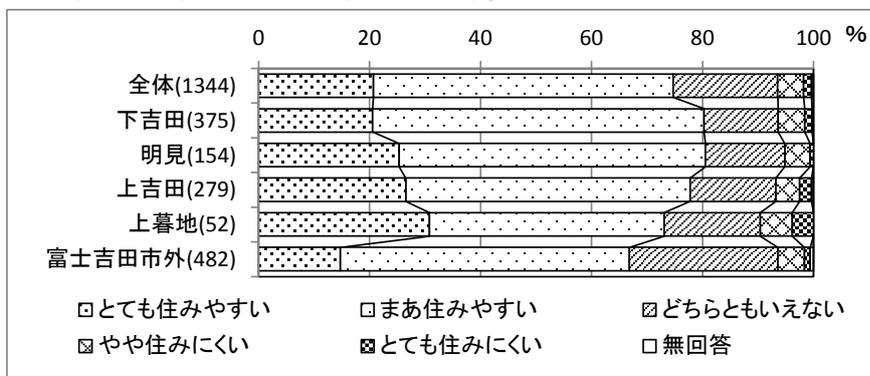
全体では約3/4が、「とても」または「まあ」住みやすいと感じている。その割合は、高校生よりも中学生の方がやや高い。

市民アンケート(18歳以上対象)でも同じ質問を設けているが、そこでは上記割合が約2/3であったことと比較すると、中学・高校生の住みよさ意識は相対的に高いといえる。市民アンケートでは、30歳代~40歳代でこの値が大きく低下していることから、中・高校生の持つこの好感度を成人しても維持していける魅力づくりが必要といえよう。

富士吉田市の住みよさ(市民アンケート結果との比較)



富士吉田市の住みよさ(居住地区(集約)別)



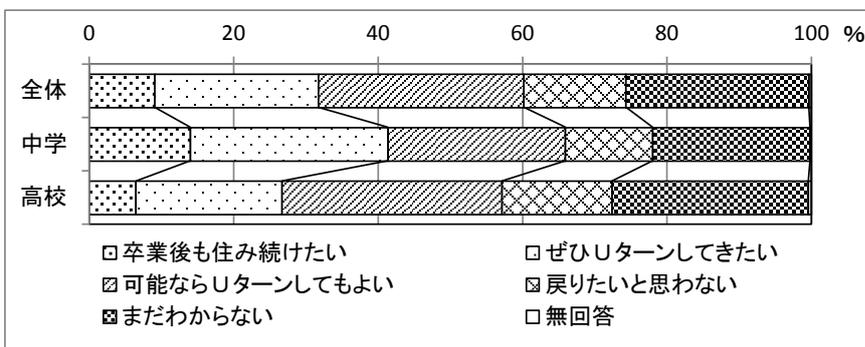
中学・高校生の居住地区別の相違では、「とても」と「まあ」を合わせた「住みやすい」という割合は下吉田及び明見でやや高いが、「とても住みやすい」のみの値では上暮地が最大となる。また、市外在住者では評価が相対的に厳しいが、自らの居住地に対する評価が混じっている点に注意を要する。

## 4. 将来の市との関わり

### (1) 富士吉田市への将来の居住意向とその理由

問7. あなたは将来も富士吉田市に住みたいと思いますか。(回答は1つ)

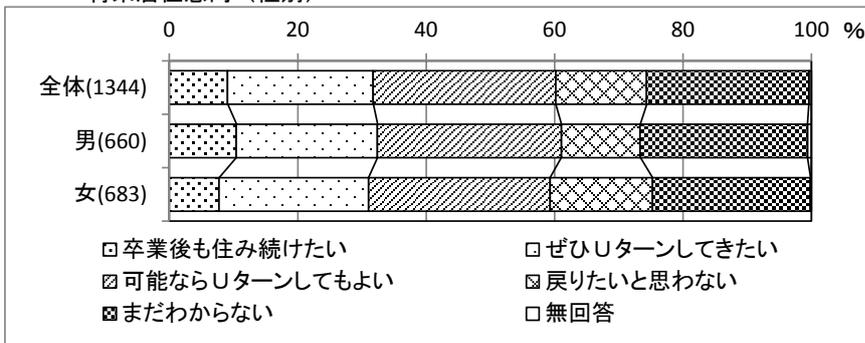
中・高校別×将来居住意向		(下段は構成比(%) )					
	全体	卒業後も住み続けたい	ぜひUターンしてきたい	可能ならUターンしてもよい	戻りたいと思わない	まだわからない	無回答
全体	1,344	122	305	382	190	340	5
	100.0	9.1	22.7	28.4	14.1	25.3	0.4
中学	464	65	127	114	56	101	1
	100.0	14.0	27.4	24.6	12.1	21.8	0.2
高校	880	57	178	268	134	239	4
	100.0	6.5	20.2	30.5	15.2	27.2	0.5



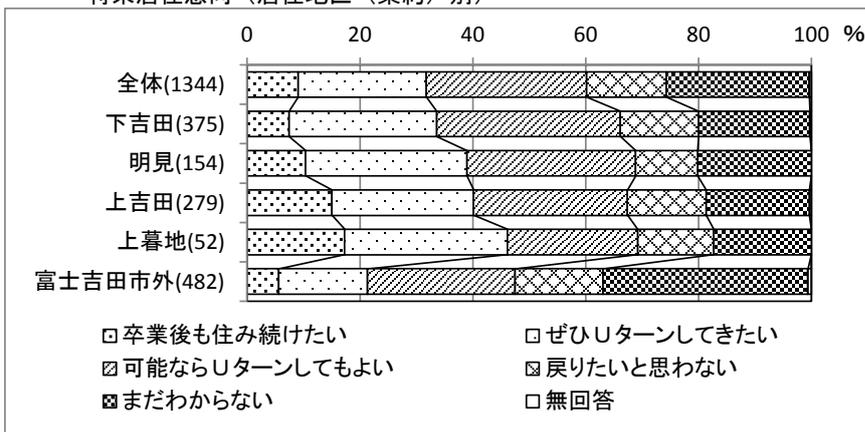
1. 中学・高校卒業後もそのまま市内に住み続けたい
2. 進学または就職で市外に出ても、その後ぜひ戻ってきたい
3. 進学または就職で市外に出ても、もし戻れることになったら戻ってきてもよい
4. 進学または就職で市外に出て、その後戻りたいとは思わない
5. まだわからない

「卒業後も住み続けたい」とUターン希望(「可能なら」を含む)を合わせた地元居住意思があるのは約6割であり、その割合は高校生よりも中学生の方が高い。

将来居住意向 (性別)



将来居住意向 (居住地区(集約)別)



男女別では大きな差異はないが、居住地区別では、「住み続けたい」と「ぜひ」という積極的Uターン希望を合わせた割合が、上暮地、上吉田、明見、下吉田の順となっており、地区への愛着の程度の相違の現れとも受け取られる。

なお、市外在住者は「わからない」の割合が高いが、自らの居住市町村への考えが混在していると見られる。

問8. 上の問7の答えのおもな理由は何ですか。(回答は2つ以内)

【問7で「1、2、3」と答えた人】

【問7で「4」と答えた人】

市内居住・Uターン希望理由

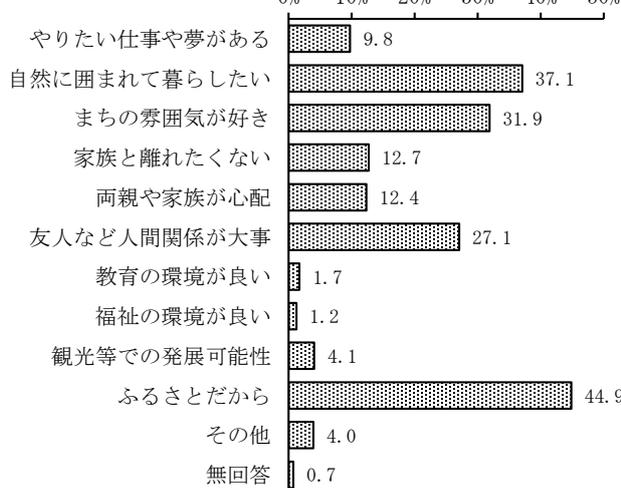
戻りたくない理由

項目名 【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)	項目名 【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	809	100.0	全体	190	100.0
1 やりたい仕事や夢がある	79	9.8	1 働く場が少ない	53	27.9
2 自然に囲まれて暮らしたい	300	37.1	2 夢が市内では困難	89	46.8
3 まちの雰囲気が好き	258	31.9	3 全国・世界で活躍したい	32	16.8
4 家族と離れたくない	103	12.7	4 大都市で暮らしたい	47	24.7
5 両親や家族が心配	100	12.4	5 まちの魅力や賑わいが乏しい	38	20.0
6 友人など人間関係が大事	219	27.1	6 教育の環境が不満	5	2.6
7 教育の環境が良い	14	1.7	7 福祉の環境が不満	4	2.1
8 福祉の環境が良い	10	1.2	8 人間関係やつきあいが面倒	14	7.4
9 観光等での発展可能性	33	4.1	9 交通が不便	55	28.9
10 ふるさとだから	363	44.9	10 火山等の災害が不安	19	10.0
11 その他	32	4.0	11 その他	7	3.7
無回答	6	0.7	無回答	1	0.5

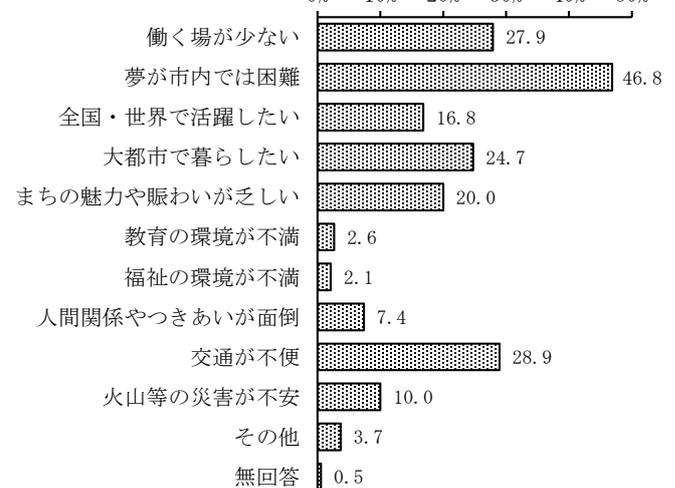
1. 市内でやりたい仕事や夢がある
2. 富士山などの自然に囲まれて暮らしたい
3. 富士吉田のまちの雰囲気が好き
4. 家族と離れたくない
5. 両親や家族の将来が心配
6. 地元の友人など人間関係をなくしたくない
7. 富士吉田の教育の環境が良い
8. 富士吉田の福祉の環境が良い
9. 富士吉田は観光などで発展すると思う
10. 生まれ育ったふるさとだから
11. その他

1. 市内には働く場が少ない(就職がむずかしい)
2. 自分の夢(やりたいこと)が市内ではできない
3. 広く全国、世界で活躍したい
4. 東京など大都市の刺激の中で暮らしたい
5. 富士吉田はまちの魅力や賑わいが乏しい
6. 富士吉田の教育の環境が不満
7. 富士吉田の福祉の環境が不満
8. 地元の人間関係やつきあいがめんどう
9. 富士吉田は交通が不便で行動の自由が少ない
10. 火山などの災害が不安
11. その他

総数=809 (複数回答)



総数=190 (複数回答)



「住み続けたい」あるいは「Uターンしたい」理由としては、「ふるさとだから」が最も多く、これに「自然に囲まれて暮らしたい」、「まちの雰囲気が好き」、「友人など人間関係が大事」の順で続いている。

「戻って来たくない」理由は、「自分の夢が市内ではできない」が最多で、これに、「交通が不便」、「働く場が少ない」が続いている。

「住み続けたい」、「Uターンしたい」理由トップの「ふるさとだから」は、中・高校生、男女別で大きな差はないが、「自然に囲まれて暮らしたい」は中学・高校とも男性の方が高い割合である一方、女性では、「家族と離れたくない」や「両親や家族が心配」の割合が男性より目立って高いのが特徴である。

「戻りたくない理由」でトップの「夢が市内では困難」は、中学女子での割合が高いが、男子では中学より高校の方が高い割合となり、年齢とともに夢の具体化、それと現実の対比の意識が高まる現れとも考えられる。

中・高校別×市内居住・Uターン希望理由

(下段は構成比(%))

	全体	やりたい仕事や夢がある	自然に囲まれて暮らしたい	まちの雰囲気が好き	家族と離れたくない	両親や家族が心配	友人など人間関係が大事	教育の環境が良い	福祉の環境が良い	観光等での発展可能性	ふるさとだから	その他	無回答
全体	809	79	300	258	103	100	219	14	10	33	363	32	6
	100.0	9.8	37.1	31.9	12.7	12.4	27.1	1.7	1.2	4.1	44.9	4.0	0.7
中学	306	40	116	94	36	44	80	3	3	13	128	15	1
	100.0	13.1	37.9	30.7	11.8	14.4	26.1	1.0	1.0	4.2	41.8	4.9	0.3
高校	503	39	184	164	67	56	139	11	7	20	235	17	5
	100.0	7.8	36.6	32.6	13.3	11.1	27.6	2.2	1.4	4.0	46.7	3.4	1.0

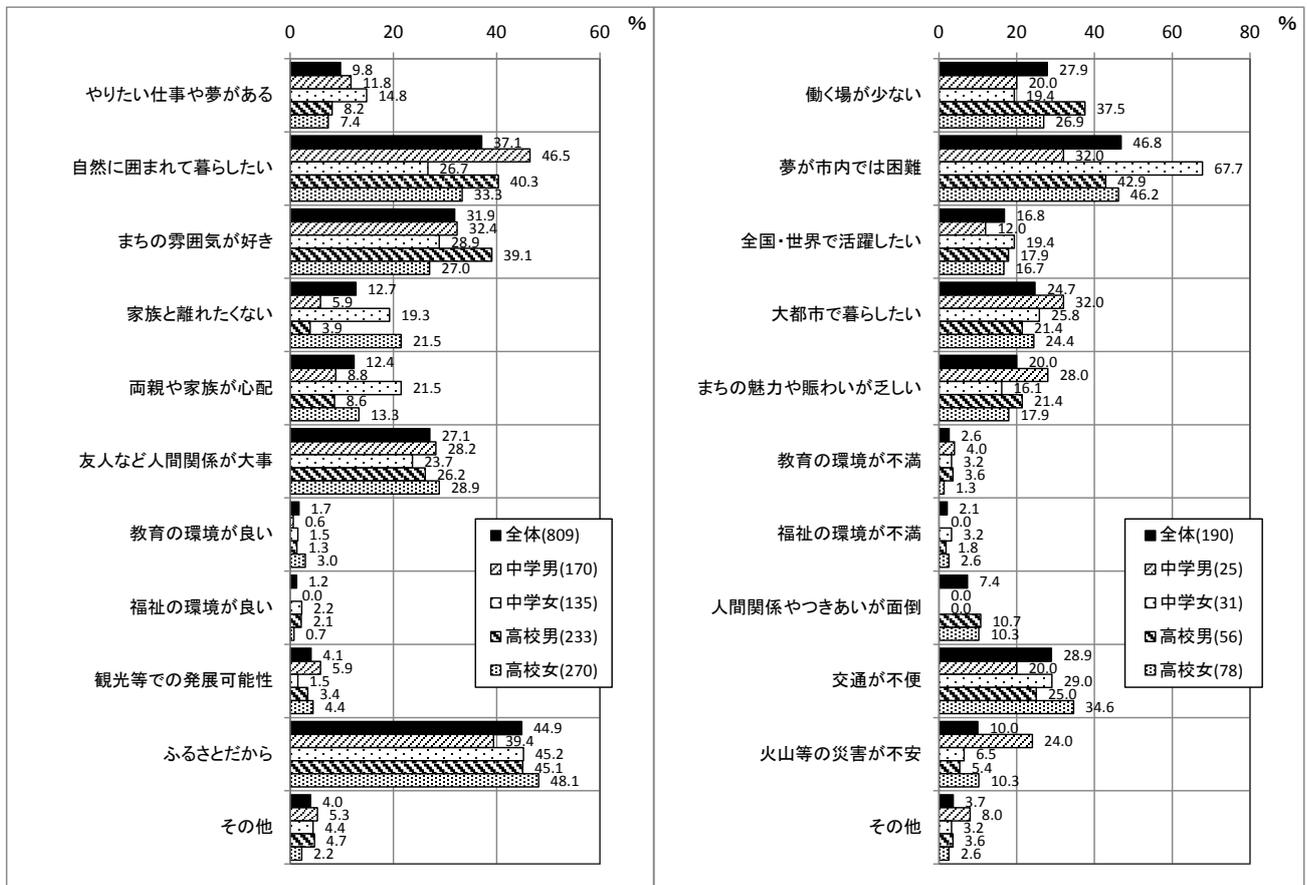
中・高校別×戻りたくない理由

(下段は構成比(%))

	全体	働く場が少ない	夢が市内では困難	全国・世界で活躍したい	大都市で暮らしたい	まちの魅力や賑わいが乏しい	教育の環境が不満	福祉の環境が不満	人間関係やつきあいが面倒	交通が不便	火山等の災害が不安	その他	無回答
全体	190	53	89	32	47	38	5	4	14	55	19	7	1
	100.0	27.9	46.8	16.8	24.7	20.0	2.6	2.1	7.4	28.9	10.0	3.7	0.5
中学	56	11	29	9	16	12	2	1	-	14	8	3	-
	100.0	19.6	51.8	16.1	28.6	21.4	3.6	1.8	-	25.0	14.3	5.4	-
高校	134	42	60	23	31	26	3	3	14	41	11	4	1
	100.0	31.3	44.8	17.2	23.1	19.4	2.2	2.2	10.4	30.6	8.2	3.0	0.7

市内居住・Uターン希望理由(中・高校別、性別)

戻りたくない理由(中・高校別、性別)



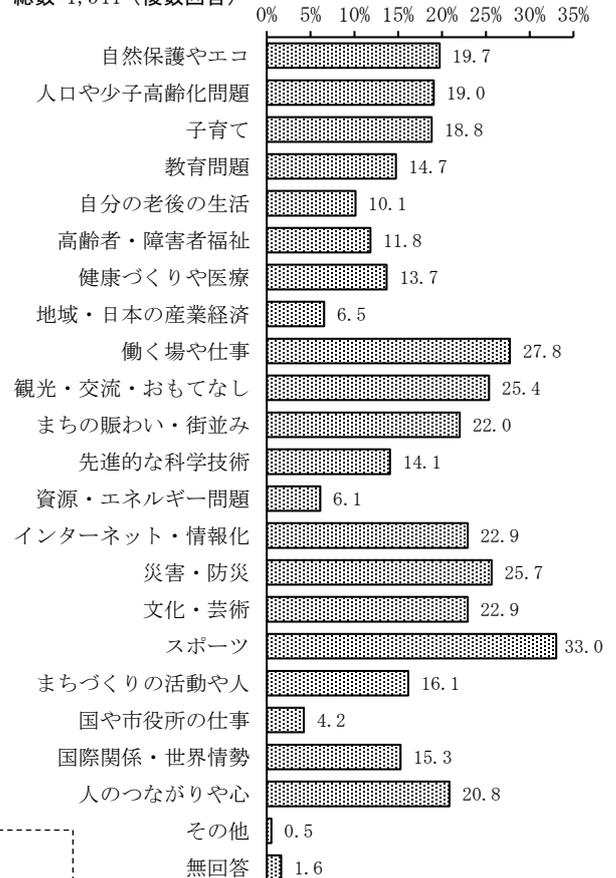
## 5. 社会経済環境について

### (1) 関心があること

問9. 次の中から、あなたが特に関心があることを4つまで選んでください。

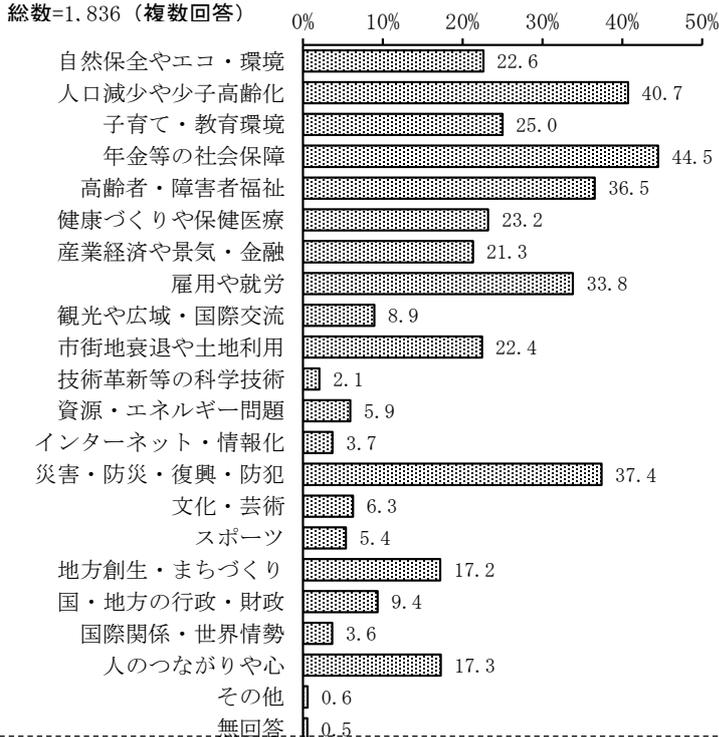
項目名【4つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	1,344	100.0
自然保護やエコ	265	19.7
人口や少子高齢化問題	256	19.0
子育て	253	18.8
教育問題	198	14.7
自分の老後の生活	136	10.1
高齢者・障害者福祉	159	11.8
健康づくりや医療	184	13.7
地域・日本の産業経済	88	6.5
働く場や仕事	373	27.8
観光・交流・おもてなし	341	25.4
まちの賑わい・街並み	296	22.0
先進的な科学技術	189	14.1
資源・エネルギー問題	82	6.1
インターネット・情報化	308	22.9
災害・防災	345	25.7
文化・芸術	308	22.9
スポーツ	444	33.0
まちづくりの活動や人	217	16.1
国や市役所の仕事	57	4.2
国際関係・世界情勢	205	15.3
人のつながりや心	280	20.8
その他	7	0.5
無回答	22	1.6

総数=1,344 (複数回答)



#### [参考] 市民アンケート結果

総数=1,836 (複数回答)



中・高校生の関心事で最も割合が高いのは「スポーツ」であり、これに次いで「働く場や仕事」、「災害・防災」、「観光・交流・おもてなし」などが高い値を示している。

市民アンケートでも、選択肢は異なるものの同様の質問をしているが、雇用・就労や災害・防災への関心の高さは共通だが、その他ではかなり異なる傾向を見せている。

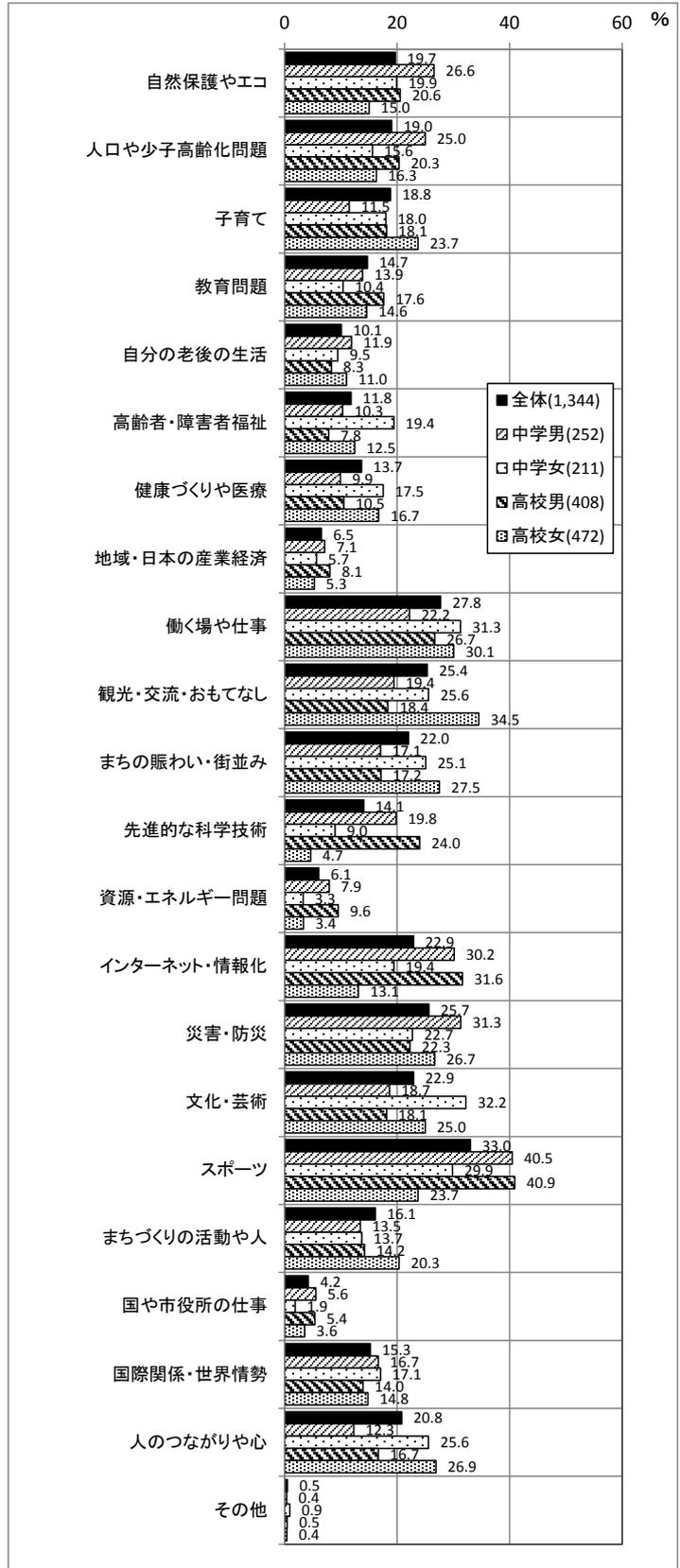
観光関係のほか、情報化、国際関係、文化・芸術などは明らかに中・高校生の方が関心度が高い。

中学と高校では目立って大きな傾向の差は見られず、むしろ、男女による差が目立つ部分がある。

全体で1位の「スポーツ」のほか、「インターネット・情報化」、「先進的な科学技術」、さらに「自然保護やエコ」、「人口や少子高齢化問題」などの項目では男性の方が高い関心割合を示している。

一方で、「文化・芸術」や「観光・交流・おもてなし」のほか、「まちの賑わい・街並み」や「働く場や仕事」、「人のつながりや心」といった項目のほか、福祉、医療関係の項目では女性の方が高い割合となっている。

関心があること（中・高校別、性別）



## (2) 富士山世界文化遺産登録の周知度と活用方向

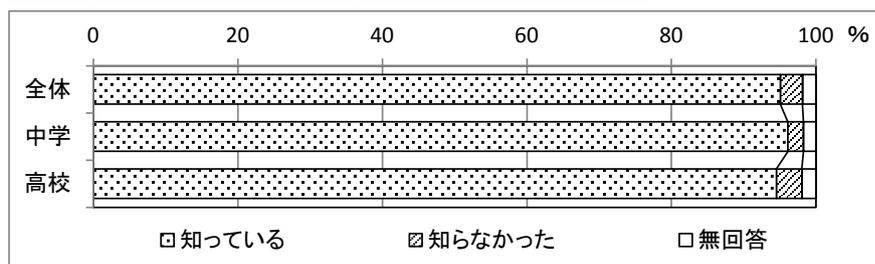
問 10. 富士山が平成 25 年にユネスコ（国連教育科学文化機関）により「世界文化遺産」に登録されました。このことをあなたは知っていますか？（回答は 1 つ）

### 中・高校別×富士山世界遺産登録

（下段は構成比（%））

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	1,344	1,278	41	25
	100.0	95.1	3.1	1.9
中学	464	446	10	8
	100.0	96.1	2.2	1.7
高校	880	832	31	17
	100.0	94.5	3.5	1.9

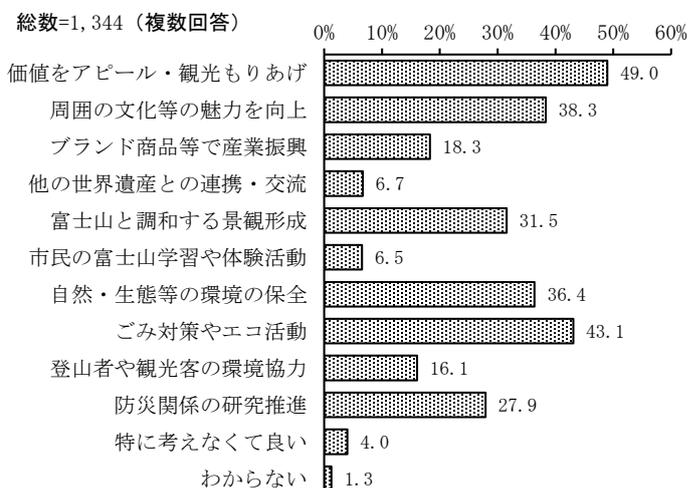
大半の中学・高校生は、富士山が世界文化遺産登録されたことを知っており、「知らなかった」はわずかである。



問 11. 富士山の世界文化遺産への登録をどのように受け止めて、活用していくべきだと思いますか。（回答は 3 つまで）

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	1,344	100.0
1 価値をアピール・観光もりあげ	658	49.0
2 周囲の文化等の魅力を向上	515	38.3
3 ブランド商品等で産業振興	246	18.3
4 他の世界遺産との連携・交流	90	6.7
5 富士山と調和する景観形成	424	31.5
6 市民の富士山学習や体験活動	88	6.5
7 自然・生態等の環境の保全	489	36.4
8 ごみ対策やエコ活動	579	43.1
9 登山者や観光客の環境協力	216	16.1
10 防災関係の研究推進	375	27.9
11 特に考えなくて良い	54	4.0
12 わからない	17	1.3
無回答	32	2.4

1. 世界文化遺産の価値を広くアピールし、観光をもりあげていく
2. 富士山だけでなく、まわりの文化などさまざまな魅力を高めていく
3. 富士山ブランドの商品づくりなどで、市の産業をもりあげる
4. 他の世界遺産と連携、交流して、価値をいっそう高める
5. 富士山と調和するまちの景観（けしき）づくりを進める
6. 市民が富士山を知り、語れるように、学習や体験活動などをしていく
7. 富士山やまわりの自然環境や生き物、水などの環境を確実に守っていく
8. 環境を汚さないよう、ごみ対策やエコ活動などを進める
9. 富士山の環境を守るため、登山者や観光客の協力を求める
10. 富士山の噴火の可能性を考え、防災関係の研究を進める
11. とくに世界遺産だからと考えなくてもよい
12. わからない



世界文化遺産登録の受け止め、活用のしかたとしては、「価値を広くアピールし、観光をもりあげる」が最も高い割合を示している。

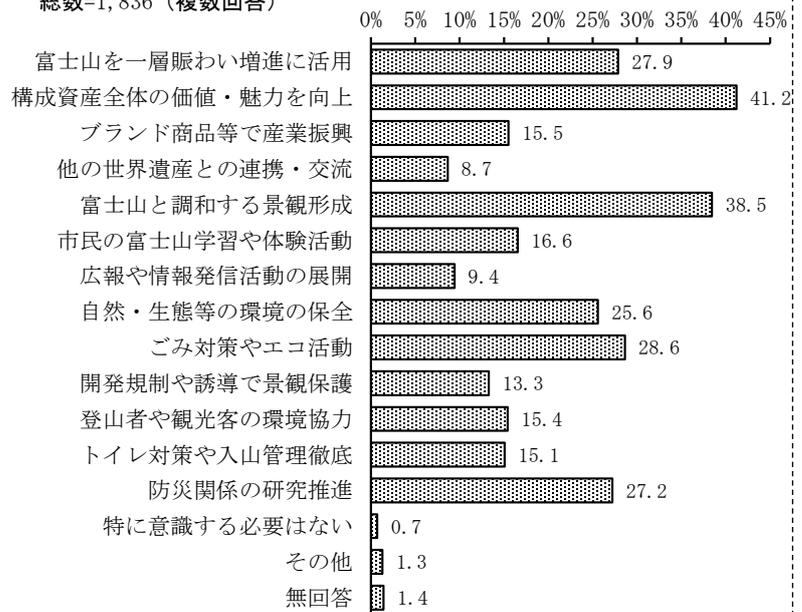
市民アンケートでも、選択肢は異なるものの類似の質問を行っており、上記のほか、環境保全やごみ対策・エコ、景観形成、防災関係の研究などが高い割合であることは共通している。

中学と高校では、「自然・生態等の環境保全」の割合が中学で相対的に高いこと、「ブランド商品等で産業振興」では高校の方が相対的に高いこと、等の特徴が見られる。

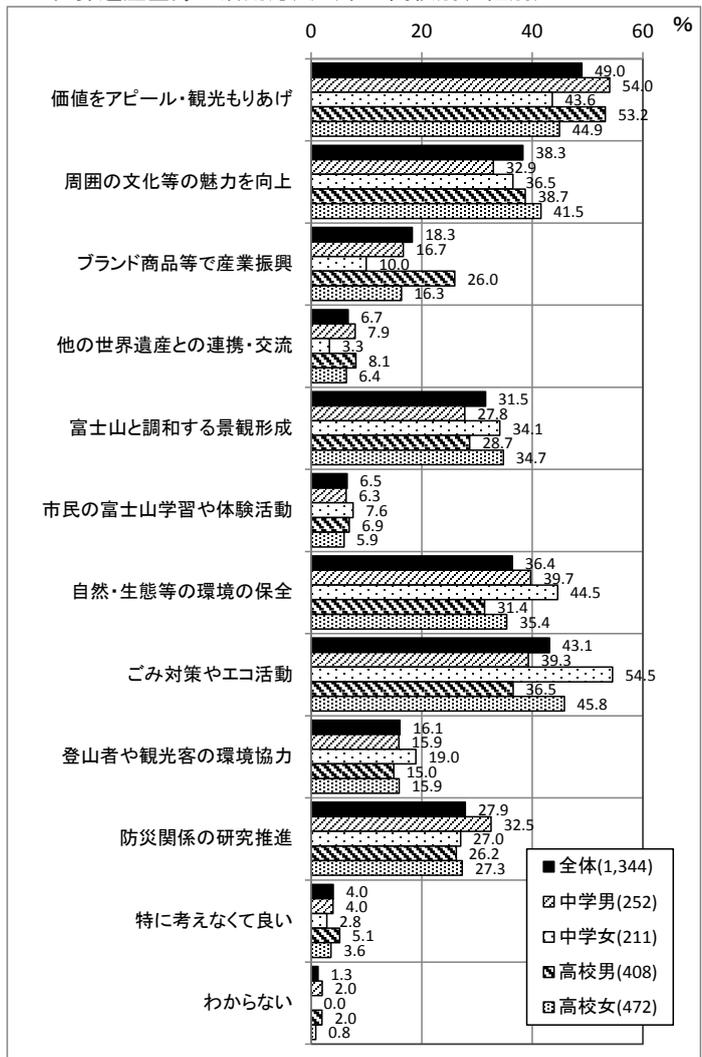
「価値をアピールし観光を盛りあげ」は男性の方が、また、「ごみ対策やエコ活動」、「富士山と調和する景観形成」では女性の方がやや高い割合である。

【参考】市民アンケート結果

総数=1,836 (複数回答)



世界遺産登録の活用方法 (中・高校別、性別)



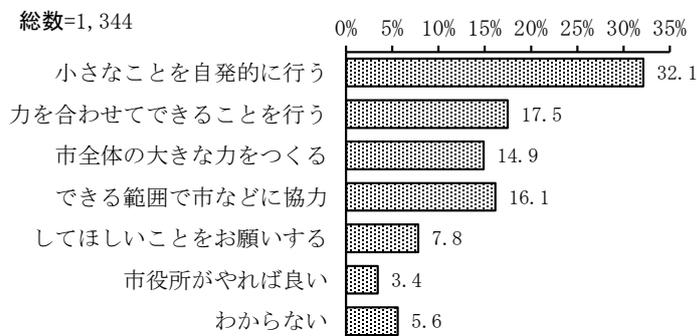
## 6. 地域との関わり姿勢

### (1) まちづくりへの関わり方

問 12. まちのいろいろな問題を解決するために、人々はどのようなことをするべきだと思いますか。(回答は1つ)

項目名	集計値	構成比(%)
全体	1,344	100.0
1 小さなことを自発的に行う	432	32.1
2 力を合わせてできることを行う	235	17.5
3 市全体の大きな力をつくる	200	14.9
4 できる範囲で市などに協力	217	16.1
5 してほしいことをお願いする	105	7.8
6 市役所がやれば良い	46	3.4
7 わからない	75	5.6
無回答	34	2.5

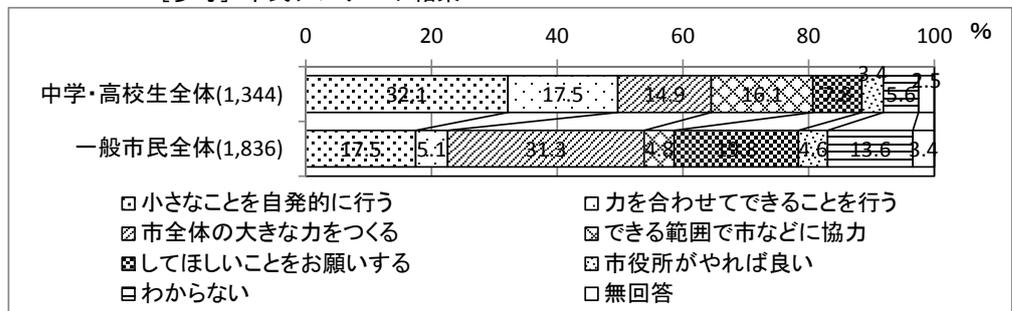
1. 一人ひとりでできる小さなことをどんどん進んで行う
2. グループや地域の人を集まりなどで力を合わせてできることを行う
3. 多くの市民に呼びかけて、市全体で行動する大きな力をつくる
4. 市などが行うまちづくりに対して、できる範囲で協力する
5. 市やいろいろな会社・団体などに、してほしいことをお願いする
6. 問題の解決は市役所の仕事なので、市役所がやればよい
7. わからない



問題解決行動は、「市役所がやれば良い」はわずかで、「一人ひとりでできる小さなことを進んで行う」などの自発的な行動や組織的な行動の意思が多く示されている。

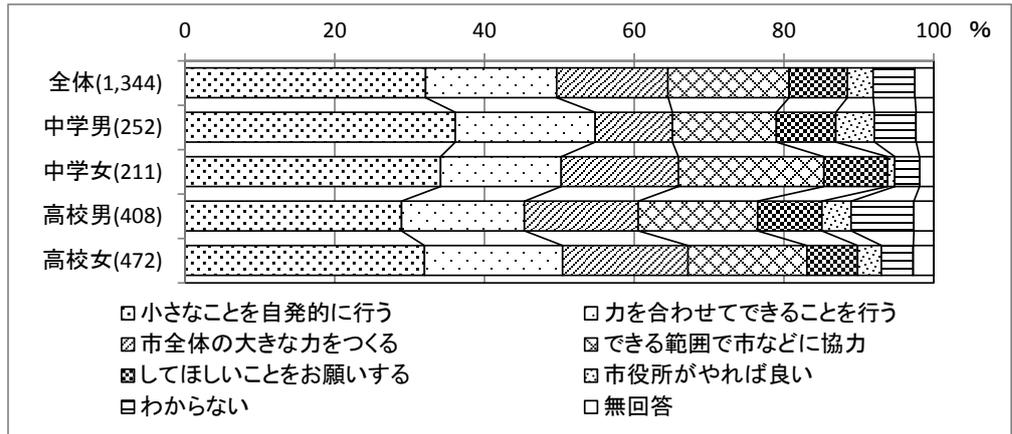
市民アンケートでも、選択肢が濃くなるが同様の設問を行っており、これと比較すると、「してほしいことをお願いする」といった消極的回答の割合は中・高校生では相対的に少なく、全体として積極性の高い結果となっている。若い世代のこの前向きな行動意識が、成人後も継続することが望まれる。

[参考] 市民アンケート結果



この傾向は、中学・高校でそれほど大きな差はなく、中学生の方が若干積極的な回答の割合が高い程度である。

まちの問題解決への行動（中・高校別、性別）



## 7. 自由な意見

本アンケートでは、最後に「富士吉田市のこれからのまちづくりについて」自由な意見や考えの記述を求めている。

これに対しては、計 421 件の意見回答が寄せられた。

記載された意見内容を、主要な分野区分ごとに分類すると、以下のような分布となった。なお、一人の回答の中に複数意見が記載されている例があるため、その中の主要と思われる区分に分類することを基本としたが、主要意見の判断が難しいものについては敢えて複数区分に重複して分類したのもあり、延べ件数は 515 件となっている。

自由意見の分野区分別件数分布

区分		件数
1	自然	28
2	富士山・景観	66
3	歴史・文化・資源	7
4	まつり、イベント	20
5	産業、働く場	7
6	にぎわい、まちなみ	23
7	商業施設	76
8	観光	31
9	レジャー施設	28
10	公園、遊び場	28
13	教育	3
14	安全、防災	17
15	道路・交通	43
17	清潔さ	61
18	公共施設	8
19	人・地域のつながり	10
20	自分にできること	29
88	行政にしてほしいこと	13
91	今の富士吉田で満足	11
95	その他	6
計(延べ件数)		515

このうち、件数の多い分野区分の意見から、代表的な意見を数件ずつ抽出して以下に示す。

### ■自然

今の環境でも充分美しいと思うので、特に今の社会にあわせて近代化する必要はないと思う。今の町並みを残しつつ、空家やゴミなどの問題について考えていくべき。観光を優先して、ポイ捨てや開発で自然をそこなうようなことはしないしてほしい。ただ、交通の不便さはしかたないことでもあるがどうかしてほしい。	高校・女	市外
自然が近いことが、この地域の良い所だと思うので、それを大切にしていってほしいと思います。	高校・女	市外

富士吉田市が「自然の都」になれば良い。	中学・男	市外
まちなのにぎわいが欲しいが、自然などの環境が崩れることは防ぎたい。	中学・女	市外

### ■富士山・景観

大きなビルや高層マンションなど富士山が見にくくなったり、調和しているのを狂わせるような建物はやめて欲しい。	中学・男	下吉田
観光客が増えていってもゴミは増えないようにしたい。富士山もゴミがなくなって、もっときれいな富士山であって欲しいと思う。自分にできることはどんどんしていきたい。	中学・男	市外
電柱とか電線などがあって、きれいな富士山が撮れる場所が少ないので、少しずつでも、改善してほしいと思う。	高校・女	上吉田
富士山＝富士吉田市となれるようにがんばってほしいです！！	高校・女	下吉田

### ■歴史・文化・資源

忠霊塔を本格的に盛り上げて欲しい。	高校・女	下吉田
水がとても美味しくきれいだから、ずっとそのままいて欲しい。	中学・女	下吉田
吉田のうどんうまい。	高校・男	市外

### ■まつり、イベント

祭りなど地域の人々が交流できる行事を増やしてほしい。	中学・女	上吉田
もっと富士吉田市民で沢山、協力できるようなイベントなどがあれば良いと思う。	中学・女	上吉田

### ■産業、働く場

富士山の文化を残しながら、若人受けする企業誘致事業を行っていく。	高校・男	下吉田
----------------------------------	------	-----

### ■にぎわい、まちなみ

空き家をへらしていく。	高校・男	下吉田
今では色々な商店街がシャッターを閉じていて、活気がないと思う。昔のように活気ある商店街が見ていたい。	高校・男	市外

### ■商業施設

大型商業施設があれば、もっと観光客も増えたり住みたいと思う人も、もっと増えたりすると思う。あと地域のイベントをもっと活発にした方が良いと思う。	高校・男	下吉田
大型店を導入しない方が良いと思う。だからと言って今まで通りのやり方で商店街をやっても、人は来ない。時代を考えて行うべき。	高校・女	市外
日常生活で必要なお店をもっと身近なところにつけて欲しいです。市民の人が楽しめる場所(映画館やプールなど)が欲しいです。	中学・女	下吉田
富士吉田には”歩いて行ける”ような手軽さがある反面、商業施設が少ないため、不便でもあると思います。	中学・女	明見
もっと、いろいろな種類のショッピングセンターなどを増やした方が地元の人達も、もっと住みやすいのではないかと思います。また観光客も来やすいと思った。	中学・男	下吉田

### ■観光

外国人の観光客も増えてきているので、観光客が居心地が良いと感じられる町にしてほしい。	中学・女	下吉田
環境と観光、どちらも両立して良くしていければ良いと思う。	高校・男	市外

### ■レジャー施設

近くにもっと誰でも行けるようなスポーツ公園がほしい。	中学・男	明見
日常生活で必要なお店をもっと身近なところにつけて欲しいです。市民の人が楽しめる場所(映画館やプールなど)が欲しいです。	中学・女	下吉田

### ■公園、遊び場

まちなみを壊さない程度に遊べる場所を作って欲しい。体育館をつくり直してほしい。	中学・女	明見
---	------	----

市民全員が喜んで使う公園がほしいです。富士山の噴火に備え市民の連携や噴火に備えたまちづくりをしてほしいです。	中学・女	上吉田
近くにもっと誰でも行けるようなスポーツ公園がほしい。	中学・男	明見

### ■安全、防災

富士山が噴火した時や地震が起こった時はすぐに放送してほしいし、高齢者も多いから市の人達が色々助けてほしい。	高校・女	下吉田
富士山はいつ噴火するのか分からないから噴火した時の行動を市民全員が考えた方が良いと思う。ポイ捨てがダメだと分かっている、捨てている人はたくさんいるから、そういう人をなくすための活動を市役所の人だけでなく、全員でやっていくべきだと思う。	中学・女	下吉田
雪が降ったときの下吉田を何とかしてあげたい。	中学・男	上吉田

### ■道路・交通

交通の便を良くして多くの人が住みやすく、来やすい町にした方が良いと思う。	中学・男	下吉田
富士山が世界遺産に登録され、まちが活気づいているのは分かるが、電車など公共のもの利用について、もう少し地元の人々が今まで通りに生活できるような工夫が欲しい。	高校・女	市外
交通事故が多いので、信号機を付けてほしい所がある。	中学・男	上吉田

### ■清潔さ

各自治体で協力し合い、ゴミ対策などを呼びかけていった方が良い。	中学・男	下吉田
ゴミのない環境を作っていきたいです。観光客が来るときなど町がきれいだと気持ちが良いと思うから。	中学・女	明見
市内の学生で環境保護のための活動(ゴミ拾い等)が出来ると思う。	中学・女	明見

### ■公共施設

スポーツのできる場所、芝のサッカー場を作ってもらいたい。ナイター練習の場所も欲しい。そして押原公園みたいのも作って欲しいです。	中学・男	下吉田
プールなどを作って欲しいとずっと思っている。また中高生が買い物できるような所を作って欲しい。(イオンモール的な)。	中学・男	下吉田

### ■人・地域のつながり

地域のつながりを大切にし、助け合う地域社会を作っていくことが大事だと思う。	高校・女	市外
富士吉田だけでなく、近隣の市町村とも協力していく。	高校・男	市外

### ■自分にできること

「富士山のふもとのきれいな町」として、ゴミ拾いをしたり、環境保護を進んでしたいと思った。	中学・女	下吉田
自分にできることを少しでもやっていけば、その積み重ねで富士吉田が良くなっていくと思うから。	中学・女	上吉田
一人ひとりが自分でできる事を考えると良いと思う。「私には関係ない」ではなく、「自分にできる事は何か」と考えていくべきだと思う。	高校・女	上吉田

### ■行政にしてほしいこと

よくまちづくりの構想図のようなものを目にしたりするが、きっと廃案にでもなったのだろうって思ってしまうくらい動きが見えない。見てないだけかもしれないが、市民が受動態で見られるようにした方が良いのではないかなと思う。	高校・男	明見
--	------	----

### ■今の富士吉田で満足

富士吉田のまちをきれいなまちづくりをしていきたいし、自然の環境があるまちになれば良いと思う。	中学・男	上暮地
--	------	-----

### ■その他

環境保護と言いつつ、その行為が環境のバランスを壊しているのかもしれない、ということに気付くべき。これに気付かないと、ただの自己満足になってしまう。	高校・男	上吉田
---	------	-----

問 5 でも書いたように、若者達が市外に行ってしまうのは、富士吉田の魅力がないわけではなく、素晴らしさを伝える人達や、地元に誇りを持っている人が少ないからであると考え。ものや町ではなく、人を変えることが、良い町を作っていく第一歩だと考える。	高校・男	市外
--	------	----

**富士吉田市第6次総合計画策定のための  
事業所アンケート調査  
結果報告書**

平成28年10月

株式会社フジヤマ

## 【目 次】

---

---

<b>1. 調査概要</b>	<b>1</b>
（1）調査の趣旨	1
（2）調査の方法等	1
（3）調査項目	1
（4）回収状況	1
<b>2. 事業所の属性</b>	<b>2</b>
（1）業種・規模情報	2
（2）営業関連情報	3
<b>3. 業績や事業の展望</b>	<b>5</b>
（1）業績の推移と展望	5
（2）事業多角化・業種転換等の可能性	7
<b>4. 雇用増加の可能性や条件</b>	<b>8</b>
（1）今後の雇用増加の可能性と条件	8
（2）求める人材の特性や範囲	9
（3）従業員の市内居住について	10
（4）女性・高齢者・障害者の雇用について	11
<b>5. 立地条件評価・地域との関わり</b>	<b>12</b>
（1）富士吉田市の事業所立地条件評価	12
（2）CSR活動実施状況や課題	13
<b>6. 市の産業振興について</b>	<b>15</b>
（1）市の産業経済振興の必要方策	15
（2）地場産業の維持・再生方策	16
（3）観光と事業の関わり	17
<b>7. 自由な意見</b>	<b>18</b>

---

---

## 1. 調査概要

### (1) 調査の趣旨

第6次富士吉田市総合計画の策定にあたり、市民意向を反映するため、市民アンケート調査を実施しているが、これを補完する調査のひとつとして、市内の事業所に対し、産業を担う立場からの市の評価や今後の展望等をたずね、計画に反映させることを目的として実施したものである。

### (2) 調査の方法等

調査主体	富士吉田市
調査対象	市内の事業所 50 社（市法人台帳より選定）
調査期間	調査準備 平成 28 年 6 月～7月上旬 調査実施 平成 28 年 7 月 15 日発送、8 月 10 日回収期限 集計分析 平成 28 年 8 月下旬～9 月
実施方法	配布：郵送 / 回収、郵送（返信用封筒同封、切手不要）

### (3) 調査項目

事業所の属性	業種／従業者数とその内訳／当地での営業年数／本社（本部）所在地／取引先（顧客）の主な範囲
業績や事業の展望	近年の業績（売上）推移／今後の業績の展望とその理由／今後の事業多角化・業種転換等の可能性
雇用増加の可能性や条件	今後の雇用増加の可能性／雇用増加の必要条件／求める人材像／人材を求める範囲／市外からの通勤者の市内居住について／女性・高齢者・障害者の雇用拡大について
立地条件評価・地域との関わり	富士吉田市の事業所立地条件評価／CSR活動実施状況や課題
市の産業振興について	市の産業経済振興の必要方策／地場産業の維持・再生方策／観光と事業の関わり（現状と今後）

### (4) 回収状況

回収数 35 事業所	回収率 70.0%
------------	-----------

## 2. 事業所の属性

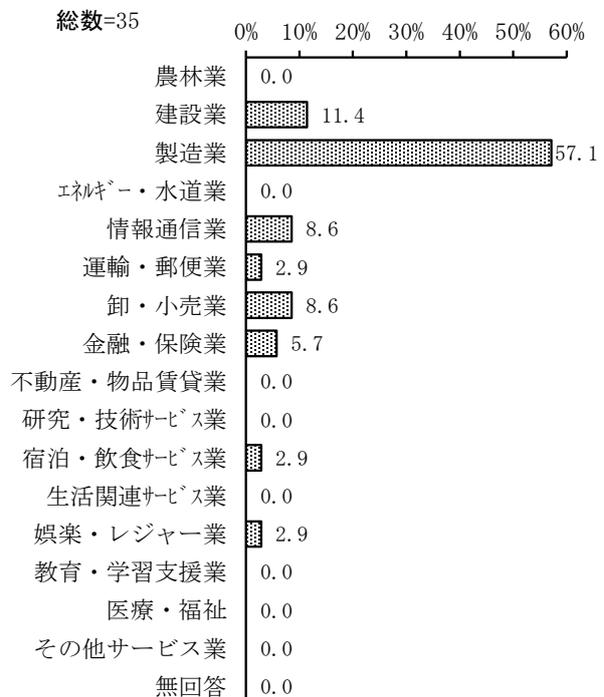
### (1) 業種・規模情報

問1-a. 業種

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
農林業	-	-
建設業	4	11.4
製造業	20	57.1
エネルギー・水道業	-	-
情報通信業	3	8.6
運輸・郵便業	1	2.9
卸・小売業	3	8.6
金融・保険業	2	5.7
不動産・物品賃貸業	-	-
研究・技術サービス業	-	-
宿泊・飲食サービス業	1	2.9
生活関連サービス業	-	-
娯楽・レジャー業	1	2.9
教育・学習支援業	-	-
医療・福祉	-	-
その他サービス業	-	-
無回答	-	-

回収 35 事業所のうち 2 / 3 にあたる 20 事業所が製造業である。他に、建設業、情報通信業、卸・小売業等がある。

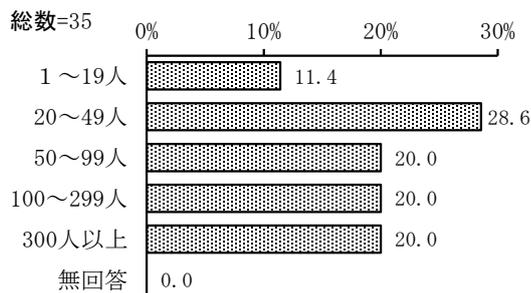
従って、以下の集計結果は、製造業事業所に偏った内容であることを念頭に置く必要がある。



業種	具体的事業内容記述
建設業	建築一式
製造業	食品
製造業	自動車、内部部品縫製、製造、一般貨物運送
製造業	ゴム製品製造販売
製造業	電子部品製造
製造業	ミネラルウォーター製造業
情報通信業	ソフトウェア開発
卸・小売業	住宅設備機器・管材類の販売

問1-b. 従業者数(計)

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
1～19人	4	11.4
20～49人	10	28.6
50～99人	7	20.0
100～299人	7	20.0
300人以上	7	20.0
無回答	-	-
平均	141.5	-



事業所の従業者数規模は、20～49人のクラスに属するものが10社で、3割弱を占める。回答35社の従業者数を平均すると141.5人となり、上記最多クラスの規模よりもかなり大きい。これは、600人台の事業所が1件、500人台が2件、400人台が1件あるためである。

また、男女別の従業者数、30歳未満の若年層及び60歳以上の高齢者の数、市内居住の従業者の数を合わせてたずねており、その結果は次のとおりである。

女性の割合は25%未満の事業所が半数近くを占めるが、規模の大きな事業所で女性割合が高い

ところがあるため、平均の女性比率は 52.8%となっている。

30歳未満の若年層の割合は、20～30%のクラスが最も多く、平均の割合は 30.0%である。一方、60歳以上の高齢者の従業者割合は 5～10%のクラスが最も多いが、全体の平均割合は 10.5%となっている。

従業者のうち富士吉田市内に居住する者の割合は、約 6 割の事業所で 50%以上となっているが、25%未満の事業所も 14%ある。平均の市内居住割合は 58.9%と、6 割弱にとどまっている。

女性比率		30歳未満比率		60歳以上比率	
区分	構成比(%)	区分	構成比(%)	区分	構成比(%)
25%未満	48.6	10%未満	25.7	5%未満	25.7
25%以上50%未満	22.9	10%以上20%未満	25.7	5%以上10%未満	37.1
50%以上75%未満	22.9	20%以上30%未満	37.1	10%以上20%未満	20.0
75%以上	5.7	30%以上	11.4	20%以上	17.1
平均比率	52.8%	平均比率	30.0%	平均比率	10.5%

#### 市内居住者比率

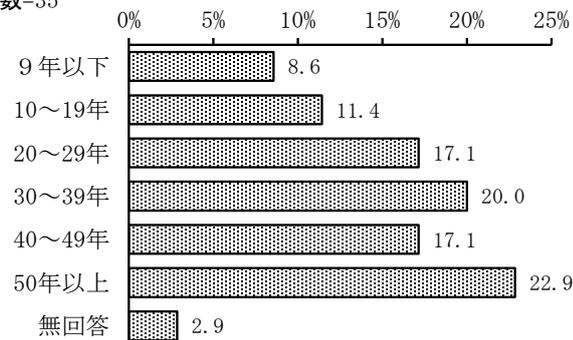
区分	構成比(%)
25%未満	14.3
25%以上50%未満	25.7
50%以上75%未満	48.6
75%以上	11.4
平均比率	58.9%

## (2) 営業関連情報

### 問1-c. 営業年数

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
9年以下	3	8.6
10～19年	4	11.4
20～29年	6	17.1
30～39年	7	20.0
40～49年	6	17.1
50年以上	8	22.9
無回答	1	2.9
平均	38.6	

総数=35

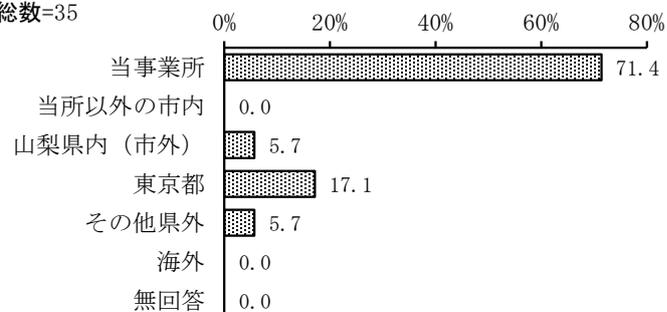


当地（市内）での営業（操業）年数は、50年以上というものが 22.9%あり、全体の 6 割が 30年以上という、富士吉田市に根ざした事業所である。

### 問1-d. 本社所在地

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
当事業所	25	71.4
当所以外の市内	-	-
山梨県内（市外）	2	5.7
東京都	6	17.1
その他県外	2	5.7
海外	-	-
無回答	-	-

総数=35

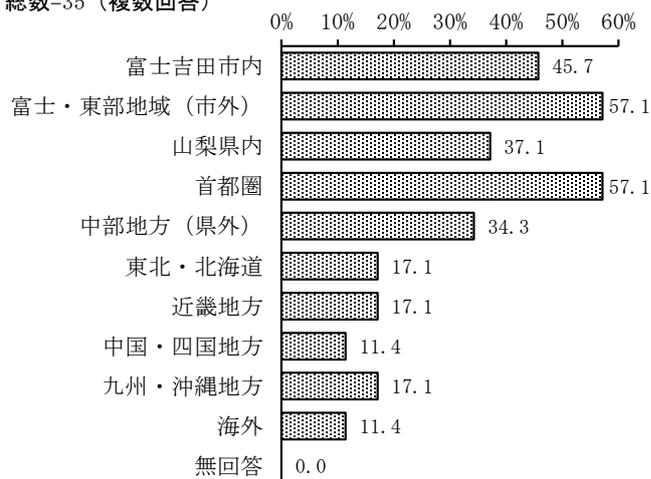


全体の 7 割強が、回答事業所が本社（本部）であるとしており、残りは、東京都をはじめ市外、県外に本社（本部）がある。この意味でも、地域に根ざした事業所が多いといえる。

問1-e. 取引先範囲

項目名 【複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
富士吉田市内	16	45.7
富士・東部地域（市外）	20	57.1
山梨県内	13	37.1
首都圏	20	57.1
中部地方（県外）	12	34.3
東北・北海道	6	17.1
近畿地方	6	17.1
中国・四国地方	4	11.4
九州・沖縄地方	6	17.1
海外	4	11.4
無回答	-	-

総数=35（複数回答）



主な取引先（顧客）の範囲を複数回答していただいた結果、市内にとどまらず、富士・東部地域や山梨県内のほか、首都圏方面としている事業所も多い。前問のように市内に中心拠点を置きながらも、広く広域や全国を相手に営業している状況がわかる。

## 2. 業績や事業の展望

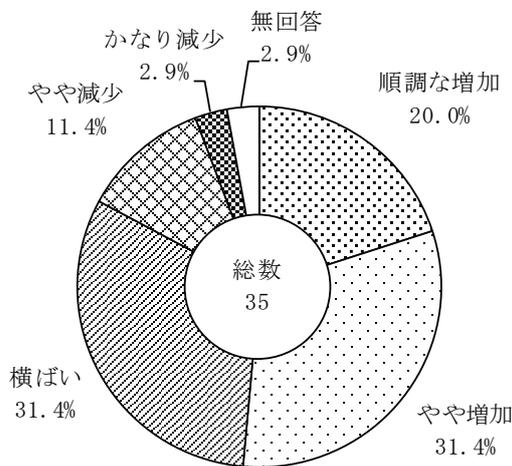
### (1) 業績の推移と展望

問2. 近年（過去5年間程度）の業績（売上）の推移は（回答は1つ）

問3. 今後（5年先程度を見通した場合）の業績の展望は（回答は1つ）

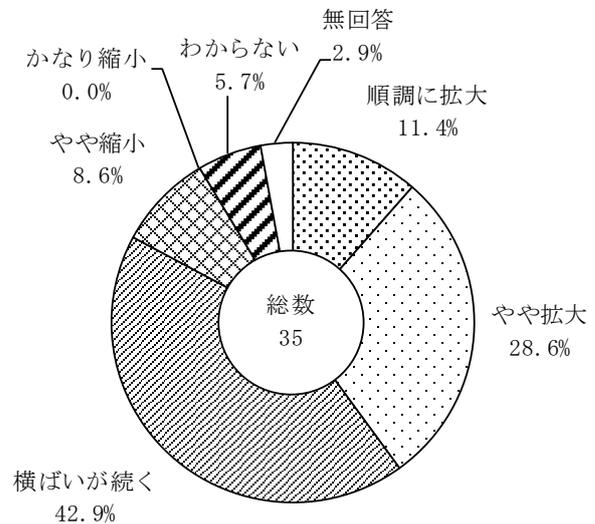
問2. 近年の業績

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
順調な増加	7	20.0
やや増加	11	31.4
横ばい	11	31.4
やや減少	4	11.4
かなり減少	1	2.9
無回答	1	2.9



問3. 今後の業績展望

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
順調に拡大	4	11.4
やや拡大	10	28.6
横ばいが続く	15	42.9
やや縮小	3	8.6
かなり縮小	-	-
わからない	2	5.7
無回答	1	2.9



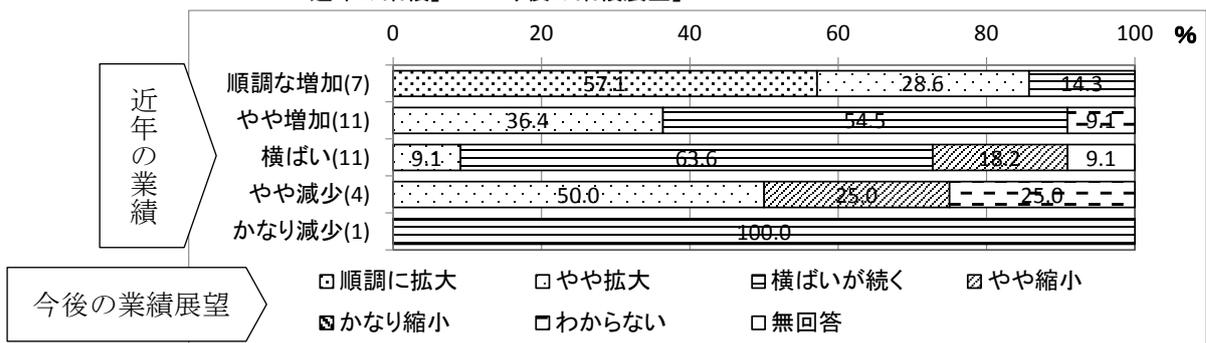
過去5年程度の行政（売上）推移は、「増加」と答えた事業所が半数を上回っており、残りのうちの多くが「横ばい」で、「減少」の回答は5社（14.3%）である。

しかし、今後（5年程度）の業績展望では、「拡大」との回答は約4割にとどまり、その分「横ばい」が増えている。

現状では好調であっても今後の見通しは厳しいとの見かたがあることを示している。

両者のクロス集計を行うと、これまで「増加」してきたところも今後は「横ばい」とする事業所がある反面、あるいはこれまで「減少」だったところが「拡大」と展望しているところもある。

「近年の業績」×「今後の業績展望」

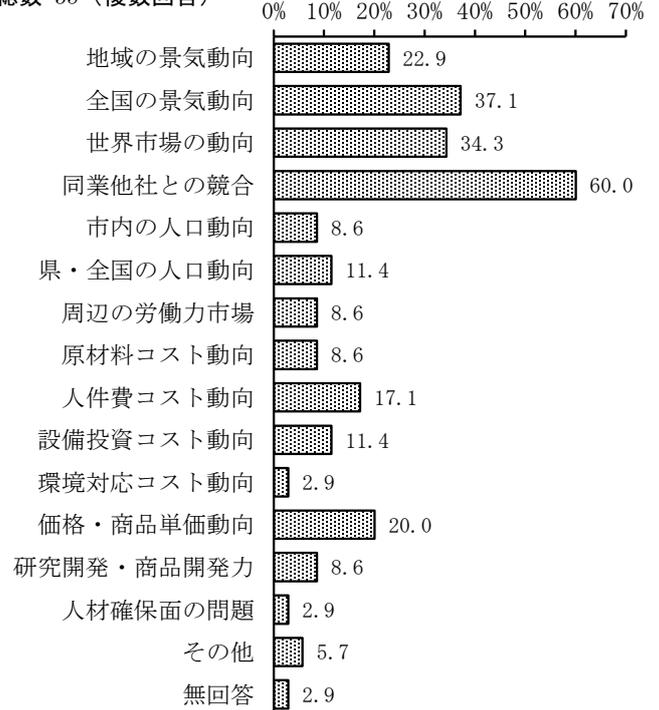


○問2の「今後の業績展望」の理由は（回答は3つまで）

問3. ○業績展望理由

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
地域の景気動向	8	22.9
全国の景気動向	13	37.1
世界市場の動向	12	34.3
同業他社との競合	21	60.0
市内の人口動向	3	8.6
県・全国の人口動向	4	11.4
周辺の労働力市場	3	8.6
原材料コスト動向	3	8.6
人件費コスト動向	6	17.1
設備投資コスト動向	4	11.4
環境対応コスト動向	1	2.9
価格・商品単価動向	7	20.0
研究開発・商品開発力	3	8.6
人材確保面の問題	1	2.9
その他	2	5.7
無回答	1	2.9

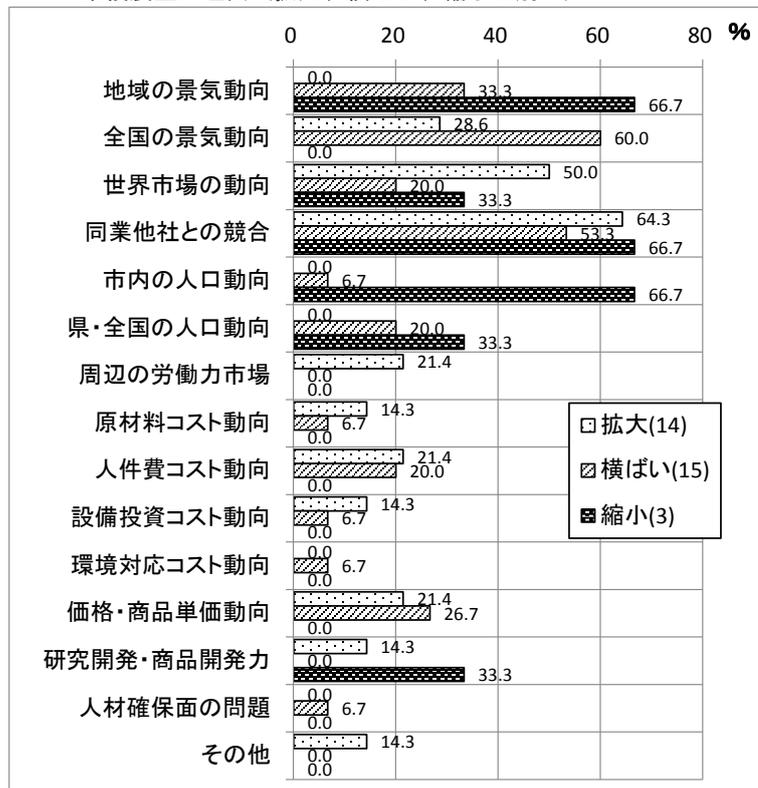
総数=35（複数回答）



前問で「拡大」または「縮小」等とした今後の業績展望の理由をたずねたところ、「同業他社との競合・競争」が最も多くを占めている。その他では、全国、世界、地域の「景気・市場動向」が多くを占める。地域に根ざした事業所でも全国的、世界的な環境下で業績が左右される状況にある。

「拡大」「横ばい」「縮小」の別にその理由をみると、今後「拡大」、「横ばい」とした事業所では「同業他社との競合・競争」のほか「世界市場の動向」や「全国の景気動向」を理由とする割合が大きいが、今後「縮小」とした事業所では、「同業他社との競合・競争」も多いものの、さらに「地域の景気動向」、「市内の人口動向」、「県・全国の人口動向」をあげる割合が目立って高く、地域市場への依存度が高い事業所が今後「縮小」の可能性が高いことがわかる。

業績展望の理由（拡大、横ばい、縮小の別に）

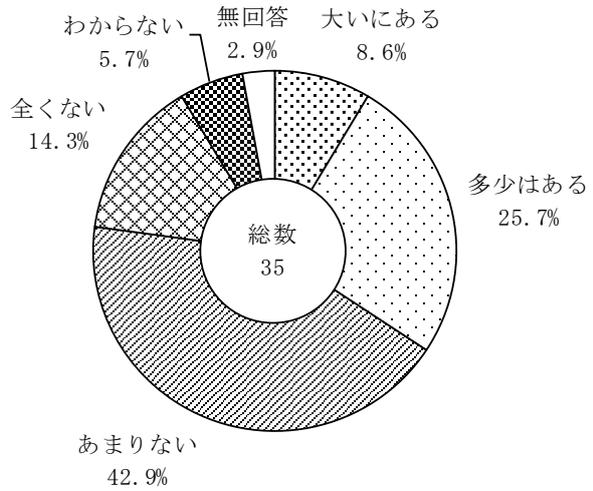


(2) 事業多角化・業種転換等の可能性

問4. 今後の事業の多角化、業種転換などの可能性は（回答は1つ）

問4. 事業多角化・業種転換の可能性

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
大いにある	3	8.6
多少はある	9	25.7
あまりない	15	42.9
全くない	5	14.3
わからない	2	5.7
無回答	1	2.9



今後の事業の多角化や業種転換などの可能性については、(大いに、多少は)「ある」の回答よりも(あまり、全く)「ない」の回答の方が多い。前問の結果のように、今後の展望が厳しい部分が多い現状では、新たな展開の余裕が乏しいところが多いとも推察される。

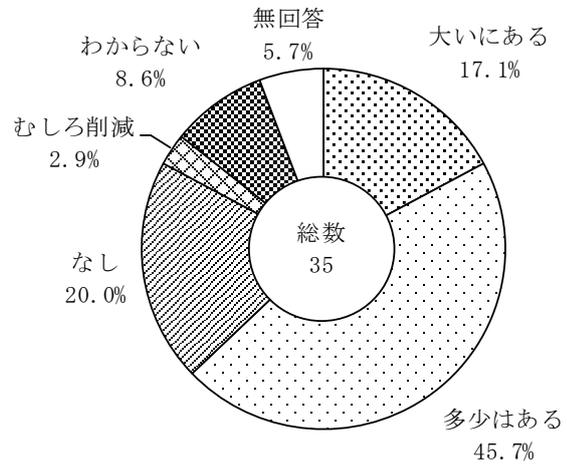
## 4. 雇用増加の可能性や条件

### (1) 今後の雇用増加の可能性と条件

問5. 問4や問5の業績や事業多角化等の展望のもとで、今後（5年間程度）に従業員の雇用を増やす可能性は（回答は1つ）

#### 問5. 雇用拡大の可能性

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
大いにある	6	17.1
多少はある	16	45.7
なし	7	20.0
むしろ削減	1	2.9
わからない	3	8.6
無回答	2	5.7



前問のように、事業の多角化など業績展望が厳しい情勢の中でも、今後の雇用増加については（大いに、多少は）「ある」とする割合が6割以上を占めている。業績を維持していく上でも、人材の確保が重要であることが現れているといえる。

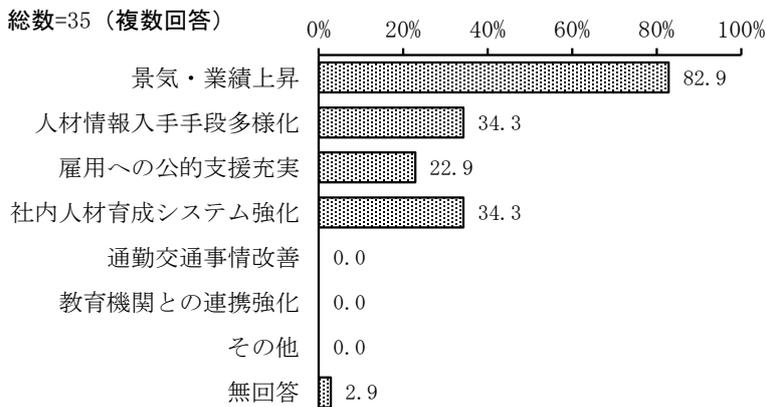
問6. 今後、従業員の雇用を増やすために、必要条件となることは（回答は2つまで）

#### 問6. 雇用拡大の必要条件

項目名 【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
景気・業績上昇	29	82.9
人材情報入手手段多様化	12	34.3
雇用への公的支援充実	8	22.9
社内人材育成システム強化	12	34.3
通勤交通事情改善	-	-
教育機関との連携強化	-	-
その他	-	-
無回答	1	2.9

今後の雇用増加のための必要条件は、「景気・業績の上昇」が突出しており、業績見通しの理由として全国や世界、地域の景気動向が多くあげられていたことと符合する。

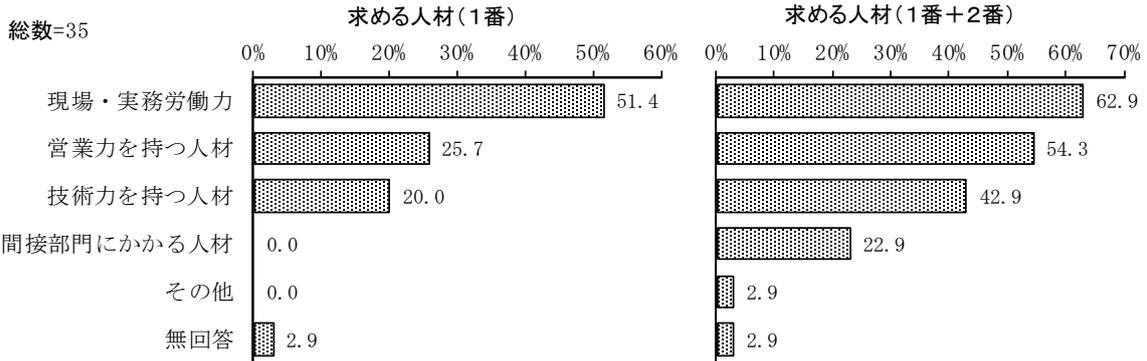
また、人材情報の入手手段の多様化や社内の人材育成システムの強化などを条件にあげる割合も一定程度ある。



## (2) 求める人材の特性や範囲

問7. もし今後雇用を増やすとした場合、求める人材は（1番目、2番目に1つずつ回答）

項目名	1番目		1番目+2番目	
	集計値	構成比(%)	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0	35	100.0
1 現場・実務労働力	18	51.4	22	62.9
2 営業力を持つ人材	9	25.7	19	54.3
3 技術力を持つ人材	7	20.0	15	42.9
4 間接部門にかかる人材	-	-	8	22.9
5 その他	-	-	1	2.9
無回答	1	2.9	1	2.9



1. 製造・販売等の現場・実務に携わる労働力となる人材
2. 営業活動・営業開拓など、営業力を持つ人材
3. 研究・設計・新製品開発など、技術力を持つ人材
4. 経理・総務・広報・法務など間接部門にかかる人材
5. その他

### 具体的に求める人材像の記載

賢い人。  
工場管理(幹部)。  
資材管理、生産管理実務に携わる人。  
提案営業によって潜在需要を掘り起こすことができる人材。  
品質管理能力、設備機器管理能力に優れた人材。  
自ら発想し技術を磨いていく人材。  
メンタル、意識部分が強、前向きな者。

一番に求める人材は、「製造・販売等の現場・実務の労働力人材」であり、「営業力を持つ人材」や「技術力を持つ人材」はそれに次ぐ需要と見られる。しかし、具体的記述の中には、現場であっても管理能力、提案能力、発想力等を求める声が見られ、人材の質の面も重視されている状況が伺える。

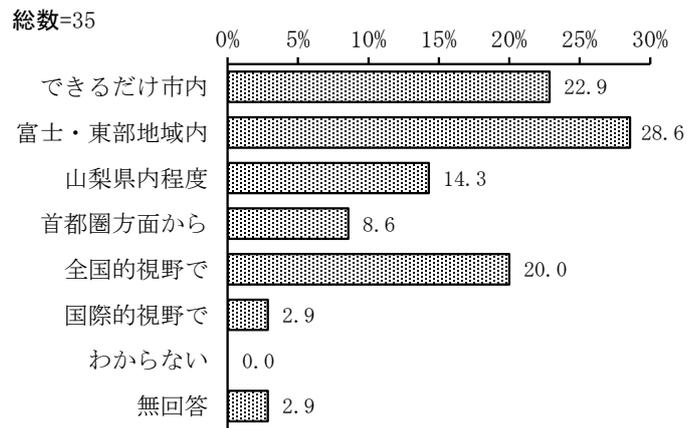
問8. もし雇用を増やすとした場合、人材を求める範囲は（回答は1つ）

### 問8. 人材を求める範囲

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
1 できるだけ富士吉田市内	8	22.9
2 富士・東部地域内	10	28.6
3 山梨県内程度	5	14.3
4 首都圏方面から	3	8.6
5 全国的視野で	7	20.0
6 国際的視野で	1	2.9
7 わからない	-	-
無回答	1	2.9

1. できるだけ富士吉田市内で確保したい
2. 富士・東部地域の範囲で確保したい
3. 山梨県内程度の範囲で確保したい
4. 首都圏方面から確保したい
5. 地域にこだわらず、全国的視野で確保したい
6. 国内に限らず、国際的視野で確保したい
7. わからない

人材を求める範囲は、「できるだけ市内」も 22.9%あるが、「富士・東部地域内」がそれを上回る割合を示し、市内だけでは充足されない状況を伺わせるほか、「全国的視野」、「国際的視野」まで幅広い範囲から求める傾向も読み取れる。

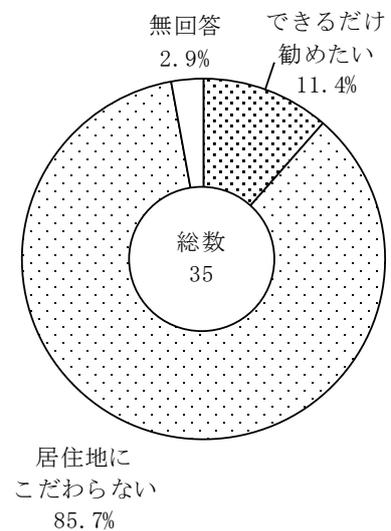


### (3) 従業員の市内居住について

問9. 市外から通勤している従業員がいる場合、富士吉田市内への居住についてのお考えは（回答は1つ）

問9. 市外通勤者の市内居住

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	35	100.0
できるだけ働きたい	4	11.4
居住地にこだわらない	30	85.7
無回答	1	2.9



市外から通勤している従業員がいる場合でも、その居住地には「こだわらない」の割合が圧倒的に高い。市内立地の事業所であっても、その従業員は市内にこだわらず幅広く求め、広域通勤も厭わない姿勢が顕著に現れている。

市内居住を「できるだけ働きたい」とする事業所ではその理由として「地域貢献」をあげるところもあるが、多くの「こだわらない」事業所では、「幅広く人材を集めたい」ために、居住地にも制約を与えないという考え方が多いことがわかる。

#### 「できるだけ市内居住を働きたい」理由の記述

地域貢献(納税)。  
地域への密着度の向上。  
通勤時間が長いことで発生するストレス等軽減の為。

#### 「居住地にこだわらない」理由の記述

技術開発人員の獲得の為には市内だけでは人的資源に限界がある。  
居住地には拘らず、幅広く人材を確保していきたいから。  
車の運転手段しかないため。  
現状、寮を用意している。  
市内居住者のみでの人材確保は厳しいため。  
市内にこだわる理由がないため。  
それぞれ持家があるため。  
幅広く人材を集めたい。(6件)  
幅広く人材を集めたい。本人の生活の尊重。  
幅広く人材を集めたいので、居住地には、あまりこだわらない。  
人それぞれに理由有り。  
優秀な人材を集めたい。  
有能な人材確保の為。

#### (4) 女性・高齢者・障害者の雇用について

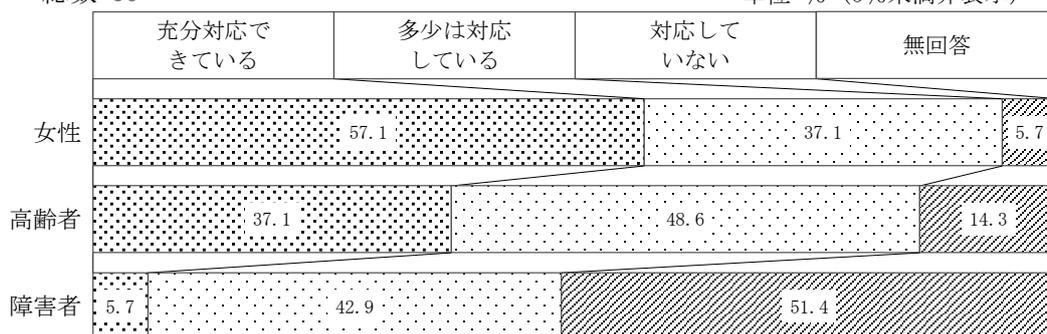
問 14. 女性や高齢者、障害者の雇用拡大についてのお考えは（現状と今後についてそれぞれ1つずつ回答）

項目名	女性		高齢者		障害者	
	集計値	構成比(%)	集計値	構成比(%)	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0	35	100.0	35	100.0
充分対応できている	20	57.1	13	37.1	2	5.7
多少は対応している	13	37.1	17	48.6	15	42.9
対応していない	2	5.7	5	14.3	18	51.4
無回答	-	-	-	-	-	-

総数=35

単位:% (5%未満非表示)

**現状**

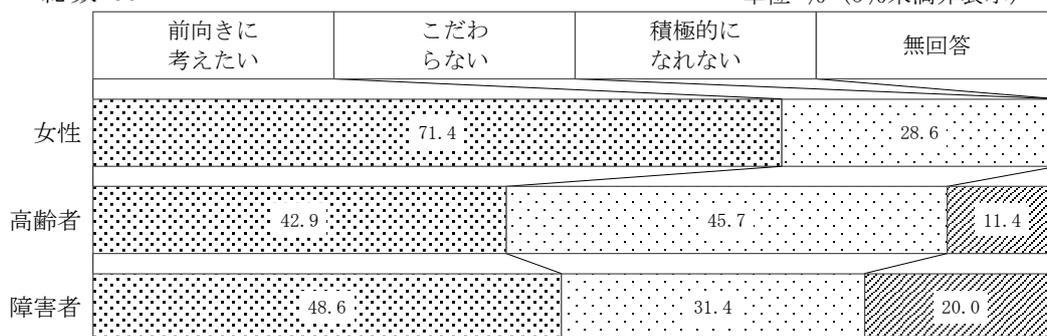


項目名	女性		高齢者		障害者	
	集計値	構成比(%)	集計値	構成比(%)	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0	35	100.0	35	100.0
前向きに考えたい	25	71.4	15	42.9	17	48.6
こだわらない	10	28.6	16	45.7	11	31.4
積極的になれない	-	-	4	11.4	7	20.0
無回答	-	-	-	-	-	-

総数=35

単位:% (5%未満非表示)

**今後**



現状では、女性の雇用は「充分対応できている」が 57.1%であり、今後も「前向きに」が7割以上を占め、女性の活躍の場は確保への努力がなされていると見られる。

高齢者についても、「多少は」も含め一定の対応がなされており、今後も「こだわらない」を含めれば雇用機会確保の可能性はあると考えられる。

障害者は、現状では「対応していない」が5割強を占めているが、今後は「前向きに」が半数近くあるなど、希望が持てる場所である。

## 5. 立地条件評価・地域との関わり

### (1) 富士吉田市の事業所立地条件評価

問 10. 富士吉田市の事業所の立地場所としての条件をどのように評価していますか。(以下の項目それぞれについて1つずつ回答)

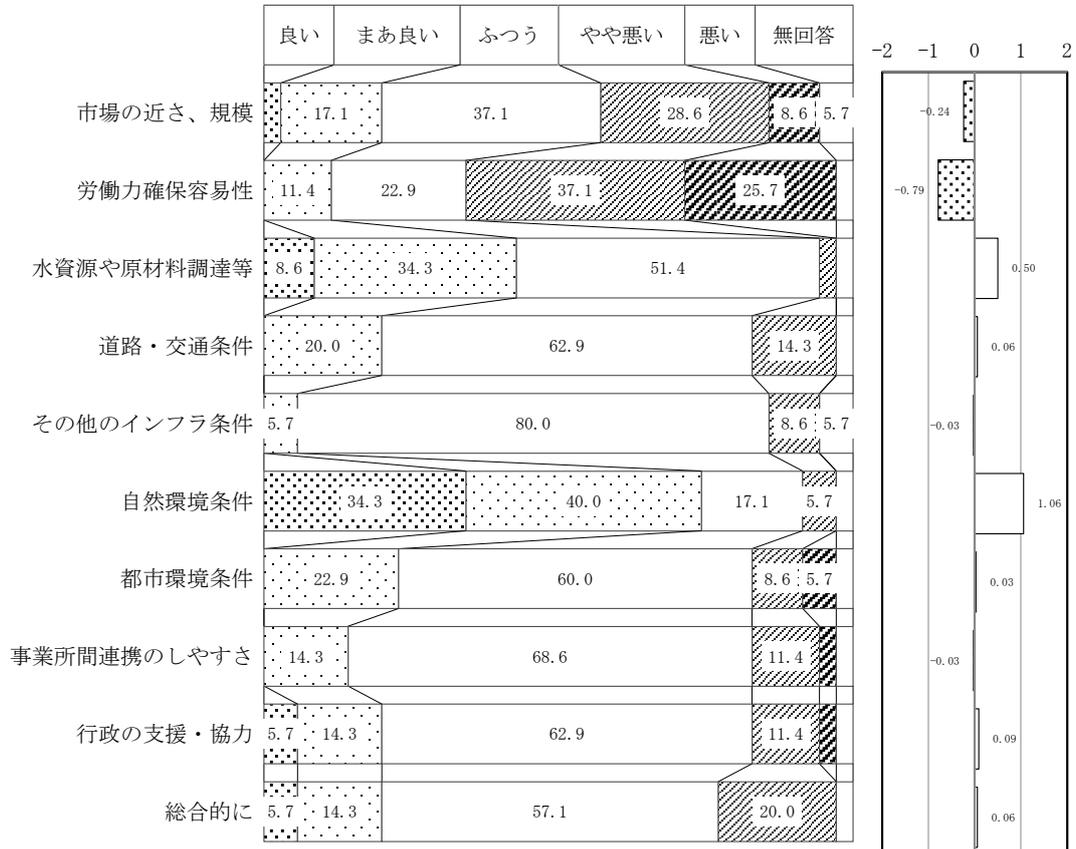
	全体	良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い	無回答	評価点
市場の近さ、規模	35 100.0	1 2.9	6 17.1	13 37.1	10 28.6	3 8.6	2 5.7	-0.24
労働力確保容易性	35 100.0	-	4 11.4	8 22.9	13 37.1	9 25.7	1 2.9	-0.79
水資源や原材料調達等	35 100.0	3 8.6	12 34.3	18 51.4	1 2.9	-	1 2.9	0.50
道路・交通条件	35 100.0	-	7 20.0	22 62.9	5 14.3	-	1 2.9	0.06
その他のインフラ条件	35 100.0	-	2 5.7	28 80.0	3 8.6	-	2 5.7	-0.03
自然環境条件	35 100.0	12 34.3	14 40.0	6 17.1	2 5.7	-	1 2.9	1.06
都市環境条件	35 100.0	-	8 22.9	21 60.0	3 8.6	2 5.7	1 2.9	0.03
事業所間連携のしやすさ	35 100.0	-	5 14.3	24 68.6	4 11.4	1 2.9	1 2.9	-0.03
行政の支援・協力	35 100.0	2 5.7	5 14.3	22 62.9	4 11.4	1 2.9	1 2.9	0.09
総合的に	35 100.0	2 5.7	5 14.3	20 57.1	7 20.0	-	1 2.9	0.06

評価点は、「良い」=2点、「まあ良い」=1点、「ふつう」=0点、「やや悪い」=-1点、「悪い」=-2点として、回答数で加重平均を算出したものである。

総数=35

単位:% (5%未満非表示)

<評価点>



実際に市内に立地している事業所の立場から、立地条件項目別に評価していただいた結果を、評価点の形で比較すると、最も評価点が高いのは「自然環境条件」で、その評価点は1.06であるので平均的に「まあ良い」との評価である。このほか、高い評価なのは、「水資源や原材料調達等」があり、逆に、「労働力の確保容易性」は目立って低い評価となっている。先の設問の、労働力を求める範囲が広域にわたることとの関連が伺える。「市場の近さ、規模」も評価点はマイナスである。

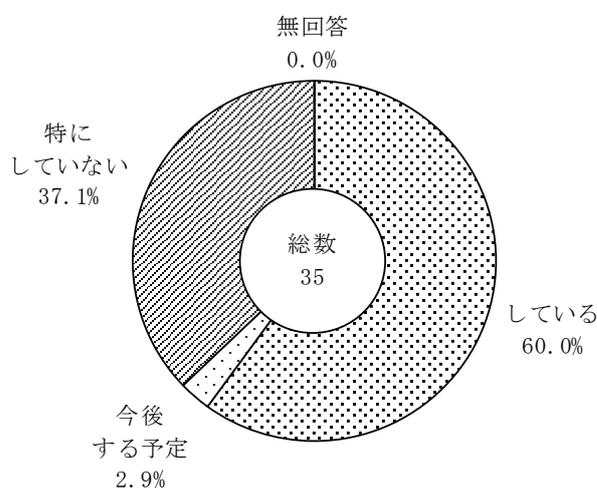
総じて、富士吉田市の企業立地条件は、各種の社会的条件ではあまり優位なものはないが、水資源を含む自然的条件が高く評価されているといえる。

## (2) CSR活動実施状況や課題

問15. 貴事業所では、富士吉田市においてCSR（企業の社会的責任）としての何らかの活動（社会貢献活動）をしていますか。（回答は1つ）

問15. CSR活動

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
している	21	60.0
今後する予定	1	2.9
特にしていない	13	37.1
無回答	-	-



CSR（企業の社会的責任）としての活動については、「している」が6割を占めている。その内容としては、清掃活動やインターンシップ等が目立つが、富士山との関わり部分での活動や、雇用、事業所の存在そのものが社会貢献であるとの認識も示されている。

一方、「特にしていない」が37.1%あり、そこまでの余裕のない事業所も多いことを伺わせる。

CSR活動における課題や今後の予定については、「継続」との回答が目立つ中で、新たな具体的活動の提示はあまり見られていない。

#### 「CSR活動内容」の記述内容

インターシップ、体験学習についての積極的な受け入れ。  
インターシップ等の受け入れ。  
各種イベントへの協力。  
環境保全。  
寄附、環境保全、納税。  
事業所周辺の清掃活動。  
施設開放、寄付。  
市内住民の書画などの展示。  
市内での会社存続(従業員の雇用)。  
市の寄付及び各種イベント参加。/市及びNPO法人による清掃活動。  
障害者の雇用、災害協定。  
地域清掃。  
地域清掃活動。/かん養対策。  
地域清掃活動。/献血。  
地域の清掃や草刈り活動。/地域団体への協賛金の出資。/献血事業への参加。  
ハイブリッド、CNGバスの導入。/富士山清掃登山。/地域行事等への寄付協賛。・講演会等。  
富士まで歩く講。市民夏まつりへの参加。  
ボランティア清掃。  
森の植樹、間伐作業(年2回)

#### 「CSR活動の課題・今後の予定」の記述内容

維持。  
継続。  
継続予定。  
今後も取り組んでいく。  
地元住民との連携した活動。  
地元小・中学校への水事業等への理解を深めてもらうための見学案内PR。  
地域の奉仕活動に積極的に参加しなければならない。  
できる限り今後も協力しながら、会社独自での貢献活動も考えていきたい。  
ミネラル水保全協会での活動。

## 6. 市の産業振興について

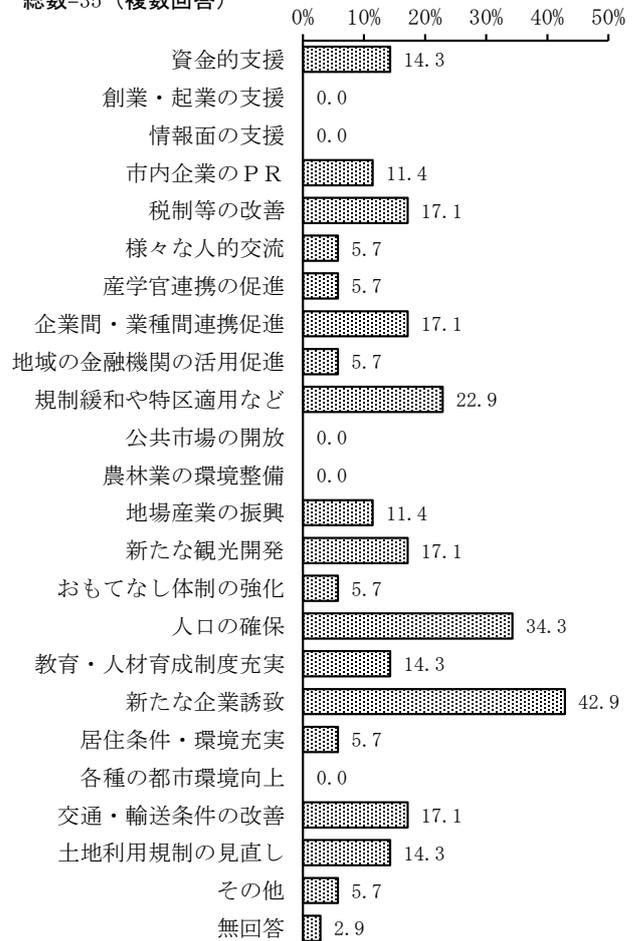
### (1) 市の産業経済振興の必要方策

問11. 富士吉田市の産業振興、経済の活性化のために、特に必要なことは（回答は3つまで）

問11. 市の産業振興・経済活性化策

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
資金的支援	5	14.3
創業・起業の支援	-	-
情報面の支援	-	-
市内企業のPR	4	11.4
税制等の改善	6	17.1
様々な人的交流	2	5.7
産学官連携の促進	2	5.7
企業間・業種間連携促進	6	17.1
地域の金融機関の活用促進	2	5.7
規制緩和や特区適用など	8	22.9
公共市場の開放	-	-
農林業の環境整備	-	-
地場産業の振興	4	11.4
新たな観光開発	6	17.1
おもてなし体制の強化	2	5.7
人口の確保	12	34.3
教育・人材育成制度充実	5	14.3
新たな企業誘致	15	42.9
居住条件・環境充実	2	5.7
各種の都市環境向上	-	-
交通・輸送条件の改善	6	17.1
土地利用規制の見直し	5	14.3
その他	2	5.7
無回答	1	2.9

総数=35（複数回答）



市の産業振興、経済活性化のための必要方策としては、「新たな企業誘致」が最も多く、これに「人口の確保」が続いている。新規の企業誘致は新たな競争関係も招く可能性もあるが、逆に連携関係の構築により既存事業所に刺激を与える可能性もあることへの期待の現れとも考えられる。

このほか、「規制緩和や特区適用」や、「税制等の改善」、「新たな観光開発」、「交通輸送条件の改善」等が、産業支援施策として多く求められている。

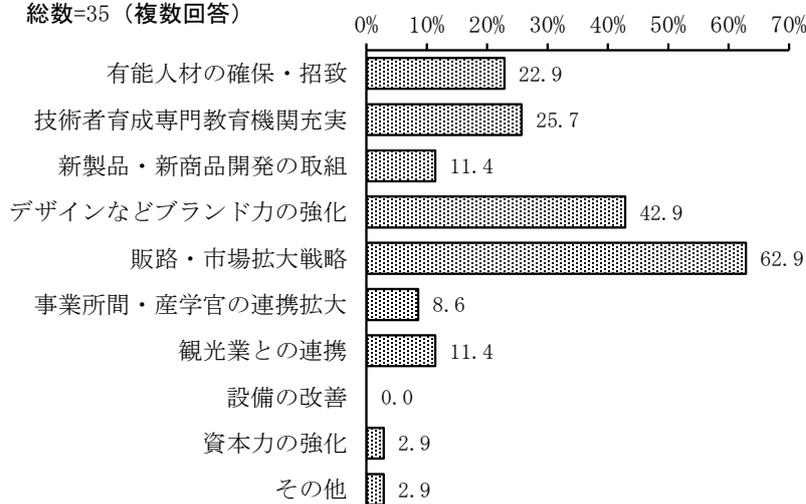
## (2) 地場産業の維持・再生方策

問12. 富士吉田市の地場産業である繊維産業をはじめとする製造業を維持・再生していくために必要なことは（回答は2つまで）

### 問12. 地場製造業の維持再生策

項目名 【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
有能人材の確保・招致	8	22.9
技術者育成専門教育機関充実	9	25.7
新製品・新商品開発の取組	4	11.4
デザインなどブランド力の強化	15	42.9
販路・市場拡大戦略	22	62.9
事業所間・産学官の連携拡大	3	8.6
観光業との連携	4	11.4
設備の改善	-	-
資本力の強化	1	2.9
その他	1	2.9
無回答	-	-

総数=35（複数回答）



繊維産業などの地場産業の維持・再生のための必要方策としては、「地域をあげた販路・市場拡大戦略」への支持が最も高く、これに「デザインなどブランド力の強化」が続いている。また、人材の確保・育成に関する項目への支持も比較的強くある。

### (3) 観光と事業の関わり

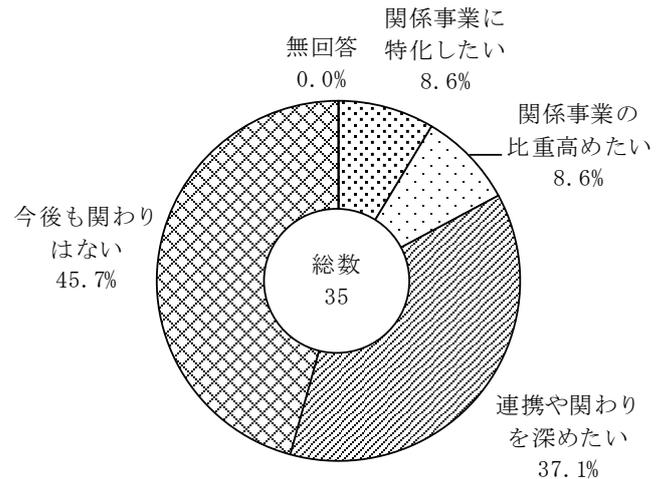
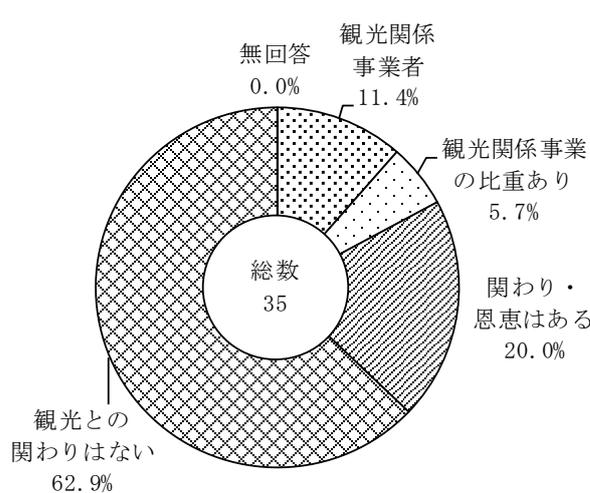
問13. 富士山が世界文化遺産に登録され、富士五湖地域に多くの人が訪れるようになっていますが、観光と事業の関わりについてはいかがですか。(現状と今後それぞれ回答は1つずつ)

問13-a. 観光との関わり (現状)

項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
観光関係事業者	4	11.4
観光関係事業の比重あり	2	5.7
関わり・恩恵はある	7	20.0
観光との関わりはない	22	62.9
無回答	-	-

問13-b. 観光との関わり (今後)

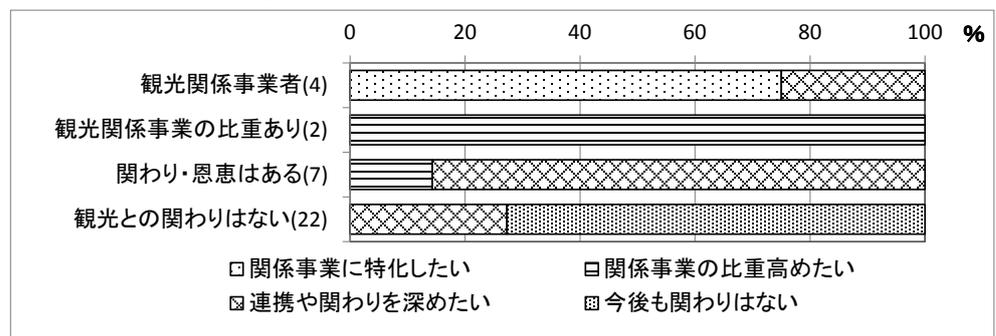
項目名	集計値	構成比(%)
全体	35	100.0
関係事業に特化したい	3	8.6
関係事業の比重高めたい	3	8.6
連携や関わりを深めたい	13	37.1
今後も関わりはない	16	45.7
無回答	-	-



回答のうち4事業者は自らが「観光関係事業者である」としており、このほか、関係事業の比重がある、または関わりや恩恵があるとの回答を合わせると、現状で約1/3強が観光と何らかのつながりを持って事業展開している。

今後は、「連携や関わりを深めたい」とする回答が多く、現状で観光と関わりのない事業所でも、3割近くは「連携や関わりを深めたい」と回答するなど、富士山世界文化遺産登録を契機とした観光地域としての経済的主体としての役割強化の意向が伺える。

「観光との関わり」の現状×今後



「どのような事業、連携、関わりを追求するか」の記述内容

連携や関わりを追求する内容の記述には、道の駅やホテルという具体的指摘も見られる

価値提供  
環境整備に役立ちたい。  
観光案内所等(道の駅)。  
観光関連事業先との取引を増加させる。  
更なる観光関係事業への取り組み。  
富士山、富士山周辺地域の魅力を発信することを追求していきたい。  
ホテルの新築、改修工事に販売を通して協力。

## 7. 自由な意見

市の産業施策やまちづくりに関して自由な意見を求めたところ、次のような回答が寄せられた。

オープンな富士吉田市となってほしいです。また、市役所職員さまの知識向上を積極的に行い、世界にほこれる町づくりを行ってください！
企業の誘致や少子高齢化問題に取り組んで活気のあるまちづくりをしてもらいたい。
進出企業先に対する用地の情報提供。
人手不足の解消につき考えて頂きたい。
地元産業である織物等、吉田のうどん、ミネラルウォーターの活性化へ向けた施策や観光業の要である富士山の世界的PRを、市、商工会、企業が合同に考えていくようにしてほしいと思う。

富士吉田市第6次総合計画策定のための  
富士吉田市内へ通勤されている方への  
アンケート調査  
結果報告書

平成 28 年 10 月

株式会社フジヤマ

## 【目 次】

---

---

<b>1. 調査概要</b>	<b>1</b>
(1) 調査の趣旨	1
(2) 調査の方法等	1
(3) 調査項目	1
(4) 回収状況	1
<b>2. 回答者の属性</b>	<b>2</b>
(1) 性別・年齢	2
(2) 居住市町村	2
(3) 住宅・世帯	3
(4) 事業所・通勤	3
<b>3. 富士吉田市との関わりの実態</b>	<b>5</b>
(1) 富士吉田市で時間を過ごす程度（目的別）	5
(2) 富士吉田市での就労継続意向	7
(3) 市や市民のまちづくり活動への関心度	8
<b>4. 富士吉田市の個性や環境の評価</b>	<b>10</b>
(1) 富士吉田市の個性・魅力	10
(2) 富士吉田市の環境評価（客観的視点から）	12
<b>5. 市の産業施策等の方向</b>	<b>15</b>
(1) 市の産業育成の方向	15
(2) 今後の観光振興の方向	17
<b>6. 自由な意見</b>	<b>19</b>

---

---

## 1. 調査概要

### (1) 調査の趣旨

第6次富士吉田市総合計画の策定にあたり、市民意向を反映するため、市民アンケート調査を実施しているが、これを補完する調査のひとつとして、市内の事業所に市外から通勤している従業員に対し、市外居住者の視点からの富士吉田市の現状評価や市との関わりの実態、産業施策への意見等をたずね、計画に反映させることを目的として実施したものである。

### (2) 調査の方法等

調査主体	富士吉田市
調査対象	市外から市内の事業所に通勤する従業員（市内法人に選定依頼）486名
調査期間	調査準備 平成28年6月～7月上旬 調査実施 平成28年7月20、21日に事業所に配布、8月10日回収期限 集計分析 平成28年8月下旬～9月
実施方法	配布：事業所に直接配布の上依頼 / 回収、郵送（返信用封筒同封、切手不要）

### (3) 調査項目

回答者の属性	性別、年齢、居住市町村名など属性8設問
富士吉田市との関わりの実態	目的別の富士吉田市で時間を過ごす程度／富士吉田市での就労継続意向／市や市民のまちづくり活動への関心度
富士吉田市の個性や環境の評価	富士吉田市の個性・魅力／富士吉田市の環境評価（客観的視点から14項目）
市の産業施策等の方向	市の産業育成の方向／今後の観光振興の方向

### (4) 回収状況

回収数 290票	回収率 59.7%
----------	-----------

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別・年齢

問1-a. 性別

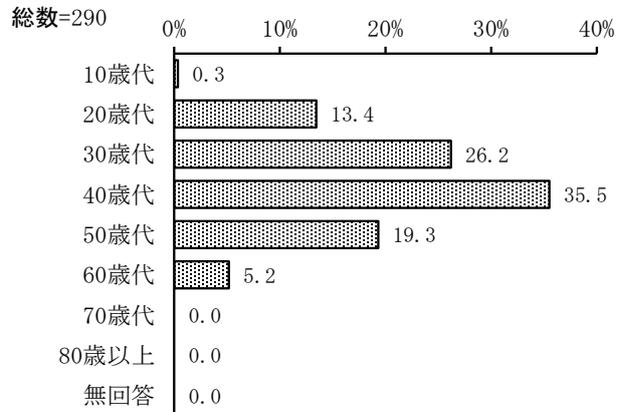
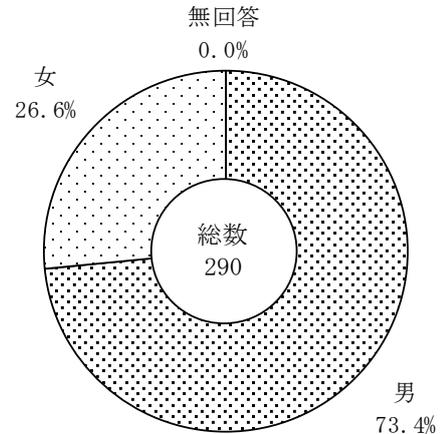
項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
男	213	73.4
女	77	26.6
無回答	-	-

問1-b. 年齢

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
10歳代	1	0.3
20歳代	39	13.4
30歳代	76	26.2
40歳代	103	35.5
50歳代	56	19.3
60歳代	15	5.2
70歳代	-	-
80歳以上	-	-
無回答	-	-

回答者の3/4近くが男性という結果となった。事業所アンケート(35社回答)での従業員の女性比率の平均は52.8%であったことと対比すると、市外からの通勤者は男性に偏っているとも考えられる。

年齢は、20歳台から60歳台までに分布し、40歳台が最多で30歳台がこれに次いでいる。

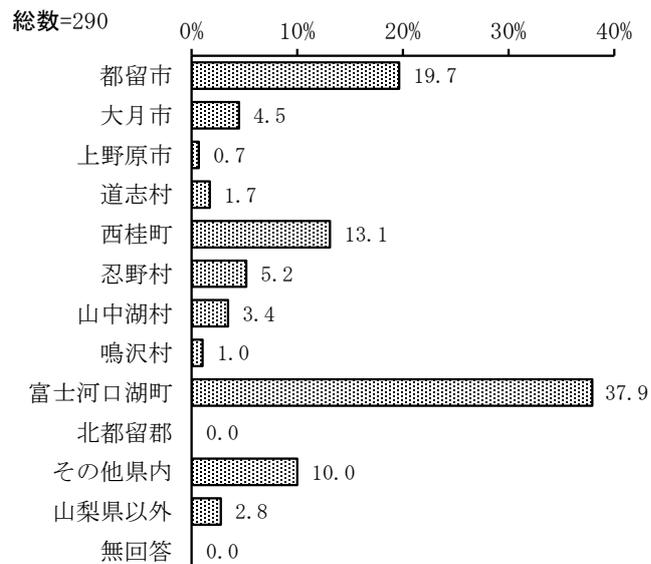


### (2) 居住市町村

問1-c. 住まいの市町村名

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
都留市	57	19.7
大月市	13	4.5
上野原市	2	0.7
道志村	5	1.7
西桂町	38	13.1
忍野村	15	5.2
山中湖村	10	3.4
鳴沢村	3	1.0
富士河口湖町	110	37.9
北都留郡	-	-
その他県内	29	10.0
山梨県以外	8	2.8
無回答	-	-

居住市町村は、富士河口湖町が最多で、これに都留市、西桂町の順が続いている。

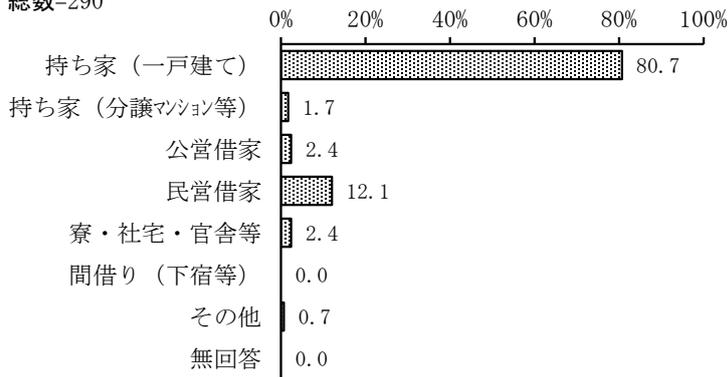


### (3) 住宅・世帯

問1-d. 住宅の種類

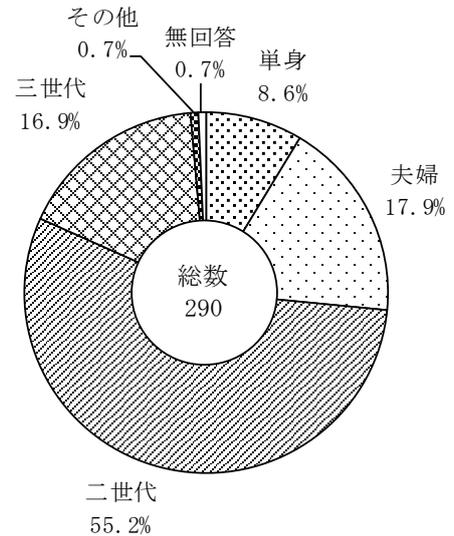
項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
持ち家（一戸建て）	234	80.7
持ち家（分譲マンション等）	5	1.7
公営借家	7	2.4
民営借家	35	12.1
寮・社宅・官舎等	7	2.4
間借り（下宿等）	-	-
その他	2	0.7
無回答	-	-

総数=290



問1-e. 世帯構成

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
単身	25	8.6
夫婦	52	17.9
二世帯	160	55.2
三世帯	49	16.9
その他	2	0.7
無回答	2	0.7



市外からの通勤者の住宅種類は、持ち家（一戸建て）が8割と多くを占める。分譲マンション等を合わせると持ち家は82.4%となる。

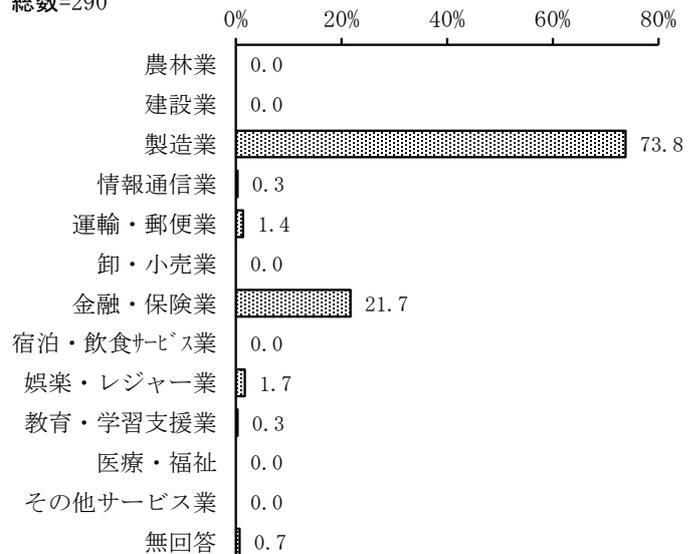
世帯構成は親と子などの「二世帯」と親・子・孫などの「三世帯」が72.1%を占め、周辺市町村の親との同居世帯から市内事業所に通うなどのパターンが多いと考えられる。

### (4) 事業所・通勤

問1-f. 業種

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
農林業	-	-
建設業	-	-
製造業	214	73.8
情報通信業	1	0.3
運輸・郵便業	4	1.4
卸・小売業	-	-
金融・保険業	63	21.7
宿泊・飲食サービス業	-	-
娯楽・レジャー業	5	1.7
教育・学習支援業	1	0.3
医療・福祉	-	-
その他サービス業	-	-
無回答	2	0.7

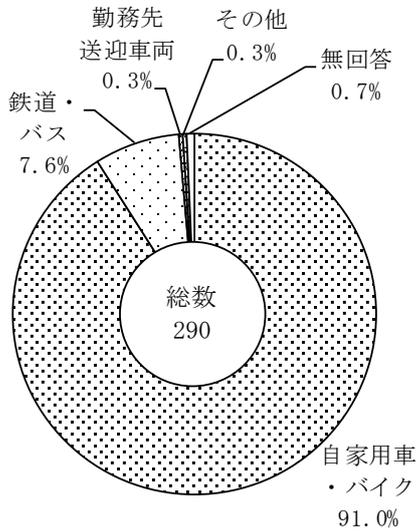
総数=290



勤務先事業所の業種は製造業が圧倒的に多く、その他は金融・保険業で、この2業種で大半を占める。

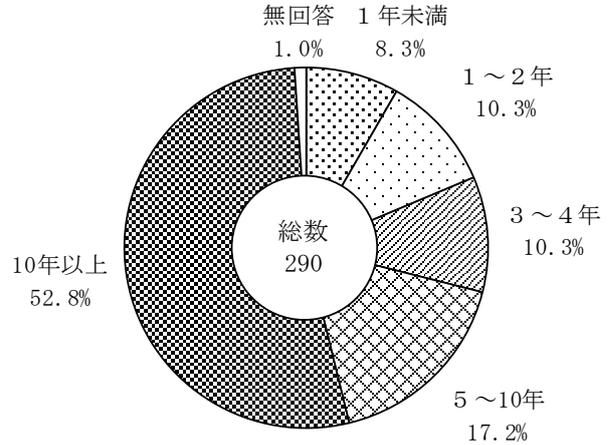
問1-g. 通勤交通手段

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
自家用車・バイク	264	91.0
鉄道・バス	22	7.6
勤務先送迎車両	1	0.3
その他	1	0.3
無回答	2	0.7



問1-h. 市外からの通勤経緯

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
1年未満	24	8.3
1～2年	30	10.3
3～4年	30	10.3
5～10年	50	17.2
10年以上	153	52.8
無回答	3	1.0



通勤交通手段は、「自家用車・バイク」が9割以上と大半を占め、「鉄道・バス」という公共交通手段は7.6%にとどまっている。

市外からの通勤が「10年以上」前からという回答が半数以上を占め、長年富士吉田市との関わりを続ける回答者が多いといえる。なお、通勤歴が3年未満の回答者は18.6%である。

### 3. 富士吉田市との関わりの実態

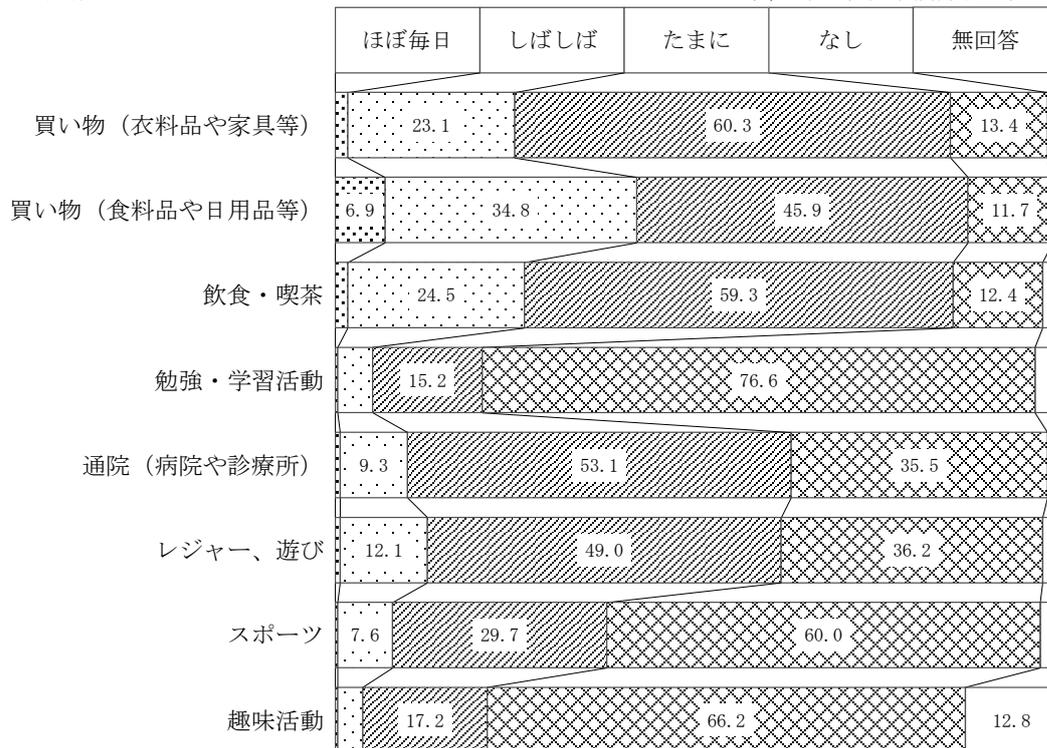
#### (1) 富士吉田市で時間を過ごす程度（目的別）

問2. 仕事以外に、富士吉田市内でどのような時間を過ごしますか。（項目ごとに1つずつ回答）

	全体	ほぼ毎日	しばしば	たまに	なし	無回答
買い物（衣料品や家具等）	290 100.0	5 1.7	67 23.1	175 60.3	39 13.4	4 1.4
買い物（食料品や日用品等）	290 100.0	20 6.9	101 34.8	133 45.9	34 11.7	2 0.7
飲食・喫茶	290 100.0	5 1.7	71 24.5	172 59.3	36 12.4	6 2.1
勉強・学習活動	290 100.0	1 0.3	14 4.8	44 15.2	222 76.6	9 3.1
通院（病院や診療所）	290 100.0	2 0.7	27 9.3	154 53.1	103 35.5	4 1.4
レジャー、遊び	290 100.0	2 0.7	35 12.1	142 49.0	105 36.2	6 2.1
スポーツ	290 100.0	1 0.3	22 7.6	86 29.7	174 60.0	7 2.4
趣味活動	290 100.0	1 0.3	10 3.4	50 17.2	192 66.2	37 12.8

総数=290

単位：%（5%未満非表示）



仕事以外で、富士吉田市で過ごす時間の程度を目的別にたずねている。

「ほぼ毎日」と「しばしば」の合計割合で見ると、「買い物（食料品や日用品等）」が41.7%で最も値が高く、仕事帰りの日々の買い物などの行動が市内で行われている例が多いものと推察される。そのほか、「飲食・喫茶」、「買い物（衣料品や家具等）」が25%前後で続いており、これら

は「たまに」の割合も高い。

逆に、「勉強・学習活動」や「趣味活動」、「スポーツ」は「なし」の割合が高く、富士吉田市は仕事の間として割り切られているようにも見える。

同じく「ほぼ毎日」と「しばしば」の合計割合を男女別にみると、「買い物（食料品や日用品等）」のほか「通院」や「レジャー・遊び」では女性の方が高い値である一方、「買い物（衣料品や家具等）」は男性の方が値が高いという相違がある。

年齢別では、「買い物（食料品や日用品等）」での割合は各年代で大きな差はないが、「飲食・喫茶」、「レジャー・遊び」では20歳代以下で、また、「買い物（衣料品や家具等）」や「通院」では20歳代以下と60歳代で、それぞれ比較的高い値となっている。

居住市町村別に同値を比較すると、山中湖村、道志村、鳴沢村、西桂村では、富士吉田市への依存度が都留市や大月市に比較して概して高くなっている。富士河口湖町は「買い物」目的に限って全体平均よりも高い値となっている。

「ほぼ毎日」と「しばしば」の割合(%)

		回答数	a. 買い物 (衣料品や 家具等)	b. 買い物 (食料品や 日用品等)	c. 飲食・喫 茶	d. 勉強・学 習活動	e. 通院 (病院や診 療所)	f. レジャー、 遊び	g. スポーツ	h. 趣味活動
全体		290	24.8	41.7	26.2	5.2	10.0	12.8	7.9	3.8
性別	男	213	26.3	39.4	25.8	4.2	8.0	10.3	8.5	3.3
	女	77	20.8	48.1	27.3	7.8	15.6	19.5	6.5	5.2
年齢	20歳代以下	40	42.5	45.0	50.0	2.5	17.5	32.5	7.5	7.5
	30歳代	76	18.4	40.8	22.4	5.3	7.9	9.2	9.2	2.6
	40歳代	103	23.3	44.7	24.3	8.7	10.7	10.7	8.7	4.9
	50歳代	56	21.4	35.7	17.9	1.8	1.8	8.9	5.4	1.8
	60歳代	15	33.3	40.0	26.7	0.0	26.7	6.7	6.7	0.0
住まいの 市町村	都留市	57	12.3	24.6	26.3	3.5	3.5	14.0	5.3	1.8
	大月市	13	7.7	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0
	上野原市	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	道志村	5	60.0	60.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	西桂町	38	31.6	71.1	31.6	2.6	18.4	13.2	7.9	5.3
	忍野村	15	26.7	40.0	40.0	6.7	20.0	26.7	26.7	6.7
	山中湖村	10	50.0	60.0	40.0	0.0	30.0	30.0	10.0	20.0
	鳴沢村	3	66.7	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	富士河口湖町	110	32.7	49.1	25.5	7.3	8.2	11.8	7.3	3.6
	その他県内	29	6.9	17.2	17.2	3.4	3.4	3.4	10.3	3.4
山梨県以外	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	

「ほぼ毎日」と「しばしば」の合計割合が

太字	20～40%
太字	40～60%
太斜字	60%以上

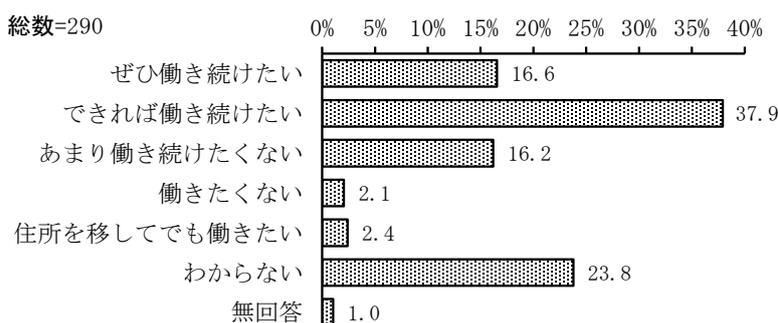
## (2) 富士吉田市での就労継続意向

問5. あなたは、富士吉田市で今後も働き続けたいと思いますか。(回答は1つ)

問5. 今後の市内就労継続希望

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
1 ぜひ働き続けたい	48	16.6
2 できれば働き続けたい	110	37.9
3 あまり働き続けたくない	47	16.2
4 働きたくない	6	2.1
5 住所を移してでも働きたい	7	2.4
6 わからない	69	23.8
無回答	3	1.0

1. ぜひ富士吉田市で働き続けたい
2. できれば富士吉田市で働き続けたい
3. 富士吉田市ではあまり働き続けたくない
4. 今後は富士吉田市では働きたくない
5. 条件を整えば富士吉田市に住所を移してでも働きたい
6. わからない

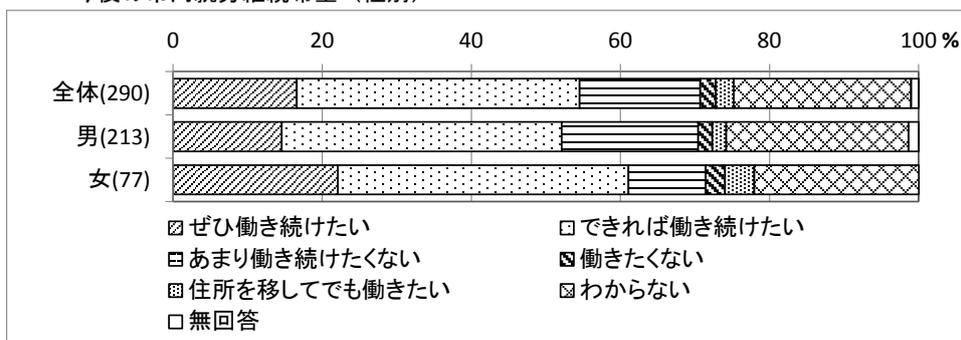


今後の富士吉田市での就労継続意向については、「わからない」が23.8%あるものの、残りの約半数が「できれば働き続けたい」で、「ぜひ働き続けたい」を合わせると全体の半数以上が市内での就労継続を希望している。

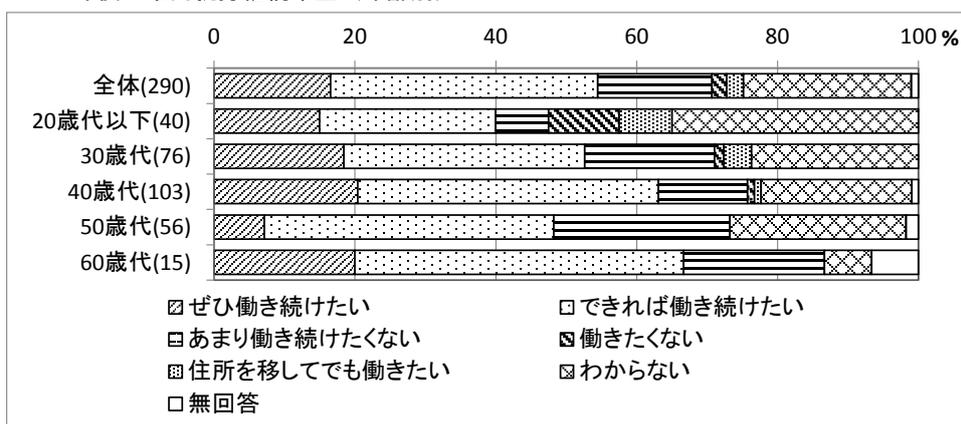
「働き続けたい」(ぜひ+できれば)の割合は、男性より女性の方がやや高く、年齢別では60歳代、40歳代で高い値なのが目立つ。

また、この値は、富士吉田市への通勤歴が5年未満と5年以上で段差があり、5年以上の方が高い値である点も注目される。

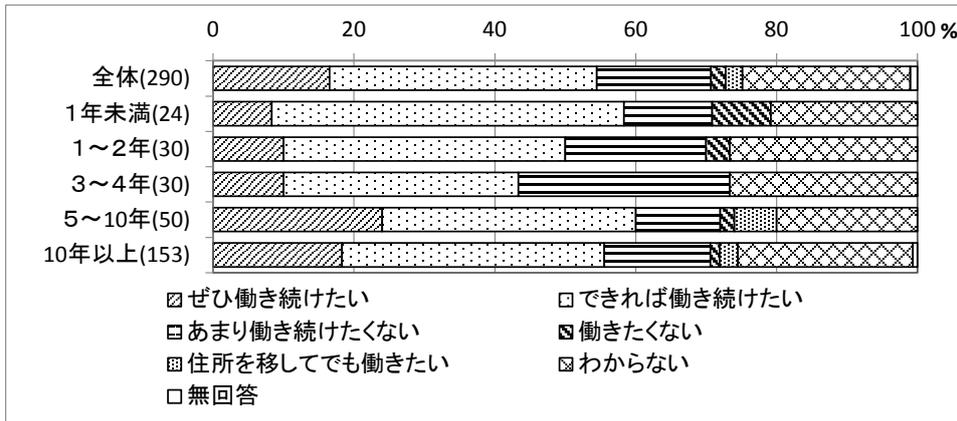
今後の市内就労継続希望 (性別)



今後の市内就労継続希望 (年齢別)



今後の市内就労継続希望（市内への通勤歴別）



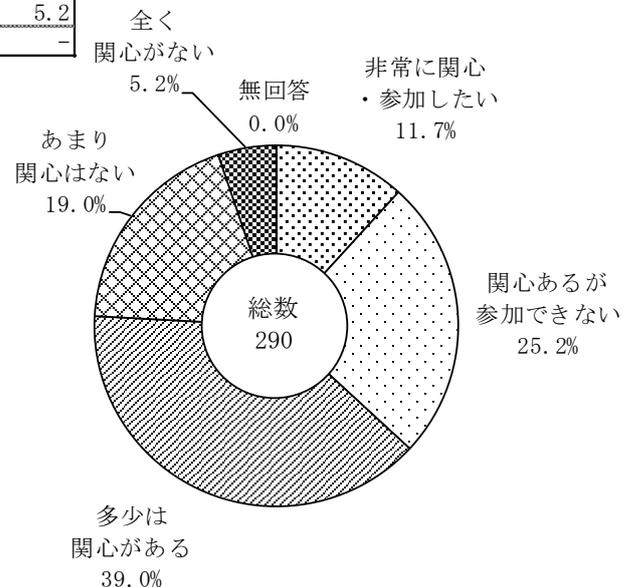
### （3）市や市民のまちづくり活動への関心度

問8. 富士吉田市内の職場の周辺や、市全体を活性化させ、働きやすい、活動しやすいまちとしていくために、市や市民が行うまちづくり活動にどの程度関心がありますか。（環境美化活動や防犯活動などもまちづくり活動のひとつです。）（回答は1つ）

問8. まちづくり活動への関心

項目名	集計値	構成比(%)
全体	290	100.0
1 非常に関心・参加したい	34	11.7
2 関心あるが参加できない	73	25.2
3 多少は関心がある	113	39.0
4 あまり関心はない	55	19.0
5 全く関心がない	15	5.2
無回答	-	-

1. 非常に関心があり、できれば参加したい
2. 関心はあるが参加はできない
3. 多少は関心がある
4. あまり関心はない
5. 全く関心がない

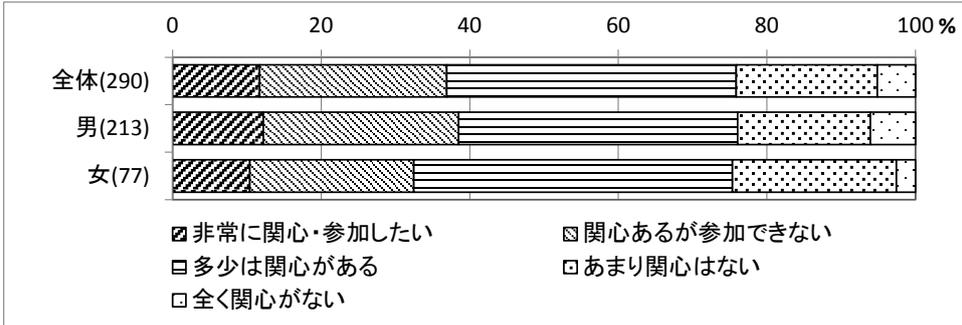


職場周辺や市内のまちづくり活動に対しては、程度の大きさはあっても「関心がある」との回答の割合が3/4を超えている。市外居住者であっても、職場のある富士吉田市へのまちづくりには、何らかの関心が寄せられているといえる。

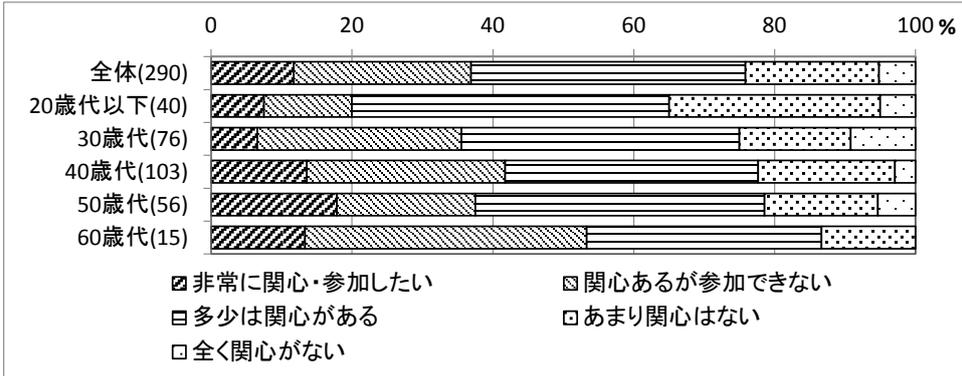
この関心の度合いは、男性の方が女性よりもやや高く、また、年齢が高い層ほど高くなる傾向が見られる。

また、市内への通勤歴3年以上では、通勤歴が長くなるほどこの関心度合いが高まる傾向があるが、3年未満、特に「1年未満」の層で関心度が最大となる点も注目される。これらの新鮮な視点をまちづくりに生かしたいところである。

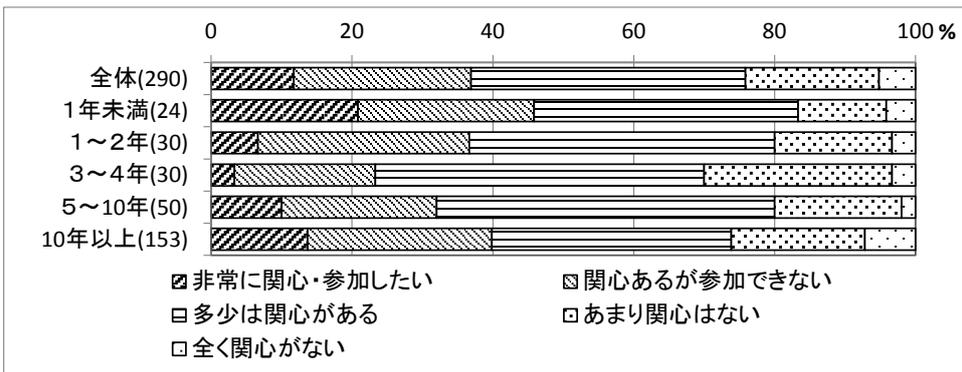
まちづくり活動への関心（性別）



まちづくり活動への関心（年齢別）



まちづくり活動への関心（市内への通勤歴別）



## 4. 富士吉田市の個性や環境の評価

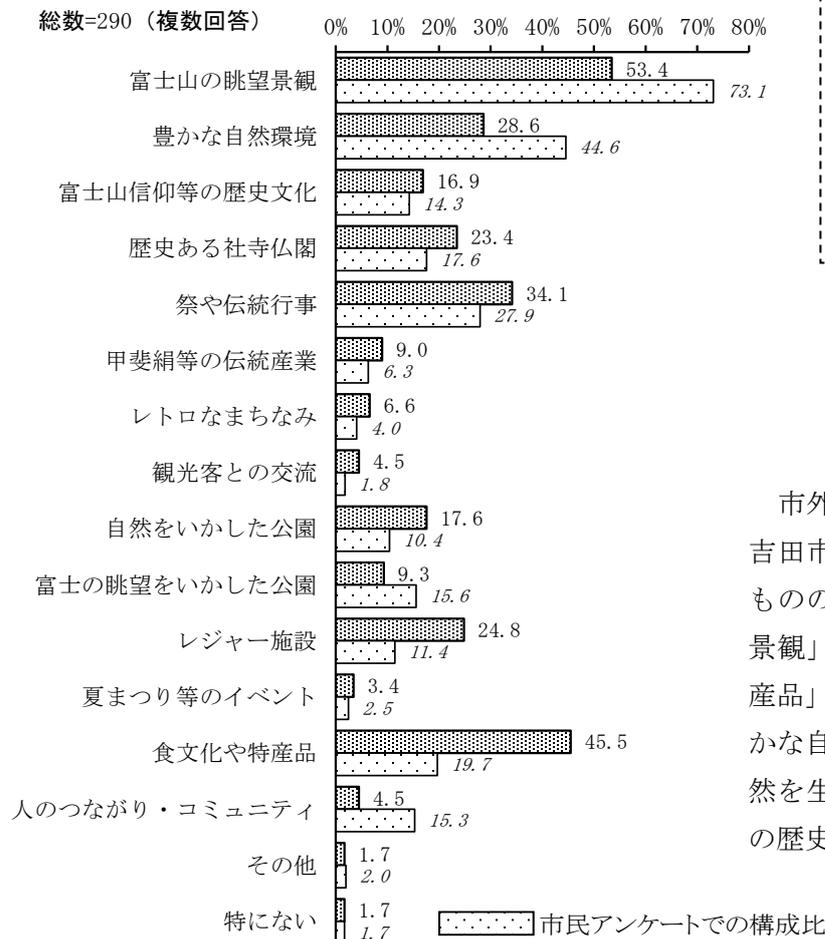
### (1) 富士吉田市の個性・魅力

問3. 市外にお住まいの客観的な視点から、富士吉田市の優れた個性、大切にすべきものはどのようなものだと思いますか。(回答は3つまで)

問3. 富士吉田の魅力

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)	市民アンケート構成比(%)
全体	290	100.0	
1 富士山の眺望景観	155	53.4	73.1
2 豊かな自然環境	83	28.6	44.6
3 富士山信仰等の歴史文化	49	16.9	14.3
4 歴史ある社寺仏閣	68	23.4	17.6
5 祭や伝統行事	99	34.1	27.9
6 甲斐絹等の伝統産業	26	9.0	6.3
7 レトロなまちなみ	19	6.6	4.0
8 観光客との交流	13	4.5	1.8
9 自然をいかした公園	51	17.6	10.4
10 富士の眺望をいかした公園	27	9.3	15.6
11 レジャー施設	72	24.8	11.4
12 夏まつり等のイベント	10	3.4	2.5
13 食文化や特産品	132	45.5	19.7
14 人のつながり・コミュニティ	13	4.5	15.3
15 その他	5	1.7	2.0
16 特にない	5	1.7	1.7
無回答	3	1.0	0.5

1. 富士山の雄大な眺望景観
2. 富士山麓の豊かな自然環境
3. 富士山信仰などの歴史・文化
4. 富士浅間神社など歴史ある社寺仏閣
5. 吉田の祭りや流鏝馬祭りなどの祭りや伝統行事
6. 甲斐絹などの伝統産業
7. 昭和期の風情を残すレトロなまちなみ
8. 富士吉田市を訪れる観光客との交流
9. 富士パインズパークや富士北麓公園などの豊かな自然環境をいかした公園
10. 新倉山浅間公園など富士山の眺望をいかした公園
11. 富士急ハイランドなどのレジャー施設
12. 「市民夏まつり」などのイベント
13. 「吉田のうどん」などの食文化や地ビールなどの特産品
14. 昔ながらの地域の人々のつながり・コミュニティ
15. その他
16. 特にない



市外居住者からの観点でも、富士吉田市の優れた個性、大切にすべきものの1位は「富士山の雄大な眺望景観」である。2位は「食文化や特産品」で、以下、「祭や伝統行事」、「豊かな自然環境」、「レジャー施設」、「自然を生かした公園」、「富士山信仰等の歴史文化」の順で続いている。

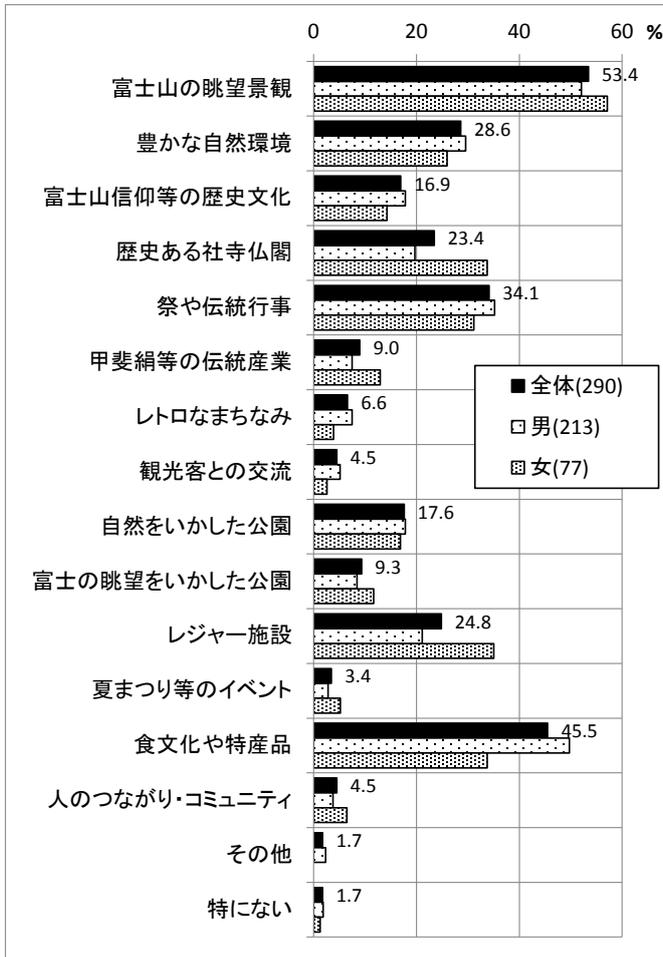
市民アンケートでも同様の質問を設けているが、その結果と比較すると、1位の「富士山の雄大な眺望景観」は共通であるが、それ以下の順位が大きく異なっており、特に、市民アンケートでは順位が相対的に低い「食文化や特産品」や「レジャー施設」等が、市外からの通勤者では上位となっている点が注目される。

食文化や特産品、レジャー施設等は、市民には日常のもので個性とは感じにくいのが、外部の視点からは富士山とともに「大切にすべき個性」と見られているということであろう。

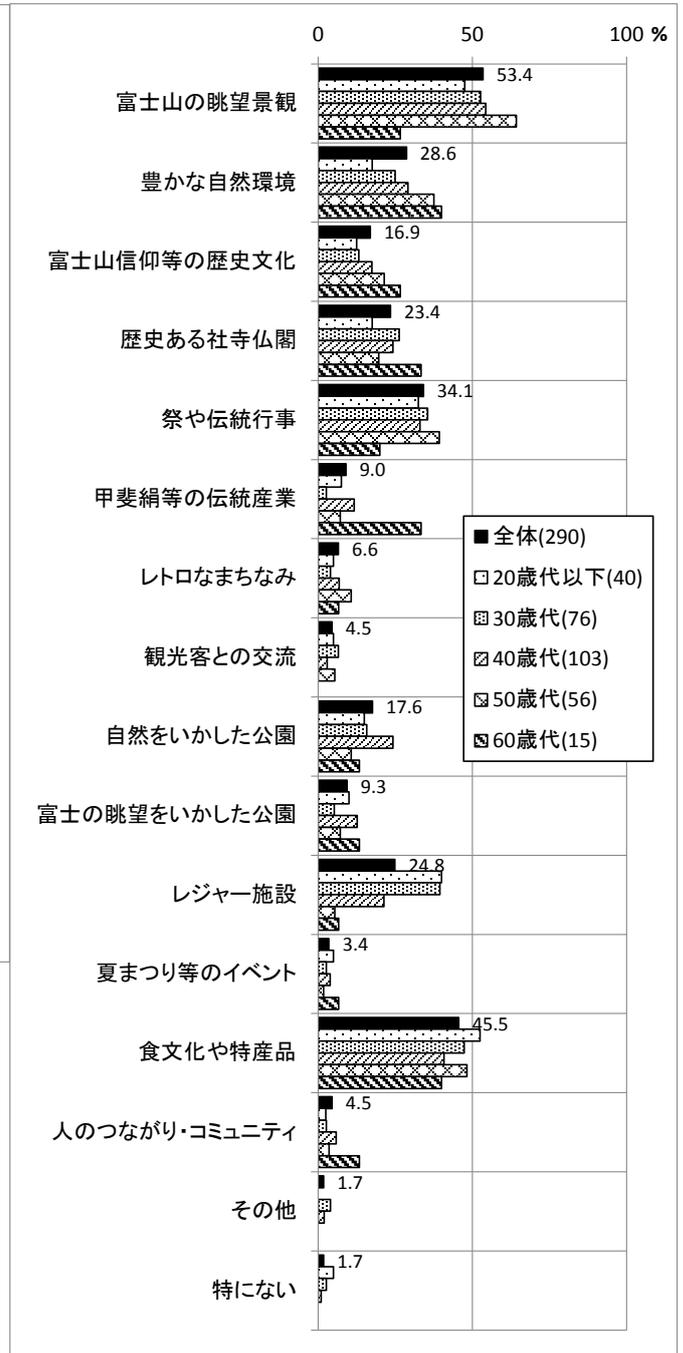
なお、「食文化や特産品」は女性よりも男性で、逆に「レジャー施設」や「歴史ある社寺仏閣」は女性の方が指摘する割合が高いという特徴もある。

年齢別では、「富士山の眺望景観」、「豊かな自然環境」、「富士山信仰等の歴史文化」は年齢が高いほど指摘の割合が高く、逆に「レジャー施設」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

富士吉田の魅力（性別）



富士吉田の魅力（年齢別）



## (2) 富士吉田市の環境評価（客観的視点から）

問4. 市外にお住まいの客観的な視点から、富士吉田市の環境はどのように見えますか。（項目ごとに1つずつ回答）

問4. 富士吉田市の環境評価

（下段は構成比(%)）

	全体	良い	まあ良い	やや悪い	悪い	わからない	無回答	評価点
自然環境	290 100.0	69 23.8	177 61.0	27 9.3	5 1.7	7 2.4	5 1.7	1.00
まちのにぎわいや楽しさ	290 100.0	8 2.8	91 31.4	105 36.2	71 24.5	13 4.5	2 0.7	-0.51
産業活動の活発さ	290 100.0	4 1.4	72 24.8	117 40.3	64 22.1	29 10.0	4 1.4	-0.64
道路や交通の便利さ	290 100.0	7 2.4	97 33.4	107 36.9	74 25.5	3 1.0	2 0.7	-0.51
やりたい仕事や勉強の機会	290 100.0	1 0.3	54 18.6	95 32.8	71 24.5	66 22.8	3 1.0	-0.82
教育機関や施設的环境	290 100.0	5 1.7	80 27.6	94 32.4	40 13.8	67 23.1	4 1.4	-0.38
医療や福祉の面の充実度	290 100.0	12 4.1	109 37.6	82 28.3	38 13.1	47 16.2	2 0.7	-0.10
防災や防火などの安心度	290 100.0	9 3.1	96 33.1	73 25.2	38 13.1	71 24.5	3 1.0	-0.16
観光やレジャーの魅力	290 100.0	36 12.4	126 43.4	57 19.7	54 18.6	14 4.8	3 1.0	0.12
文化活動や文化的な香り	290 100.0	16 5.5	129 44.5	77 26.6	25 8.6	40 13.8	3 1.0	0.14
歴史と伝統	290 100.0	24 8.3	159 54.8	49 16.9	15 5.2	40 13.8	3 1.0	0.52
新しい情報や刺激	290 100.0	4 1.4	44 15.2	96 33.1	93 32.1	49 16.9	4 1.4	-0.97
人情や人の温かさ	290 100.0	25 8.6	147 50.7	50 17.2	23 7.9	42 14.5	3 1.0	0.41
総合的に	290 100.0	7 2.4	134 46.2	95 32.8	24 8.3	26 9.0	4 1.4	0.02

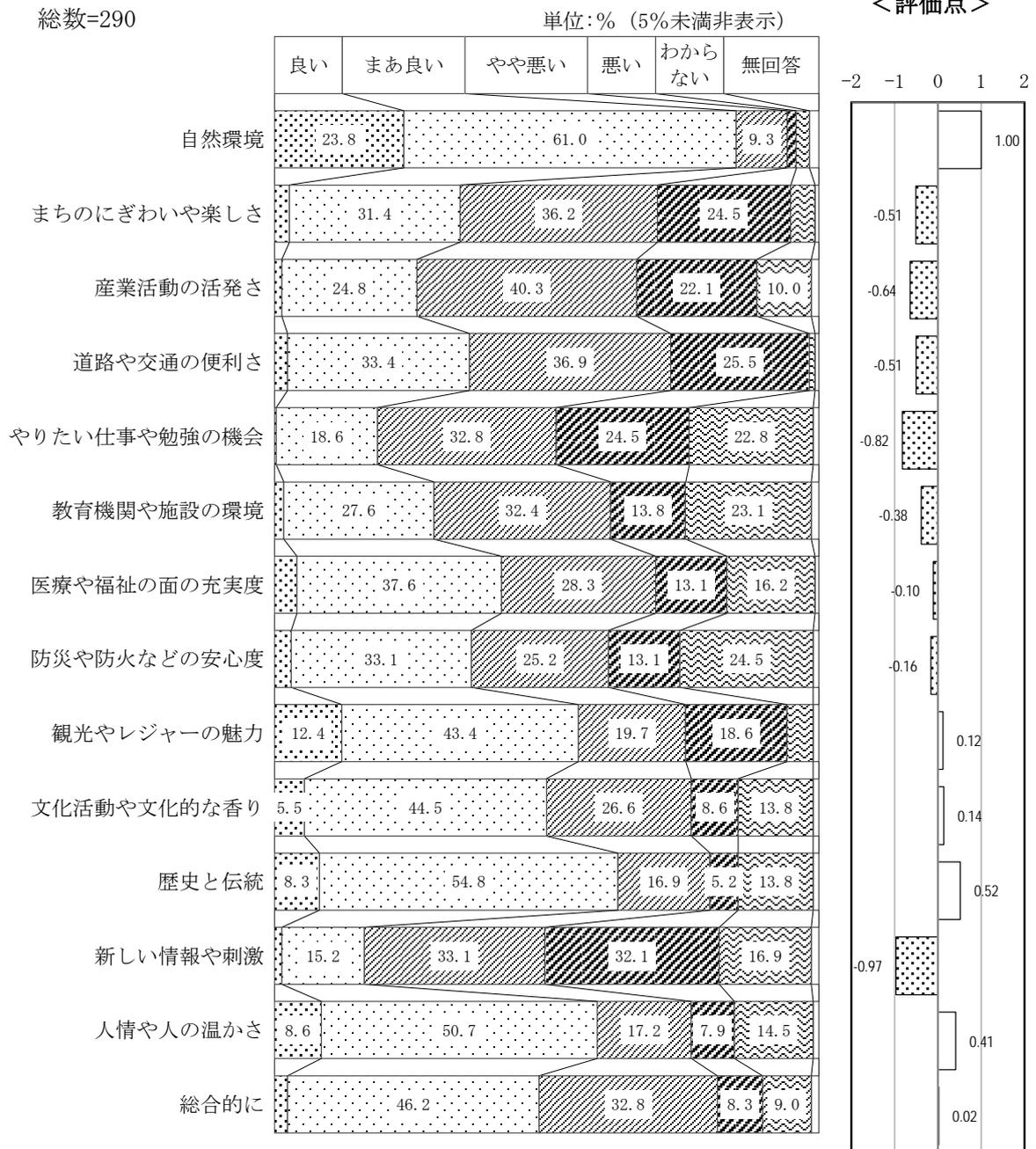
評価点は、「良い」＝2点、「まあ良い」＝1点、「やや悪い」＝－1点、「悪い」＝－2点として、回答数で加重平均（わからないと無回答を除く）を算出したものである。

複数の環境項目に対して、市内に通勤する市外在住者の視点から、その評価を5段階で回答いただいたものである。

平均的な評価を評価点の形で比較すると、14項目のうち最も評価点が高いのは「自然環境」であり、このほか評価点がプラス（平均的な評価が良い方向）なのは「歴史と伝統」、「人情や人の温かさ」、「文化活動や文化的な香り」、「観光やレジャーの魅力」の順であり、これらが貢献して、「総合的に」の評価点は0.02とかわらうじてプラスとなっている。

逆に、「新しい情報や刺激」、「やりたい仕事や勉強の機会」を筆頭として他の項目は評価点がマイナスであり、市外居住者の視点からは、富士吉田市の環境面の利点は、自然、歴史、文化、観光面に偏っているとみることもできる。

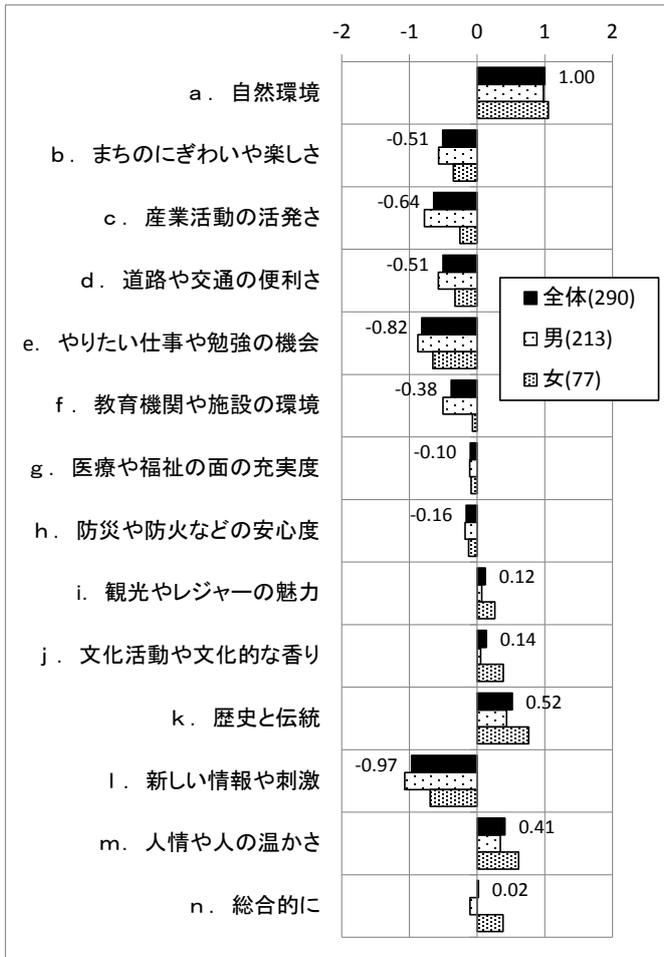
#### 問4. 富士吉田市の環境評価



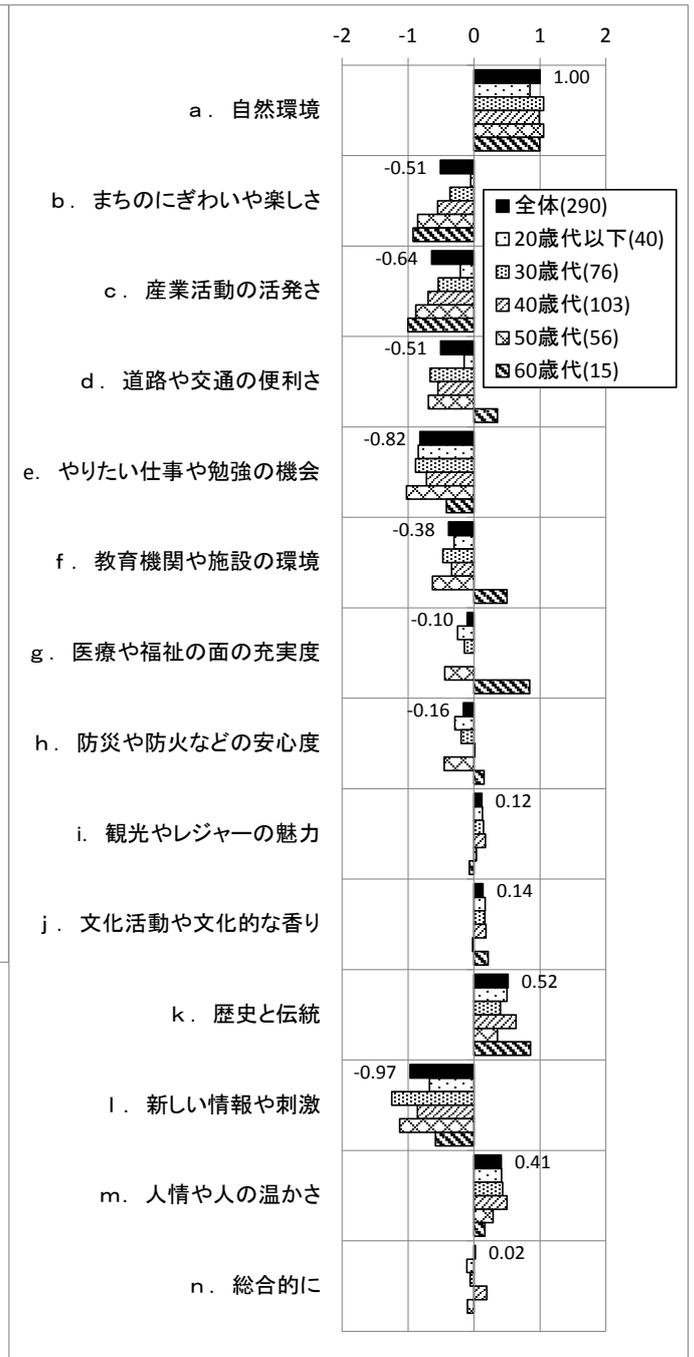
属性による評価の違いを評価点の比較で見ると、「総合的に」の評価は女性よりも男性の方が厳しく、これは、「産業活動の活発さ」や「新しい情報や刺激」、「教育機関や施設」等で男性の評価点が女性と比べかなり低いことが影響していると思われる。

年齢別では、「産業活動の活発さ」や「まちのにぎわいや楽しさ」において、年齢が高いほど平均的な評価が低くなる点に興味深い。

富士吉田の環境評価（性別）



富士吉田の環境評価（年齢別）



## 5. 市の産業施策等の方向

### (1) 市の産業育成の方向

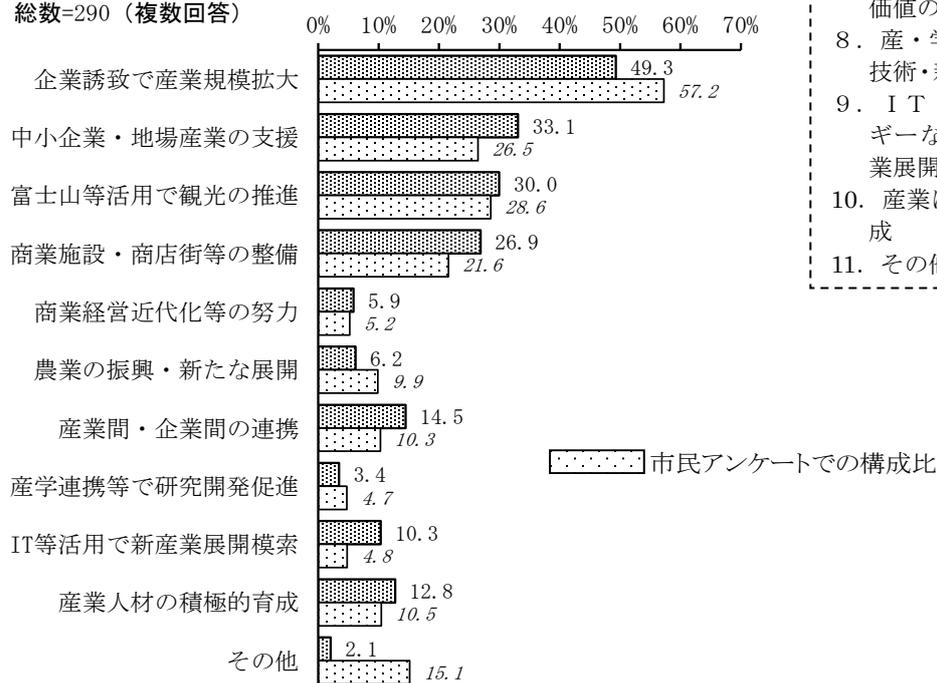
問6. 富士吉田市が活気あるまちとして成長するために、産業の育成をどのような方向で進めるべきだと思いますか。(回答は2つまで)

問6. 産業の育成方向

項目名【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)	市民アンケート構成比(%)
全体	290	100.0	100.0
1 企業誘致で産業規模拡大	143	49.3	57.2
2 中小企業・地場産業の支援	96	33.1	26.5
3 富士山等活用で観光の推進	87	30.0	28.6
4 商業施設・商店街等の整備	78	26.9	21.6
5 商業経営近代化等の努力	17	5.9	5.2
6 農業の振興・新たな展開	18	6.2	9.9
7 産業間・企業間の連携	42	14.5	10.3
8 産学連携等で研究開発促進	10	3.4	4.7
9 IT等活用で新産業展開模索	30	10.3	4.8
10 産業人材の積極的育成	37	12.8	10.5
11 その他	6	2.1	15.1
無回答	3	1.0	1.4

1. 新たな企業の誘致による産業規模と雇用機会の拡大
2. 既存の中小企業などの経営力強化への支援の充実
3. 世界遺産登録した富士山などの活用による観光の振興
4. 商業施設や商店街の環境整備などの推進
5. 商業経営の近代化やサービス向上への努力などの促進
6. 農地の有効利用や後継者育成などによる農業振興、新たな農業展開
7. 農・商・工など産業間・企業間の連携による新たな製品や価値の創出
8. 産・学などの連携も含め、新技術・新商品の研究開発の促進
9. IT（情報技術）や新エネルギーなどを活用した新たな産業展開の模索
10. 産業に関わる人材の積極的な育成
11. その他

総数=290（複数回答）

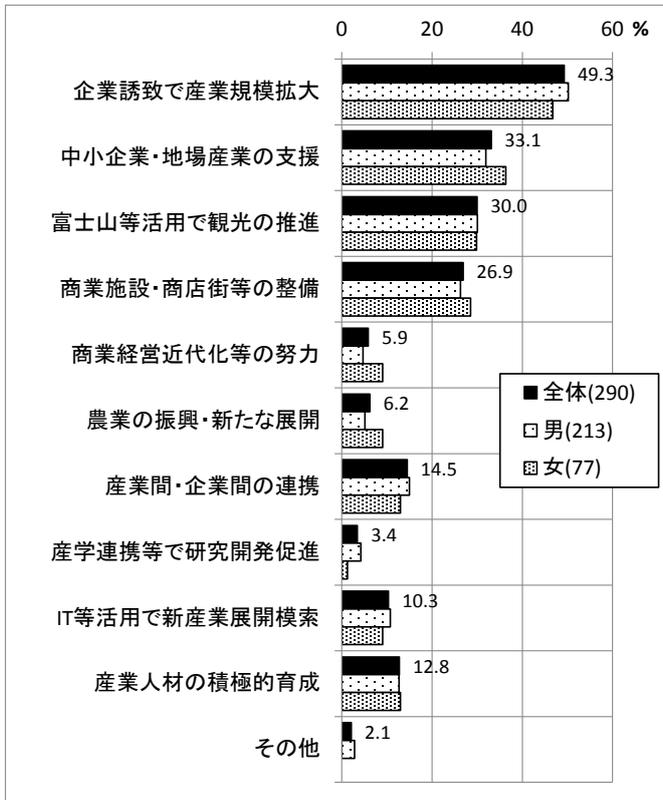


市内の事業所で従業する市外在住者の視点による富士吉田市の産業振興の方向としては、「企業の誘致で産業規模と雇用機会の拡大」への支持が最も高く、以下、「既存の中小企業等への支援」、「富士山等の活用による観光の推進」、「商業施設や商店街の環境整備等」の順で続いている。

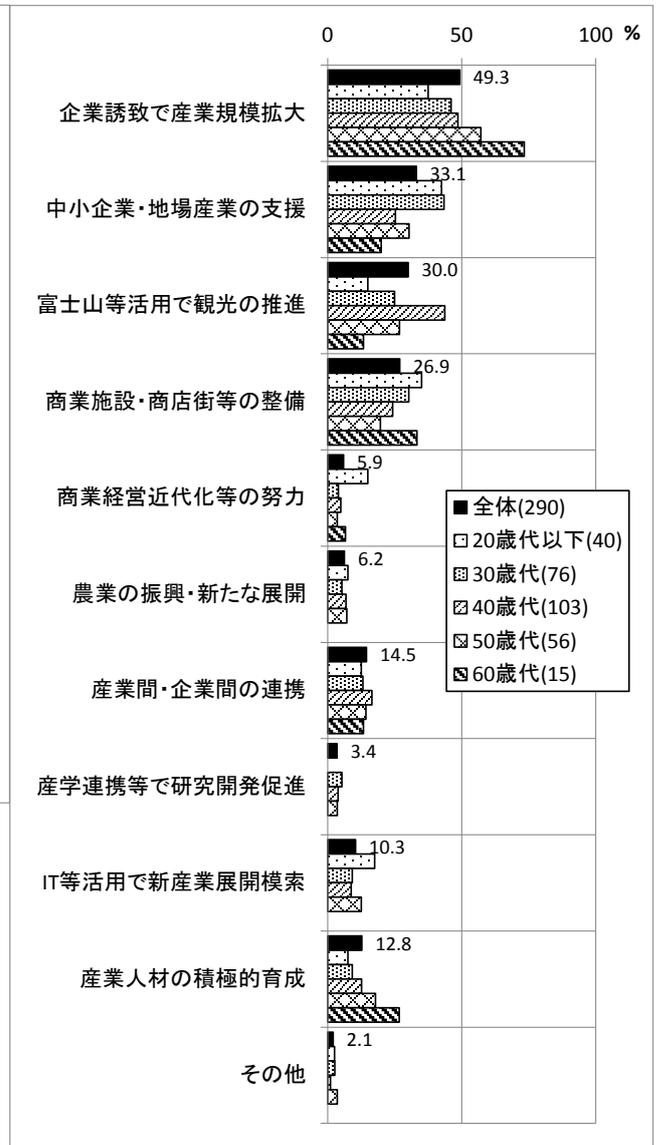
市民アンケートでも同様の設問（一部選択肢表現が異なるが）があり、その結果と比較すると、一部に順位の違いはあるものの、総体的には類似した傾向となっている。

市外在住者の男女による相違はあまりないが、年齢別にみると、「企業誘致で産業規模等拡大」、及び「産業人材の積極的育成」は年齢が高いほど支持率が高まるといった特徴が見られる。また、「富士山等の活用で観光の推進」は40歳代での支持率の高さが目立ち、「商業施設・商店街等の整備」は60歳代のほか10～30歳代の若い世代で値が高く、「中小企業等の支援」も10～30歳代で割合が高い、などの特徴もある。

産業の育成方向（性別）



産業の育成方向（年齢別）



## (2) 今後の観光振興の方向

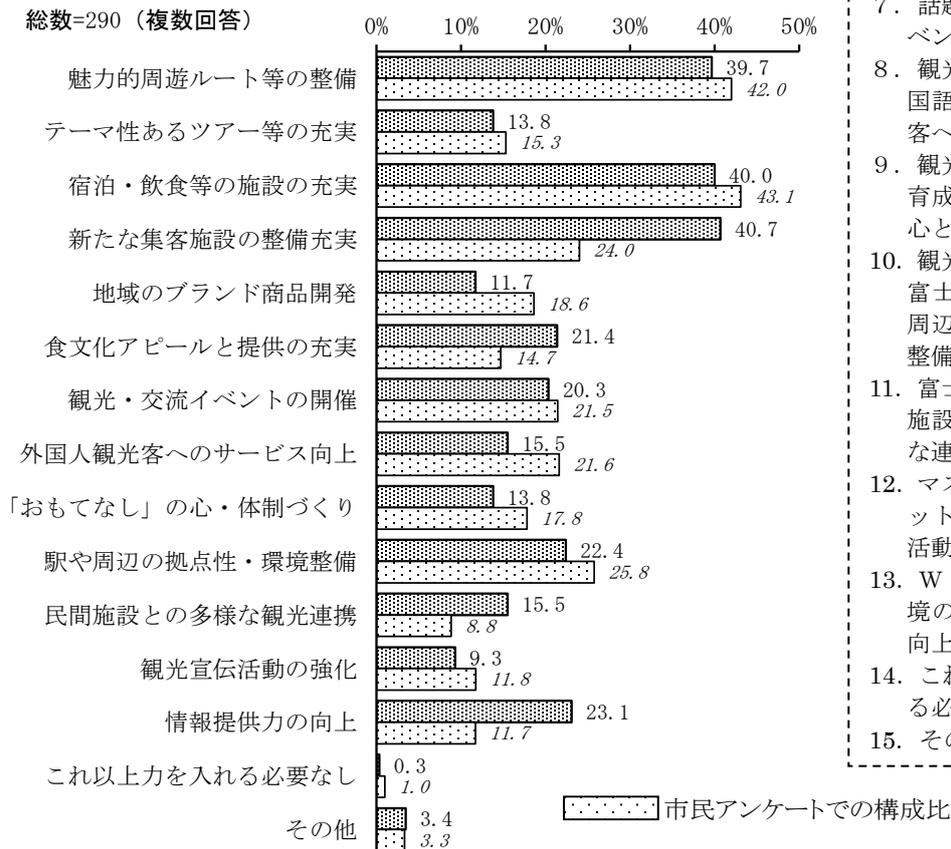
問7. 近年、外国人を含めこの地域を訪れる観光客が増えています。今後の観光の振興は、どのような方向を重視して進めるべきだと思いますか。(回答は3つまで)

### 問7. 今後の観光振興の方向

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)	市民アンケート構成比(%)
全体	290	100.0	100.0
1 魅力的周遊ルート等の整備	115	39.7	42.0
2 テーマ性あるツアー等の充実	40	13.8	15.3
3 宿泊・飲食等の施設の充実	116	40.0	43.1
4 新たな集客施設の整備充実	118	40.7	24.0
5 地域のブランド商品開発	34	11.7	18.6
6 食文化アピールと提供の充実	62	21.4	14.7
7 観光・交流イベントの開催	59	20.3	21.5
8 外国人観光客へのサービス向上	45	15.5	21.6
9 「おもてなし」の心・体制づくり	40	13.8	17.8
10 駅や周辺の拠点性・環境整備	65	22.4	25.8
11 民間施設との多様な観光連携	45	15.5	8.8
12 観光宣伝活動の強化	27	9.3	11.8
13 情報提供力の向上	67	23.1	11.7
14 これ以上力を入れる必要なし	1	0.3	1.0
15 その他	10	3.4	3.3
無回答	-	-	1.5

1. 周辺地域と連携した魅力的な周遊ルート、コースの整備とPR
2. エコ、歴史、伝統産業、健康などテーマ性のあるツアー等の充実
3. 宿泊施設や飲食施設など、観光客が滞留・滞在できる施設の充実
4. ショッピングモール、水族館、動物園など、新たな観光集客施設の整備充実
5. 特色ある農産物や特産品づくり等による地域のブランド商品開発
6. 「吉田のうどん」をはじめとする食文化のアピールと提供体制充実
7. 話題性のある観光・交流イベントの企画・開催
8. 観光・交通案内サインの外国語標記など、外国人観光客へのサービス向上
9. 観光ボランティアガイドの育成など「おもてなし」の心と体制づくり
10. 観光交通の結節点でもある富士山駅、下吉田駅とその周辺の拠点性・滞留環境の整備
11. 富士急ハイランドなど民間施設との観光に関する多様な連携
12. マスメディアやインターネット等を活用した観光宣伝活動の強化
13. Wi-Fi(無線LAN)環境の充実など情報提供力の向上
14. これ以上、観光に力を入れる必要はない
15. その他

総数=290(複数回答)



富士吉田市の観光振興の方向について、市外在住者の視点による方策の選択を求めた。

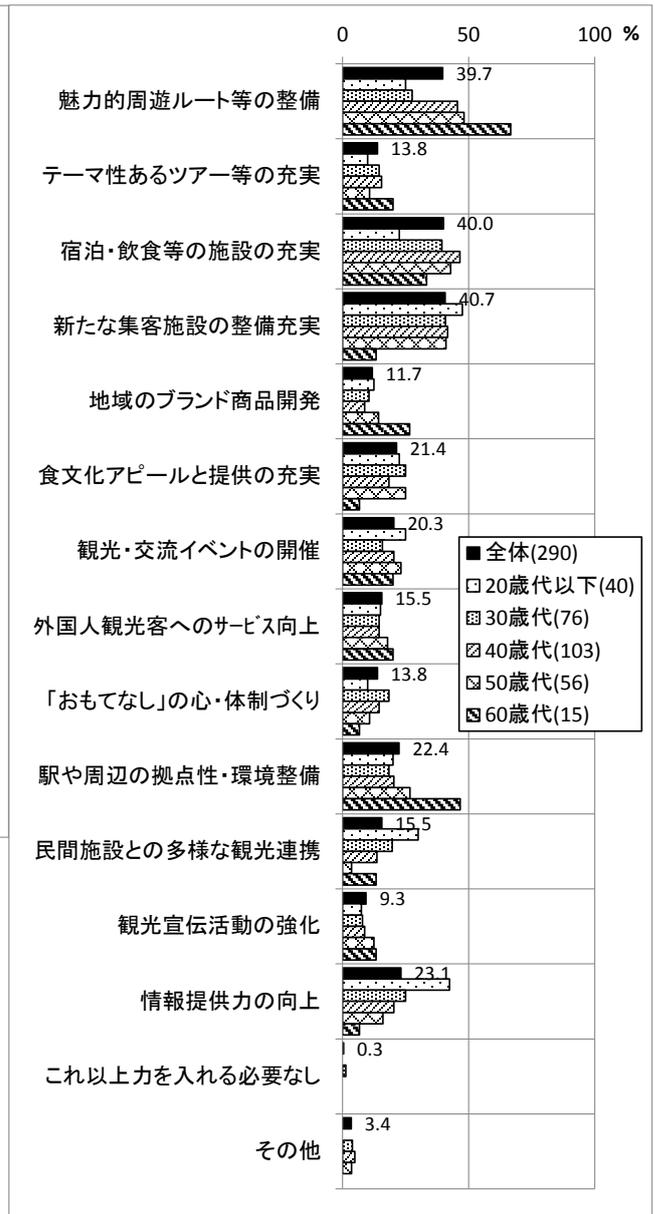
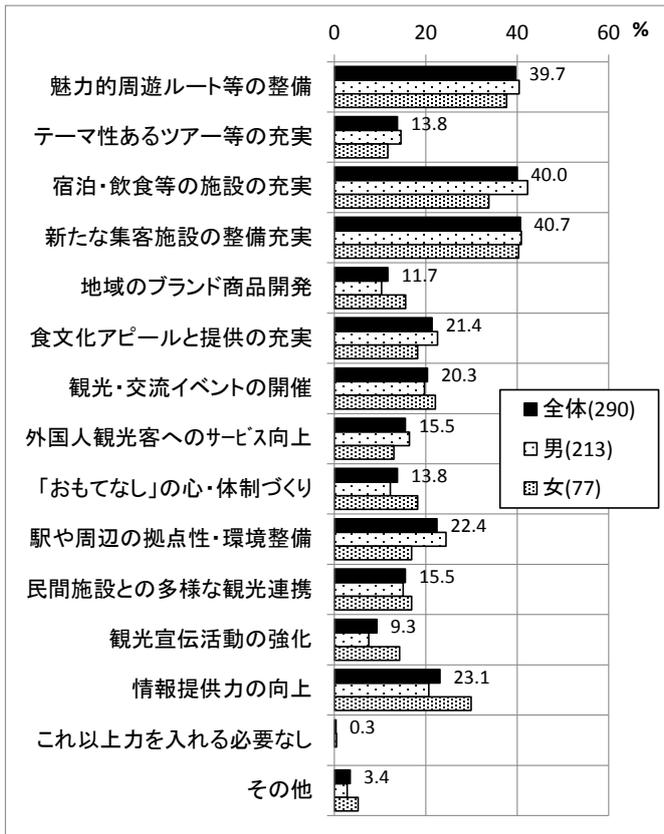
全体では、「ショッピングモール、水族館、動物園など新たな観光集客施設の整備充実」、「宿泊施設や飲食施設など、観光客が滞留・滞在できる施設の充実」、「周辺地域と連携した魅力的な周遊ルート、コースの整備とPR」の3項目が並んで突出している。

これについては、市民アンケートでも同様（一部選択肢表現異なる）な質問をしており、その結果と概ね類似する傾向を示しているが、「新たな観光集客施設の整備充実」が市民アンケートでは中位グループであったのに対し、この市外からの通勤者では1位と大きな差がついている点が特徴的である。

性別では、「情報提供力の向上」や「観光宣伝活動の強化」で女性の支持率が比較的高いこと、年齢別では、「魅力的周遊ルート等の整備」や「駅や周辺の拠点性・環境整備」で年齢が高いほど支持率が高まること、逆に「情報提供力の向上」では若い年代ほど割合が高い、などの特徴が見られる。

今後の観光振興の方向（性別）

今後の観光振興の方向（年齢別）



## 6. 自由な意見

本アンケート調査では、最後に、「富士吉田市の市政・まちづくりについて」自由な意見、提案の記述を求めている。

これに対しては、計 72 件の意見回答が寄せられた。

記載された意見内容を、主要な内容区分ごとに分類すると、以下のような分布となった。なお、一人の回答の中に様々な意見が記載されている例が多いため、その中の主要と思われる区分に分類することを基本としたが、主要意見の判断が難しいものについては敢えて複数区分に重複して分類したものもあり、延べ件数は 84 件となっている。

自由意見の分野区分別件数分布

	選択肢	件数
1	富士山	5
2	道路	18
3	交通	10
4	観光・PR	14
5	商業、議楽施設	7
6	景観・まちなみ	5
7	周辺との連携	7
8	人口問題	4
9	まちづくりの方向等	7
10	その他	7
	合計	84

### ■道路

富士浅間神社前の道路複線化を特に急ぎ実施すべきと考える。産業的にも観光的にも大損失な状況、状態にあると思う。この渋滞経験者は二度と訪問したくないと思うに違いない。長年放置してきた行政及び政治の不作為の罪は大きいと思う。	50 歳代	男
道路の整備を早急にして頂きたい。それにより慢性的な交通渋滞を解消でき、観光も活性化すると思います。	50 歳代	男
冬季の除雪作業について、迅速に対応をお願いしたい。	40 歳代	女

### ■交通

観光スポットが単独で点在している感じ。それらをつなぐ交通手段とその沿線の商業施設の充実が必要と思う(レストランや宿泊を含め)(観光客が来てもお金を落とすところがない)。	40 歳代	男
・海外の観光地や京都など参考に地域住民の生活を不便にせず、またできるだけ自然や景観破壊せずに融合したまちづくりを目指してほしいと思います。期待しております。	30 歳代	女
・県外から通勤しておりますが、朝夕と可能なら直通的通勤快速があるとありがたいです。春夏は観光客が多く、長時間立ちっぱなしはこたえます。	30 歳代	女

### ■観光・PR

下吉田駅から忠霊塔までおみやげやさんがなく観光客が歩くだけでもったいないです。	40 歳代	女
「富士吉田市」という名前を知ってもらう為に、うどんだけでなく「吉田の〇〇」という商品、製品を開発、宣伝してください。「忍野の水」は美味しいと思われていますが、八海と連携したイメージだけで(プラス豆腐)、でもそれがプラス宣伝効果なのです。実際は吉田の水の方が美味しいです。頑張ってください。私は市内の出身です。河口湖、忍野に負けてはいけません。	40 歳代	女

**■景観**

かんばん等、景観に全く気を遣っておらず、旅行気分が台無しになる。正直、ひどいと思う。ガイドラインが必要。それが改善されるだけでずっと良くなると思う。	40 歳代	男
--	-------	---

**■周辺との連携**

富士吉田市が独自で取り組んでいる活動は良く聞きますが、周辺の町村が一体となつての活動が必要だと思います。例えば、富士山とその周辺の環境保全などです。	50 歳代	女
--	-------	---

**■まちづくりの方向等**

観光が中心と言うことが多いと思うが、滞在施設が貧弱であると思う。また吉田として何を観光客にアピールするかが全くみえていない。景観、文化、歴史、何をどう見て感じてほしいのか？人材の育成、吉田に残り働く人の育成、企業も人に引き寄せられるはず。	50 歳代	
富士吉田市図書館の使用できる時間の延長をして貰いたい。6 時で閉館では社会人は使えない。	40 歳代	女

富士吉田市第6次総合計画策定にあたっての 市内まちづくり団体アンケート 結果		実施時期：平成28年8月（8月20日回収期限）／実施方法：郵送配布、郵送回収 ／実施対象：市企画課にて選定	
団体名	特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク	本町大好きおかみさん会	NPO 母さんの楽校
代表者名 / 連絡先メールアドレス	代表理事 飯田勇夫 氏 / bothiw3@friend.ocn.ne.jp	代表 田辺綾子 氏 / ippindo@mfi.or.jp	理事長 加藤とく江 氏 /
本部所在地 / 設立年月 / 現在のメンバー数	上吉田 965-4 / 2002年 / 59人	下吉田 2-2-25 / 2003年5月 / 22人	/ 平成26年8月 / 51人
設立目的・趣旨	・富士を擁した国際交流都市という特色を生かした、共生共栄のまちづくり。 ・雇用の創出で心豊かな共生社会を実現する。	商店街の枠を越え、この町が好きな人達が集まり、自分達も楽しいと思える事を考え、地域の人達と共に活動し、構成員相互の向上と親睦を図ることを目的としています。	シニア世代の生きがい作り 明見湖の里山を守る
主な活動内容	指定管理業務 富士吉田市立ふれあいセンター 富士吉田市立青少年センター 赤い屋根の運営委託	1月13日：子の神社境内における「どんど焼きナイトフィーバー」、3/中：本町通り境界の店先や玄関先におひな様を飾る「本町の一月遅れのおひなまつり」、7月：市民夏祭りにおいて「歌声喫茶」「手作りのお店GRAY人」	月一度の楽習会(勉強会) ボランティア 指定管理(緑地・工房管理)
問2. 近年の地域環境(社会経済等)の変化 1. 若年層の流出を中心とした人口減少 2. 高齢化の進展 3. 中心市街地・地域商業の衰退 4. 市の基幹産業(製造業、繊維産業等)の衰退 5. 富士山の世界文化遺産登録 6. 観光客数(外国人客含む)の増加 7. 道路網や公共交通機関の変化 8. その他	1、3、4、5	3	1、2、3、7
(具体的に)		発足当初は、本町通り＝シャッター通りと言われ寂しい想いをしました。でも、そこには地元愛にあふれた人々が生活している事を知ってもらいたくて「本町大好きおかみさん会」と名付けました。当時は空家は商店街の問題でしたが、今は日本中で大きな問題となり、若者達が空家プロジェクトも行っていますが、追い付けないくらい増えています。又、空家だけでなく空地も増えているので、街全体の統一感が失われているような気がします。	母さんの楽校としては②にあてはまるのではないかと思います。継続していく為には若い人たちでも楽しんで参加できる様な企画が必要かと思っています。
問3(1)市や県からの依頼で実施したまちづくり活動 (具体的な事業内容)	[あり] 指定管理業務 富士吉田市立ふれあいセンター 富士吉田市立青少年センター 赤い屋根	[なし]	[あり] 指定管理、山梨県地球温暖化防止活動推進センター
問3(2)活動上の障害、直面している課題 1. 人材確保など人的な問題 2. 活動に影響する法制度上の問題 3. 活動の場や設備などに関する問題 4. 活動資金面の問題(行政からの支援等も含む) 5. 地域住民との関係や意識面の問題 6. 行政の理解、市政への反映上の問題 7. 国の政策動向や国際情勢への対応 8. その他	2、6	4	3
(具体的に)	青少年センターは少子高齢化が進む中で、少しでも多くの人達に来ていただき、富士北麓の自然に接してもらおうべき努力をしていたが、市内優先と市内利用拡大を目的とした条例のながの規則改訂を25年7月1日から実施。(従来予約制限はなかったが、市内は4か月前から、市外は2か月前でないと予約できず)この制約のために市内市外とも利用人数激減となってしまった。	昨年度までは市の助成金(23万円)を受けていましたが、今年度よりそれが無いので、自分達で活動費を少しでも捻出するために、イベントに参加し、物品を販売しています。一方、助成金を申請していた時より活動の制限がないので、そのときの状況により、活動を広げたり狭めたりできるので、自由度が増したように感じます。そのため、その時々にはできる事をしたいと考えています。	体験工房内の多目的室②の換気扇をもっと大きなものに替えて欲しい。
問3(3)これまでの活動による成果の程度 1. 十分な成果があった 2. 成果はあったがまだ不十分 3. 成果はあがっていない	2	2	2
(成果の内容、成果があがらない要因等)		市民夏祭りで何か自分達が楽しめる事をしたいとの主婦の立ち話から始まった会ですが、その当時は今とは全く違い、市民が自主的に参加するお祭りではありませんでした。その事を考えると、市民主導の夏祭りとなり、皆がお祭りを楽しんでいるように感じます。又、会としての知名度も上がり、地域の皆さんが積極的に関わってくれるようになりました。	自分達会員の勉強不足
問4. 問題・課題への取組、対策など	青少年センターは、青少年の枠にとらわれず、企業を中心とした研修の場として門戸を広げることによって利用者の拡大を図っている。また、市へは条例の中の規定(申込期間の市内・市外格差撤廃)徹底の検討依頼。	前問の回答に含んでいます。	明見湖周辺の歴史等
問5(1)行政との関係・役割分担 1. 十分良好にできている 2. まあまあできている 3. あまりうまくいっていない 4. ほとんどうまくいっていない	2	2	2
(そう考える理由を具体的に)		当会においては、地元で市職員の渡辺一史さんがいらっしゃるので、市とのパイプ役になっていただき、本当に助かっています。又、行政関係の方々には、市内各地で開催されているイベントに関心を示してもらい、もっと積極的に参加し、共に楽しみ、様々な事を感じて欲しいと思います。	月に一度環境政策課との会議を持ち、話し合いながら教わりながらなんとか前進しています。
問5(2)行政に望む関わり・役割		市内の各地で、小さな団体が活動しています。それぞれが広告宣伝費もあまりない状況の中で、少しでも多くの人にイベントに参加してもらいたいと考えているはずですが、営利目的でないイベント、町のお祭り、ボランティアスタッフ募集等、市のホームページの一隅にでも載せてもらえたら、主催者も助かるし、閲覧した方も楽しいのではないのでしょうか。	やはり担当の課の人達との密な話し合いだと思います。
問6. 今後取り組みたいまちづくり活動テーマ、展望等 1. 地域のまちづくり計画や市政への提言 2. 地域のコミュニティの深化 3. 福祉、子育て支援などの助け合い 4. 生涯学習やスポーツ 5. 観光客へのおもてなし 6. 地域の歴史や文化の振興 7. 安全・安心や防災 8. 地域の生活利便の確保・向上 9. その他	2、4、5、7	3、5、7	1、4、5、6
(取組姿勢や今後の展望など具体的に)		少子高齢化の中で、他地域からこの本町地域に定住し、働いている若者が何人もいるという事は、本当に嬉しい事です。又、外国人旅行者も増え、町中を歩く外国人を見かけない日は無い状態です。このような状況の中、私達にできる事は、他地域から来た人に関心を持ち暖かい手をいつでも差し出す事が重要だと思います。同じ場を共有する者同志、老若男女を問わず仲良く暮らしていけるような街ができれば最高だと思います。	今後は、地域の歴史や文化を学び、観光客のおもてなしを考えています。
問7. 市の将来・総合計画への意見・期待・要望等		私達の活動拠点である下吉田地区にある下一小は少子化での統合の危機にあります。何か他にない特色があれば他地域からの転入も期待できるのではないのでしょうか。素人考えですが、この地区にはゲストハウス、ユースホテル等の宿泊施設や忠霊塔があるので、外国人旅行者を年間通して見かけることが多くなりました。そこで、下一小の子供達がその方達と気軽に話せるだけの英語力が身につくために、特区として英語に力を入れた国際色豊かな学校になったら素敵だと思います。	エコ・ツーリズムの講座へ出席してみて、夢をもっている若い人達の話聞いて、富士吉田の将来も明るいのではと、ちょっとだけ思いました。若い人達の横のつながりを作る為いろいろなおもしろい講座をもうけたらいいかでしょうか？

団体名	一財)富士吉田みんなの貯金箱財団	公益財団法人 富士五湖青年会議所	富士吉田商工会議所青年部
代表者名 / 連絡先メールアドレス	代表理事 斉藤智彦 氏 / info@fpbf.jp	理事長 長田徳男 氏 / pr@fujigokojc.or.jp	会長 萱沼卓 氏 /
本部所在地 / 設立年月 / 現在のメンバー数	富士見 1-1-5 / 2013年8月 / 7人	下吉田 7-27-29 / 昭和35年6月 / 34人	下吉田 7-27-29 / 昭和62年11月 / 64人
設立目的・趣旨	市民自治、住民参加型まちづくりの推進	富士五湖市の実現 明るい豊かな社会の創造	地域活性化と自己研さん
主な活動内容	市民活動支援、空き家・空き店舗活用、定住促進、起業支援	公開討論会、わんぱく相撲、まちづくり、イクボス、職業体験、富士山歴史教育	地域活性化事業の実施 自己研さんのためのセミナー開催他
<b>問2. 近年の地域環境(社会経済等)の変化</b> 1. 若年層の流出を中心とした人口減少 2. 高齢化の進展 3. 中心市街地・地域商業の衰退 4. 市の基幹産業(製造業、繊維産業等)の衰退 5. 富士山の世界文化遺産登録 6. 観光客数(外国人客含む)の増加 7. 道路網や公共交通機関の変化 8. その他	<b>1、3、5、6、7</b> 富士山の世界文化遺産登録に伴う観光客の増加や、若年層の流出による人口減少など、社会変化のスピードに合わせて活動する人材が不足しているように感じられる。	特になし	<b>1、3、4</b> 後継者不足、地方経済の弱体化、織物産業衰退により、将来、メンバーの確保が難しくなる可能性がある。
(具体的に)			
<b>問3(1)市や県からの依頼で実施したまちづくり活動</b> (具体的な事業内容)	あり 定住促進事業、地域おこし協力隊支援事業、中心市街地活性化事業	なし	あり 県民の日物産展の出店、市民夏祭りへの出店、富楽時祭り出店
<b>問3(2)活動上の障害、直面している課題</b> 1. 人材確保など人的な問題 2. 活動に影響する法制度上の問題 3. 活動の場や設備などに関する問題 4. 活動資金面の問題(行政からの支援等も含む) 5. 地域住民との関係や意識面の問題 6. 行政の理解、市政への反映上の問題 7. 国の政策動向や国際情勢への対応 8. その他	<b>1、5、6</b> 行政職員の異動に伴う事業内容・目的・位置づけの変化。 行政・非営利団体・民間の役割分担の不明確による混乱。 各種団体間の協力不足、市民共通の目的意識のない状況から成る非効率な事業運営。	<b>1、2、4</b> 公益法人としての制約に悩んでいる。	<b>5</b> メンバー間に地域を想う気持ちに、当然ではあるが差を感じる。「吉田」をもっと好きになると良い。
(具体的に)			
<b>問3(3)これまでの活動による成果の程度</b> 1. 十分な成果があった 2. 成果はあったがまだ不十分 3. 成果はあがっていない	<b>2</b> 住民のまちの変化に対するの気づき、交流人口の増加、人材不足	<b>2</b> 広報活動が上手く機能していない。	<b>2</b> 若手経営者集団として、「産業の発展」に寄与する活動をもっとやっていきたい。
(成果の内容、成果があがらない要因等)			
<b>問4. 問題・課題への取組、対策など</b>	未定	富士五湖青年会議所の活動を象徴する大きな事業を立ち上げる	組織の動向として、基本的考え方は変わらないが、メインとなる事業は時の会長次第というところがあり、継続性がないのが課題。
<b>問5(1)行政との関係・役割分担</b> 1. 十分良好にできている 2. まあまあできている 3. あまりうまくいっていない 4. ほとんどうまくいっていない (そう考える理由を具体的に)	<b>3</b> 連携不足により活動方針が不明確となり、事業推進のスピード感が不足している。 担当職員の異動に伴い、初期の目的・取り決めが曖昧なものとなり、本来の事業目的以外の事業が中心となってしまっている。	<b>2</b> 活動にご理解をいただき、ありがとうございます。	<b>2</b> さらに良好な関係を構築させて頂きたいです。
<b>問5(2)行政に望む関わり・役割</b>	政策的な位置づけ、行政としての方針を明確に提示して欲しい。	引き続き、後援、協賛を賜りたいと存じます。	我々に対してという意味でなく、本当に良い、素晴らしい活動に対しては、物資両面において支援する市役所であってほしいです。
<b>問6. 今後取り組みたいまちづくり活動テーマ、展望等</b> 1. 地域のまちづくり計画や市政への提言 2. 地域のコミュニティの深化 3. 福祉、子育て支援などの助け合い 4. 生涯学習やスポーツ 5. 観光客へのおもてなし 6. 地域の歴史や文化の振興 7. 安全・安心や防災 8. 地域の生活利便の確保・向上 9. その他	<b>未定</b>	<b>1、2、3、4、6、7、8</b>	<b>2、5</b>
(取組姿勢や今後の展望など具体的に)			
<b>問7. 市の将来・総合計画への意見・期待・要望等</b>	積極的に外部・周辺自治体と連携をとって頂きたい。また、明確な目的の打ち出し、各種団体との連携を持ち、各種団体感で起きる同様な事業・非効率な運営を効率化して頂きたい。	子育て支援策のますますの充実、交流人口の拡大	地方経済は今後ますます厳しくなる。人口減少、産業賃賃により様々な団体の活動がストップすることは間違いない。近い将来商店街はなくなるのではないかと。そのような中、恵まれた地域である我が市には危機感を持っていない人が多い。実情を最も把握している富士吉田市役所の方には、危機意識を持って計画立てを行って頂けるとありがたいです。